ORACLE
PEOPLESOFT ENTERPRISE

PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理 9.0 PeopleBook: ポジション管理

2006 年 12月

ORACLE

PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理 9.0 PeopleBook: ポジション管理
SKU HRMS9HMS-B 1206JPN

Copyright © 1988–2006, Oracle. All rights reserved.

本プログラム（ソフトウェアおよび文書）には、財産的情報が含まれています。本プログラムは、使用および公開に関する制約が明記されたライセンス契約に従うことを条件として提供され、著作権、特許権などの知的財産権法および産業財産権法により保護されています。本プログラムのリバース エンジニアリング、逆アセンブル、または逆コンパイルは、他の独立したソフトウェアとの相互運用性の確保に必要とされる範囲または法的に規定された範囲を除き、禁じます。

本書に記載されている情報は、予告なく変更されることがあります。本書の内容に問題があった場合は、当社まで書面によりご通知ください。Oracle は、本書の内容に全く誤りがないことを保証するものではありません。ライセンス契約に明示的に規定された場合を除き、形式または手段（電子的、機械的など）、および目的の如何にかかわらず、本プログラムを複製または転送することを禁じます。

本プログラムが、アメリカ合衆国政府、またはその代理として本プログラムを使用する者に提供される場合には、以下の条項が適用されます。

U.S. GOVERNMENT RIGHTS

Programs, software, databases, and related documentation and technical data delivered to U.S. Government customers are "commercial computer software" or "commercial technical data" pursuant to the applicable Federal Acquisition Regulation and agency-specific supplemental regulations. As such, use, duplication, disclosure, modification, and adaptation of the Programs, including documentation and technical data, shall be subject to the licensing restrictions set forth in the applicable Oracle license agreement, and, to the extent applicable, the additional rights set forth in FAR 52.227-19, Commercial Computer Software--Restricted Rights (June 1987). Oracle Corporation, 500 Oracle Parkway, Redwood City, CA 94065.

本プログラムは、原子力、航空、大量輸送、医療などの本質的に危険を伴う用途を目的として作成されていません。危険を伴う用途に本プログラムを使用する場合の障害対策、バックアップ、および冗長構成などの適切な措置を講じた安全性の確保は、ライセンス供与を受けた者の責任とし、これらの用途に使用された場合のいかなる損失や障害について、当社は一切責任を負いません。

本プログラムには、Web サイトへのリンクが含まれており、サードパーティのコンテンツ、製品、およびサービスへのアクセスが発生する場合があります。サードパーティの Web サイトの運用およびそのコンテンツについて、Oracle は一切責任を負いません。これらのコンテンツの使用上の全ての責任は、使用者が負うこととします。サードパーティから製品またはサービスを購入する場合は、その購入者とサードパーティの間の直接取引になります。(a) サードパーティの製品またはサービスに関する品質、(b) サードパーティとの契約におけるいかなる条件の遵守（製品またはサービスの提供、また、購入された製品またはサービスに関する保証義務など）について、Oracle は一切責任を負いません。サードパーティとの取引に伴ういかなる損失や障害について、Oracle は一切責任を負いません。

Oracle、JD Edwards、PeopleSoft、および Siebel は、米国 Oracle Corporation およびその関連会社の両方またはいずれかの登録商標です。その他の会社名および製品名は所有各社の商標です。

オープン ソースの利用について

Oracle は、オープンソースまたはシェアウェアのソフトウェアの使用または配布について責任を負いません。また、これらのソフトウェアまたは文書の使用によるいかなる損失や障害についても一切責任を負いません。Oracle の PeopleSoft 製品には以下のオープン ソース ソフトウェアが使用される場合があり、これらには下記の免責条項が適用されます。

Apache Software Foundation

この製品には、Apache Software Foundation (http://www.apache.org/) によって開発されたソフトウェアが含まれています。Copyright (c) 2000-2003. The Apache Software Foundation. All rights reserved. ライセンスは、Apache ライセンス バージョン 2.0（以下「ライセンス」）に基づいて許可されます。ライセンスの順守なく、このファイルを使用することは禁じられています。ライセンスのコピーは、http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0 で入手できます。

適用法により求められた場合、または書面をもって同意された場合を除き、ライセンスに基づいて配布されたソフトウェアは、明示的、黙示的を問わず一切の保証または条件なしに現状のまま提供されています。特定の言語下のライセンス許諾事項および制限事項については、ライセンスを確認してください。

OpenSSL

Copyright (c) 1998-2005 The OpenSSL Project. All rights reserved.

この製品には、OpenSSL Project (http://www.openssl.org/) によって OpenSSL Toolkit 用に開発されたソフトウェアが含まれています。

このソフトウェアは OpenSSL Project によって現状のまま提供されており、商品性や特定の目的への適合性に対する保証はもとより、明示的にも黙示的にも、一切の保証はありません。OpenSSL Project およびその共同提供者は、いかなる損害に対しても責任を負いません。これは、その損害が、直接的、間接的、付随的、特殊、典型的、または必然的であるか否かを問いません。また、代替品の購入や代替サービスの利用、有用性およびデータや利益の損失、業務の中断に対する保証もいたしません。本ソフトウェアの使用によるあらゆる損害の発生に対して、契約の記載や、重大な過失などによる権利侵害の有無にかかわらず、また、そのような損害の可能性について報告を受けていたとしても、OpenSSL Project は一切責任を負いません。

Loki Library

Copyright (c) 2001 by Andrei Alexandrescu. このコードは次の書籍に掲載されています。Alexandrescu, Andrei. "Modern C++ Design: Generic Programming and Design Patterns Applied". Copyright (c) 2001 Addison-Wesley. このソフトウェアの複製、変更、配布、および販売は、その目的を問わず、全ての複製に上記の著作権表示を付することと、付属文書に著作権表示およびこの許可表示の両方を付することを条件に許可されます。

Helma Project

Copyright (c) 1999-2004 Helma Project. All rights reserved. このソフトウェアは現状のまま提供されており、商品性や特定の目的への適合性に対する保証はもとより、明示的にも黙示的にも、一切の保証はありません。Helma Project およびその共同提供者は、いかなる損害に対しても責任を負いません。これは、その損害が、直接的、間接的、付随的、特殊、典型的、または必然的であるか否かを問いません。また、代替品の購入や代替サービスの利用、有用性およびデータや利益の損失、業務の中断に対する保証もいたしません。本ソフトウェアの使用によるあらゆる損害の発生に対して、契約の記載や、重大な過失などによる権利侵害の有無にかかわらず、また、そのような損害の可能性について報告を受けていたとしても、Helma Project は一切責任を負いません。

Helma には、個別のライセンス条件に基づいてリリースされたサードパーティ ソフトウェアが含まれます。ライセンスの一覧については、Helma のディストリビューションに含まれるライセンス ディレクトリを参照してください。

Sarissa

Copyright (c) 2004 Manos Batsis.

このライブラリは、フリー ソフトウェアです。フリー ソフトウェア財団 (Free Software Foundation) によって発行された GNU Lesser General Public License (バージョン 2.1 またはそれ以降のバージョン) の定める条件の下で再配布や修正を行うことができます。

このライブラリの有用性は保証されるものではなく、商品性や特定の目的への適合性に対する黙示的な保証を含め、一切の保証なく配布されます。詳細については、GNU Lesser General Public License を参照してください。

GNU Lesser General Public License は、このライブラリと共に提供されています。提供されていない場合は、Free Software Foundation, Inc. (59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA) にお問い合わせください。

ICU

ICU ライセンス - ICU 1.8.1 およびそれ以降の著作権表示および許可表示 Copyright (c) 1995-2003 International Business Machines Corporation and others. All rights reserved.

本ソフトウェアおよび関連文書ファイル (以下「ソフトウェア」) の複製を取得する全ての人に対し、ソフトウェアの複製を使用、複写、変更、結合、掲載、配布、および/または販売する権利およびソフトウェアを提供する相手に同じことを許可する権利等を含む、ソフトウェアの無制限の取扱いを、上記の著作権表示およびこの許可表示がソフトウェアの全ての複製に付され、付属文書にも記載されることを条件に無償で許可します。ソフトウェアは現状のまま提供されており、商品性、特定の目的への適合性、およびサードパーティの権利の非侵害に対する保証はもとより、明示的にも黙示的にも、一切の保証はありません。この表示に示された著作権保持者は、いかなる損害賠償または損害に対する責任を負いません。契約行為、過失、またはその他の不法行為であっても、本ソフトウェアの使用や機能に起因または関係する、特殊、間接的、または結果的損害、あるいは有用性、データまたは利益の損失による損害か否かにかかわらず、著作権保持者は一切責任を負いません。この許可表示に記載されている場合を除き、著作権保持者による書面による事前の許可がない限り、著作権保持者の名前は広告や、その他の販売/使用プロモーション、またはこのソフトウェアのその他の取引に使用できません。

ここに記載された名称は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

Sun の JAXB 実装 - JDSDK 1.5 relaxngDatatype.jar 1.0 ライセンス

Copyright (c) 2001, Thai Open Source Software Center Ltd, Sun Microsystems. All rights reserved.

このソフトウェアは著作権保持者およびその共同提供者によって現状のまま提供されており、商品性や特定の目的への適合性に対する保証はもとより、明示的にも黙示的にも、一切の保証はありません。開発者およびその共同提供者は、いかなる損害に対しても責任を負いません。これは、その損害が、直接的、間接的、付随的、特殊、典型的、または必然的であるか否かを問いません。また、代替品の購入や代替サービスの利用、有用性およびデータや利益の損失、業務の中断に対する保証もいたしません。本ソフトウェアの使用によるあらゆる損害の発生に対して、契約の記載や、重大な過失などによる権利侵害の有無にかかわらず、また、そのような損害の可能性について報告を受けていたとしても、開発者は一切責任を負いません。

W3C IPR SOFTWARE NOTICE

Copyright (c) 2000 World Wide Web Consortium, (Massachusetts Institute of Technology, Institut National de Recherche en Informatique et en Automatique, Keio University). All Rights Reserved.

注: W3C Software Copyright Notice and License の原著は、http://www.w3.org/Consortium/Legal/copyright-software-19980720 で入手できます。

このソフトウェアおよび文書は現状のまま提供されており、著作権保持者は、商品性、特定の目的への適合性、およびソフトウェアおよび文書の使用によるサードパーティの特許権、著作権、商標またはその他の権利の非侵害に対する保証はもとより、明示的にも黙示的にも、一切の表明や保証を行うものではありません。著作権保持者は、ソフトウェアまたは文書の使用にかかわる直接的、間接的、特殊、必然的ないかなる損害に対しても責任を負いません。

目次

はじめに
この PeopleBook について ix
PeopleSoft Enterprise アプリケーションを使用するにあたって必要な知識..... ix
アプリケーションの基礎..... ix
最新版ドキュメンテーションおよび出力されたドキュメンテーションの入手..... x
最新版ドキュメンテーションの入手 (英語版のみ)..... x
出力されたドキュメンテーションの注文とダウンロード..... x
追加情報..... xi
表記規則..... xii
表記規則..... xii
注意事項の表示..... xiii
国、地域、業種の表記..... xiv
通貨コード..... xiv
ご意見・ご要望をお寄せください..... xiv
PeopleBook で使用する共通フィールド..... xv

まえがき
PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理: ポジション管理 - まえがき..... xix
PeopleSoft アプリケーション..... xix
PeopleSoft Enterprise HRMS アプリケーションの基礎..... xix
PeopleBook の構成..... xix

第 1 章
ポジション管理 - はじめに..... 1
ポジション管理の概要..... 1
ポジション管理の統合..... 1
ポジション管理の導入..... 2

第 2 章
ポジション管理について..... 3
ポジションを使用したヒューマン リソース管理システムの構築 (職務を使用した場合との比較)..... 3
ポジション管理ビジネス プロセスを選択する場合の条件..... 3

Copyright © 1988 - 2006, Oracle. All rights reserved.

第 3 章
ポジションの設定.....5
ポジションの設定について.....5
テーブルの設定.....5
ポジション データの管理.....6
ポジション データのセキュリティの管理.....9
ポジションの作成.....10
ポジションの作成に使用するページ.....11
ポジション情報の設定.....12
ポジション特定情報の設定.....16
予算情報と現職者情報の確認.....18
従業員のポジションへの割り当て.....19

第 4 章
ポジション データの管理.....21
ポジション データの保守.....21
データ更新に使用するページの判断.....21
現職者データとポジション データの識別.....22
ポジション データの更新.....23
ポジション データの変更.....23
有効日とポジション データの更新.....24
現職者の職務データの更新.....24
ガイドライン.....25
職務データの更新.....25
行の挿入.....25
行の削除.....26
行の修正.....26
職務データを更新しない場合の処理.....26
ポジション データの検証.....27
ポジション データの検証に使用するページ.....28

第 5 章
ポジション データの最大活用.....29
ポジション データの最大活用について.....29
共通フィールド.....29
部門予算の作成.....30
部門予算の作成に使用するページ.....30
部門/職務コード/ポジション レベルでの予算の設定.....30

Copyright © 1988 - 2006, Oracle. All rights reserved.

部門予算詳細の表示……32
予算サマリ情報の表示……33
予算サマリ情報の表示に使用するページ……33
部門の現行予算および実績値の表示……33
給与情報詳細の確認……35
給与レート コード情報の表示……37
予算計上済み空きポジション情報の表示とレポート実行……38
予算計上済みの空きポジション情報の表示とレポート実行に使用するページ……38
部門内空きポジション情報の表示……38
ポジション サマリ情報の確認……39
このセクションで使用する共通フィールド……40
ポジション サマリ情報の表示とレポート実行に使用するページ……40
ポジションに関する現在および過去の基本情報の表示……41
ポジション履歴の表示……42
現在のポジション情報の表示……43
給与コンポーネント情報の表示……44
組織構造の管理……44
ポジション階層の設定……45
PeopleSoft ツリー マネージャを使ったポジション階層の管理……46
組織構造作成レポートの実行……47
組織構造作成レポートの実行に使用するページ……48
組織レポートの実行……48
nVision レポートの使用……49

PeopleSoft Enterprise 用語一覧……51

索引 ……71

Copyright © 1988 - 2006, Oracle. All rights reserved.

Copyright © 1988 - 2006, Oracle. All rights reserved.

この PeopleBook について

PeopleSoft Enterprise PeopleBook には、オラクル社の PeopleSoft Enterprise アプリケーションの導入と使用に必要となる情報が提供されています。

ここでは、以下の事項について説明します。

- PeopleSoft Enterprise アプリケーションを使用するにあたって必要な知識
- アプリケーションの基礎
- 最新版ドキュメンテーションおよび出力されたドキュメンテーションの入手
- 追加情報
- 表記規則
- ご意見・ご要望について
- PeopleBook で使用する共通フィールド

注: PeopleBook では、追加の説明が必要な場合のみ、フィールドやチェック ボックスなどの説明を記載しています。処理や業務の説明箇所に、そこで使用されるフィールドの説明がない場合は、追加の説明が必要ないか、または、PeopleBook のセクション、章、PeopleBook 全体、または製品ライン全体で使用される共通フィールドとして説明されています。共通フィールドについては、この章の後半を参照してください。

PeopleSoft Enterprise アプリケーションを使用するにあたって必要な知識

この PeopleBook の内容を十分に理解して活用するには、PeopleSoft Enterprise アプリケーションの基本的な使い方を熟知している必要があります。

また、少なくとも 1 つの入門トレーニング コースを修了することをお勧めします。

この PeopleBook では、ユーザーが PeopleSoft Enterprise のメニューやページ、ウィンドウなどを使って情報を追加、更新、削除できることを前提としています。また、Web ブラウザと、Microsoft Windows または Microsoft Windows NT の操作に習熟していることも必要です。

ここでは、PeopleSoft システムを操作できることを前提としているため、操作手順についての説明は省略しています。この PeopleBook では、PeopleSoft Enterprise システムを効果的に使っていただくために必要な情報や、PeopleSoft Enterprise アプリケーションを導入するために必要な情報を提供します。

アプリケーションの基礎

各アプリケーションの PeopleBook では、PeopleSoft Enterprise アプリケーションを導入して使用するための情報を提供しています。

Copyright © 1988 - 2006, Oracle. All rights reserved.

一方、一部のアプリケーションについて、システムを設定したり設計するときに必要となる情報は、『PeopleSoft Enterprise アプリケーションの基礎 PeopleBook』に書かれています。『PeopleSoft Enterprise アプリケーションの基礎 PeopleBook』は、ほとんどの製品ラインに用意されています。それぞれの PeopleBook のまえがきに、関連する『PeopleSoft Enterprise アプリケーションの基礎 PeopleBook』の情報が記載されています。

『PeopleSoft Enterprise アプリケーションの基礎 PeopleBook』で取り上げている項目は、どの PeopleSoft Enterprise アプリケーションにも当てはまる、あるいはその多くに共通する重要なものばかりです。PeopleSoft システムを導入する場合、1 つのアプリケーションだけを導入する、製品ラインの中からいくつかのアプリケーションを組み合わせて導入する、または製品ライン全体を導入するといったように複数の選択肢がありますが、いずれの場合でも、この『PeopleSoft Enterprise アプリケーションの基礎 PeopleBook』に書かれている内容を十分に理解しておくことが必要です。基礎的な内容を理解することが、導入タスクに着手する出発点となります。

最新版ドキュメンテーションおよび出力されたドキュメンテーションの入手

このセクションでは、以下の方法について説明します。

- 最新版ドキュメンテーションの入手（英語版のみ）
- 出力されたドキュメンテーションの注文とダウンロード

最新版ドキュメンテーションの入手（英語版のみ）

本リリースおよび旧リリースの最新版および追加ドキュメンテーションは、オラクル社の PeopleSoft Customer Connection Web サイトから入手できます。オラクル社の PeopleSoft Cusomer Connection にある Documentation セクションでファイルをダウンロードし、既存の PeopleBook ライブラリに追加することができます。PeopleBook の CD-ROM に含まれる PeopleSoft Enterprise ドキュメンテーション全体へのアップデートを含め、役に立つ最新情報が掲載されています。

重要: アップグレードが必要な場合は、オラクル社の PeopleSoft Customer Connection でアップグレードに関する指示に変更がないか確認してください。常に、アップグレード処理に関する最新情報が掲載されています。

関連項目:

オラクル社の PeopleSoft Customer Connection: http://www.oracle.com/support/support_peoplesoft.html

出力されたドキュメンテーションの注文とダウンロード

PeopleSoft Enterprise ドキュメンテーションは、PeopleBook CD-ROM に収録されていますが、オラクル社の Web サイトから入手することもできます。以下のいずれかの方法で入手できます。

- PDF ファイルをダウンロードする。
- 印刷・製本されたドキュメンテーションを注文する。

Copyright © 1988 - 2006, Oracle. All rights reserved.

PDF ファイルのダウンロード

PeopleSoft Enterprise ドキュメンテーションの PDF 版は、Oracle Technology Network からオンラインでダウンロードできます。PDF ファイルは、メジャー リリースごとに提供され、ソフトウェア出荷後にオンラインで入手できます。

参照: Oracle Technology Network: http://www.oracle.com/technology/documentation/psftent.html.

印刷・製本されたドキュメンテーションの注文

印刷・製本されたドキュメンテーションは、Oracle Store から注文できます。

参照: Oracle Store: http://oraclestore.oracle.com/OA_HTML/ibeCCtpSctDspRte.jsp?section=14021

追加情報

オラクル社の PeopleSoft Customer Connection Web サイトから、以下の情報を入手できます。

情報	ナビゲーション
アプリケーションのメンテナンス情報	[Updates + Fixes]
ビジネス プロセス図	[Support]、[Documentation]、[Business Process Maps]
インタラクティブ サービス リポジトリ	[Support]、[Documentation]、[Interactive Services Repository]
ハードウェア要件とソフトウェア要件	[Implement, Optimize + Upgrade]、[Implementation Guide]、[Implementation Documentation and Software]、[Hardware and Software Requirements]
インストール ガイド	[Implement, Optimize + Upgrade]、[Implementation Guide]、[Implementation Documentation and Software]、[Installation Guides and Notes]
統合情報	[Implement, Optimize + Upgrade]、[Implementation Guide]、[Implementation Documentation and Software]、[Pre-Built Integrations for PeopleSoft Enterprise and JD Edwards EnterpriseOne Applications]
最低要件	[Implement, Optimize + Upgrade]、[Implementation Guide]、[Supported Platforms]
最新版ドキュメンテーション	[Support]、[Documentation]、[Documentation Updates]
PeopleBook サポート ポリシー	[Support]、[Support Policy]
プレリリース ノート	[Support]、[Documentation]、[Documentation Updates]、[Category]、[Release Notes]
製品出荷予定	[Support]、[Roadmaps + Schedules]

Copyright © 1988 - 2006, Oracle. All rights reserved.

情報	ナビゲーション
リリース ノート	[Support]、[Documentation]、[Documentation Updates]、[Category]、[Release Notes]
リリース バリュー プロポジション	[Support]、[Documentation]、[Documentation Updates]、[Category]、[Release Value Proposition]
製品概要	[Support]、[Documentation]、[Documentation Updates]、[Category]、[Statement of Direction]
トラブルシューティング情報	[Support]、[Troubleshooting]
アップグレード関連のドキュメンテーション	[Support]、[Documentation]、[Upgrade Documentation and Scripts]

表記規則

このセクションでは、以下の事項について説明します。

- 表記規則
- 注意事項の表示
- 国、地域、業種の表記
- 通貨コード

表記規則

PeopleBook は、次の表記規則に従って記述されています。

表記規則	説明
太字	PeopleCode の関数名、メソッド名、言語要素や、関数呼び出しでそのまま記述すべき PeopleCode の予約語は太字で記述しています。
斜体	PeopleCode の構文で、プレースホルダとなる引数部分は斜体になっています。
キー + キー	キーを組み合わせて使う操作を示しています。キー名とキー名の間にプラス記号がある場合は、最初のキーを押しながら 2 番目のキーを押すという意味です。たとえば、Alt + W は、Alt キーを押しながら W キーを押すことを表します。

Copyright © 1988 - 2006, Oracle. All rights reserved.

表記規則	説明
monospace font（固定幅のフォント）	PeopleCode のプログラムや、その他のコードの例の表記には、この固定幅のフォントを使用しています。
. . .（省略記号）	PeopleCode の構文で、先行要素の任意の繰り返しを示します。
{}（中かっこ）	PeopleCode の構文で、2 つの選択肢のうちいずれか一方を選択することを示します。選択肢は縦棒（|）で区切られています。
[]（角かっこ）	PeopleCode の構文で、省略できる要素を示します。
&（アンパサンド）	PeopleCode の構文で、アンパサンドが頭に付いたパラメータはインスタンス化されたオブジェクトであることを示します。 また、PeopleCode の変数は必ずアンパサンドが頭に付きます。

注意事項の表示

注意事項は、以下のような形式で示されています。

注

PeopleSoft Enterprise システムを使って作業するときの注意事項が書かれています。

注: 注意事項は、このような形式で示しています。

システムが正しく機能するために必ず守っていただきたい大切な事柄は、"重要:" と示されています。

重要: 重要な注意事項は、このような形式で示しています。

警告

PeopleSoft システムの導入にあたって、特に注意しなければならない重要な事柄は、"警告:" と示されています。"警告:" と書かれた部分には十分な注意を払ってください。

警告: 警告は、このような形式で示しています。

相互参照

相互参照は、"参照:"、または "関連項目:" という形で示しています。すぐ前で説明した情報に関連する他のドキュメンテーションが相互参照として示されています。

Copyright © 1988 - 2006, Oracle. All rights reserved.

国、地域、業種の表記

特定の国、地域、業種にのみ関連する情報については、国や地域名などをかっこ書きで付記して示しています。このような国や地域の表示は、通常はセクションの見出しに付記されますが、注意事項などに付記されることもあります。

特定の国を対象とした見出しの例:「(FRA) 従業員の採用」

特定の地域を対象とした見出しの例:「(中南米) 減価償却の設定」

国の表記

国際標準化機構 (ISO) が定める国コードを使って表記しています。

地域の表記

地域を表す名称で表記しています。以下に例を示します。

- アジア太平洋
- ヨーロッパ
- 中南米
- 北米

業種の表記

業種を表す名称か略称を使って表記しています。以下に例を示します。

- USF (米国連邦政府)
- E&G (教育/公的機関)

通貨コード

金額は ISO が定める通貨コードを使って表記しています。

ご意見・ご要望をお寄せください

PeopleBook についてのご意見、ご要望を下記にお寄せください。

〒158-0097
東京都世田谷区用賀 4–10–1
SBS タワー 13F

(日本オラクル株式会社内) 日本オラクルインフォメーションシステムズ株式会社
WPTG ランゲージマネジャー宛

TEL: 03-5797-6471

または、ETSJPN_US@ORACLE.COM へ電子メールでご連絡ください。

いただいた電子メール全てにご返答のできない場合もありますが、弊社では皆様のご意見やご要望に留意し、貴重な情報として今後の参考にさせていただきます。

Copyright © 1988 - 2006, Oracle. All rights reserved.

PeopleBook で使用する共通フィールド

指定日	この日付までのデータが、レポートまたはプロセスの対象になります。
ビジネス ユニット	ビジネス情報をまとめる上位レベルの組織の ID です。ビジネス ユニットを利用して、1 つの大きな組織の中に地域別または部門別に複数のユニットを定義することができます。
説明	30 文字までのテキストを入力できます。
有効日	テーブル行が有効になる日付、またはアクションが開始される日付です。たとえば、元帳を 6 月 30 日に締める場合、元帳締めの有効日は 7 月 1 日となります。情報をいつ表示、変更できるかも有効日により管理されます。この情報を使用するページやバッチ処理では、現在行が使用されます。
1 回限り、常時処理、実行しない	″1 回限り″ を選択すると、次回のバッチ処理実行時にリクエストが実行されます。バッチ処理が実行されると、処理頻度は自動的に ″実行しない″ に設定されます。 ″常時処理″ を選択すると、バッチ処理が実行されるたびに毎回リクエストが実行されます。 ″実行しない″ を選択すると、バッチ処理が実行されてもこのリクエストは実行されません。
プロセス モニター	このリンクをクリックすると、プロセス リスト ページに移動して、送信したプロセス リクエストのステータスを確認できます。
レポート マネージャ	このリンクをクリックすると、レポート リスト ページに移動して、レポート内容の表示、レポート ステータスの確認、レポートと配信リストの詳細を表示する内容詳細メッセージの照会を行うことができます。
リクエスト ID	レポートまたはプロセスの選択条件のセットを表す ID です。
実行	このボタンをクリックしてプロセス リクエスト ページにアクセスすると、プロセスまたはジョブの実行場所、およびプロセスの出力フォーマットを指定できます。
セットID	コントロール テーブル情報のセット、つまり、テーブルセットを表す ID です。テーブルセットを使用すると、コントロール テーブル情報や処理オプションをビジネス ユニット間で共有できます。これは、データの重複やシステム メンテナンスの作業を減らすために使用されます。ビジネス ユニット内のレコード グループにセットID を割り当てると、レコード グループ内の全てのテーブルは、そのビジネス ユニットと、そのレコード グループに同じセット ID を割り当てているその他のビジネス ユニットとの間で共有されます。たとえば、いくつかのビジネス ユニット間で共有される共通の職務コードのグループを定義したりできます。職務コードを共有する各ビジネス ユニットには、そのレコードについて同じセットID が割り当てられます。
略称	15 文字までのテキストを入力できます。
ユーザー ID	トランザクションを実行する人物を表す ID です。

Copyright © 1988 - 2006, Oracle. All rights reserved.

ここからは EnterpriseOne の用語です。

住所録番号

エンティティのマスター レコードを識別する固有の番号を入力します。住所録番号は、顧客、仕入先、会社、従業員、応募者、加入者、テナント、などの ID として使用できます。アプリケーションによっては、ページ上の住所録番号フィールドが、顧客番号、仕入先番号、会社番号、従業員 ID、応募者 ID、参加者 ID、などに相当する場合もあります。

仮定通貨コード

取引金額の表示に使う通貨を指定する 3 文字のコードを入力します。このコードを使用すると、取引を最初に入力したときに使用した外国通貨または国内通貨以外の任意の通貨で、取引金額を表示できます。

バッチ番号

システムで処理されるトランザクションのグループを表す番号が表示されます。バッチ番号は入力フォーム上で割り当てることができます。自動採番プログラム (P0002) を使用して自動的に割り当てることもできます。

バッチ日付

バッチが作成される日付を入力します。このフィールドを空白にすると、システム日付がバッチ日付になります。

バッチ状況

バッチの転記状況を示すユーザー定義コード (UDC) テーブル 98/IC のコードが表示されます。有効な値は次のとおりです。

空白: バッチは転記されず、承認が保留状態になります。

A: バッチにエラーがなく転記が承認されますが、保留状態でまだ転記されていません。

D: バッチが正常に転記されています。

E: バッチにエラーがあります。転記する前にバッチを修正する必要があります。

P: バッチの転記中です。転記が完了するまでバッチは使用できません。転記中にエラーが発生すると、バッチ状況は E に変更します。

U: 別のユーザーがバッチを操作中のため一時的に使用できないか、またはバッチの処理中に停電があったため、バッチが使用中と認識されています。

事業所

個別のエンティティ (倉庫、作業、プロジェクト、ワーク センター、配送と製造を行う事業所) を表すコードを入力します。一部のシステムでは、ビジネス ユニットと呼ばれます。

ビジネス ユニット

コストの追跡対象となる業務内の個別のエンティティを表す英数字のコードを入力します。一部のシステムでは、事業所と呼ばれます。

カテゴリ コード

特定のカテゴリ コードを表すコードを入力します。カテゴリ コードとは、組織要件の追跡とレポートのためにカスタマイズするユーザー定義のコードです。

会社

特定の組織、資金、その他のレポート対象を表すコードを入力します。会社コードは F0010 テーブルに登録されている必要があり、完全な貸借対照表を持つレポート対象を指定している必要があります。

通貨コード

取引の通貨を表す 3 文字のコードを入力します。JD Edwards EnterpriseOne では、国際標準化機構 (ISO) が定める通貨コードが使用されます。通貨コードは F0013 テーブルに保存されます。

Copyright © 1988 - 2006, Oracle. All rights reserved.

伝票会社

伝票に関連付けられた会社番号を入力します。この番号は、伝票番号、伝票タイプ、元帳日付と共に使用され、当初伝票を一意に識別します。

会社と会計年度別に次の番号を割り当てる場合は、伝票会社に基づいて、該当する会社に正確な ″次の番号″ が割り当てられます。

2 つ以上の当初伝票が同じ伝票番号と伝票タイプを持つ場合は、伝票会社を使用して必要な伝票を表示できます。

伝票番号

当初伝票を識別する番号が表示されます。当初伝票は伝票、請求書、仕訳、タイムシートなどになります。当初伝票番号は入力フォーム上で割り当てることができます。自動採番プログラムを使用して自動的に割り当てることもできます。

伝票タイプ

UDC テーブル 00/DT の 2 文字の UDC を入力します。このコードは、伝票、請求書、仕訳、タイムシートなどのトランザクションのソースと目的を表します。JD Edwards EnterpriseOne では、指定した伝票タイプ用に以下のプレフィックスが予約されています。

P: 買掛金伝票

R: 売掛金伝票

T: 時間および給与伝票

I: 在庫伝票

O: 購買オーダー伝票

S: 受注オーダー伝票

有効日付

住所、品目、トランザクション、レコードが有効になる日付を入力します。このフィールドの意味はプログラムに応じて異なります。たとえば、有効日付は以下の日付を表します。

- 住所の変更が有効になる日付
- 賃貸契約が有効になる日付
- 価格が有効になる日付
- 為替レートが有効になる日付
- 税率が有効になる日付

会計期間、会計年度

総勘定元帳の期間と年度を表す数字を入力します。多くのプログラムでは、このフィールドを空白にして、会社名および番号プログラム (P0010) で定義した現行会計期間と年度を使用できます。

元帳日付

取引が転記される会計期間を表す日付を入力します。入力した取引の日付と会社に割り当てられた会計期間パターンが比較され、適切な会計期間番号と年度を取得して日付が検証されます。

Copyright © 1988 - 2006, Oracle. All rights reserved.

Copyright © 1988 - 2006, Oracle. All rights reserved.

PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理: ポジション管理 - まえがき

この章では、以下の内容について説明します。

- PeopleSoft アプリケーション
- PeopleSoft Enterprise HRMS アプリケーションの基礎
- PeopleBook の構成

PeopleSoft アプリケーション

この PeopleBook では、PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理のポジション管理について説明します。

PeopleSoft Enterprise HRMS アプリケーションの基礎

システムの設定や設計に必要な基本情報は、この PeopleBook の姉妹編とも言える『PeopleSoft Enterprise HRMS 9.0 アプリケーションの基礎 PeopleBook』に記載されています。PeopleSoft のアプリケーション ラインごとに、このドキュメンテーションが用意されています。

関連項目:

PeopleSoft Enterprise HRMS 9.0 アプリケーションの基礎 PeopleBook、「PeopleSoft Enterprise HRMS アプリケーションの基礎 - まえがき」

PeopleBook の構成

PeopleSoft PeopleBook の基本的な構成内容は全ての PeopleBook で共通しています。このことを知っておくと、PeopleBook を効率よく活用できます。

PeopleBook は、処理の内容ごとに情報がまとめられた構成になっています。各章には、アプリケーションを設定または使用するために必要な処理が個別に説明されています。章内の各セクションには、その処理に含まれるタスクが説明されています。セクション内のサブセクションには、タスクに含まれるステップが説明されています。

パートに分かれている PeopleBook もあります。この場合は、1 つのパートに類似の導入プロセスまたはビジネス プロセスに関する複数の章がまとめられていたり、同じビジネス ソリューションに関係する複数の章がまとめられていたりします。PeopleBook がパートに分けられている場合は、各パートの中身が章に分けられています。

次の表で、PeopleBook に含まれる章の内容を説明します。

Copyright © 1988 - 2006, Oracle. All rights reserved.

章	内容
まえがき	現在開いているこの章です。ここでは、以下の内容について説明します。 • アプリケーションの基礎 PeopleBook の使い方について • PeopleBook の構成について • この PeopleBook で使用する共通フィールド（該当フィールドがある場合）
はじめに	この章では、導入のガイドラインを解説します。ここでは、以下の内容について説明します。 • PeopleBook で説明するビジネス プロセスについて • 他の製品との統合について • 導入プロセスの概要と、対応するドキュメンテーションについて（実際の導入手順の詳細な説明はありません）。
ナビゲーション	（省略あり）PeopleSoft アプリケーションの中には、特定のビジネス プロセスやタスク、ユーザー ロールなどに便利なフォルダ グループをまとめた変更後のナビゲーション ページを利用できるものがあります。変更されたナビゲーション ページのあるアプリケーションの場合は、この章に各ページへの基本のナビゲーション情報を記載します。 **注**: 全てのアプリケーションで、変更されたナビゲーション ページを利用できるわけではありません。
製品について	（省略あり）ここでは、製品とその機能の概要を説明します。
設定と導入	この説明は、複数の章にわたる場合があります。これらの章では、アプリケーションを設定、導入する手助けとなる情報を記載しています。そのため、たとえばアプリケーションのある機能の設定方法は説明していても、その使用方法は説明していない場合があります。各機能の使用方法が知りたい場合は、該当するビジネス プロセスの章を参照してください。 **注**: ビジネス プロセスに関する情報が少ない場合は、ビジネス プロセスの章をあえて用意せずに、その情報をこの設定と導入に関する章に記載することもあります。

Copyright © 1988 - 2006, Oracle. All rights reserved.

章	内容
ビジネスプロセス	この説明は、複数の章にわたる場合があります。通常これらの章では、個々の機能に固有のビジネスプロセスの情報を章ごとに記載しています。そのため、たとえばアプリケーションのある機能の使用方法は説明していても、その設定方法は説明していない場合があります。各機能の設定方法が知りたい場合は、該当する設定と導入の章を参照してください。 **注**: 設定と導入に関する情報が少ない場合は、設定と導入の章をあえて用意せずに、その情報をこのビジネスプロセスの章に記載することもあります。
付録	(省略あり)必要に応じて、PeopleBook に付録の章がいくつか添付される場合があります。付録には、メインのドキュメンテーションの補足となる情報が記載されます。
標準ワークフローに関する付録	(省略あり)標準ワークフローに関する付録には、アプリケーションに標準で用意されているワークフローの全リストが記載されます。 **注**: 全てのアプリケーションに標準ワークフローが用意されているわけではありません。
レポートに関する付録	(省略あり)必要に応じて PeopleBook に添付されます。アプリケーションで使用されるレポートの全リストが記載されます。レポートの使用方法についての詳細情報は、通常は関連のビジネスプロセスの章で説明します。

Copyright © 1988 - 2006, Oracle. All rights reserved.

Copyright © 1988 - 2006, Oracle. All rights reserved.

第 1 章

ポジション管理 – はじめに

この章では、ポジション管理の概要と以下の内容について説明します。

- ポジション管理の統合
- ポジション管理の導入

ポジション管理の概要

ポジション管理ビジネス プロセスは、職務や従業員といった基準の代わりに、ポジションを使用して PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理を定義する場合に使用します。

このアプリケーションでは、以下の処理を行うことができます。

- ポジション データと履歴の作成と追跡
- 従業員任務のポジション別処理
- 現職者データの管理
- ポジションと部門の予算管理
- 現職者、ポジション、および予算に関する履歴の確認

ポジション管理の統合

PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理は、PeopleSoft HRMS の全てのアプリケーション、その他の PeopleSoft アプリケーション、およびサード パーティのアプリケーションと統合できます。

PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理の共有テーブルは、さまざまな PeopleSoft Enterprise HRMS アプリケーションで使用可能です。また、多くの HR テーブルのデータは、パブリッシュされたメッセージをサブスクライブするよう設定されている PeopleSoft アプリケーションでも利用可能です。

この PeopleBook では、統合に関する注意事項についても説明しています。

Copyright © 1988 – 2006, Oracle. All rights reserved.

ポジション管理の導入

PeopleSoft セットアップ マネージャを使用すると、導入する機能に基づいて、実行する必要のある設定タスクのリストを生成できます。この設定タスクには、設定する必要のあるコンポーネントが、テーブルにデータを入力すべき順番でリストされます。また、関連する PeopleBook ドキュメンテーションへのリンクも含まれます。

ポジション管理には、既存システムからポジション管理のテーブルへデータをロードするコンポーネント インターフェイスも用意されています。テーブルにデータをロードするには、Excel to Component Interface ユーティリティを使用します。

設定用コンポーネント インターフェイスを備えたコンポーネントを次に示します。

コンポーネント	コンポーネント インターフェイス	参照先
CI_POSITION_DATA	POSITION_DATA	参照: 第 3 章、「ポジションの設定」、「ポジションの作成」、10ページ

その他の情報ソース

導入プランの設定段階では、導入ガイド、データ モデル、ビジネス プロセス マップ、トラブル シューティング ガイドラインなど、PeopleSoft 内にある全ての情報を活用してください。

関連項目:

PeopleSoft Enterprise グローバル ペイロール 9.0 PeopleBook、「PeopleSoft Enterprise グローバル ペイロール 9.0 - まえがき」

PeopleTools PeopleBook: PeopleSoft Component Interfaces

Enterprise PeopleTools PeopleBook: PeopleSoft Setup Manager

Copyright © 1988 - 2006, Oracle. All rights reserved.

第 2 章

ポジション管理について

この章では、以下の内容について説明します。

- ポジションを使用したヒューマン リソース管理システムの構築（職務を使用した場合との比較）
- ポジション管理ビジネス プロセスを選択する場合の条件

ポジションを使用したヒューマン リソース管理システムの構築（職務を使用した場合との比較）

職務の代わりにポジションを基準にして、ヒューマン リソース管理システムを構築することが可能です。

従業員（職務）を基準にしてヒューマン リソース管理システムを構築した場合は、組織の職務に関して、より広範な情報を取得できます。さまざまな職務を一般的なカテゴリにグループ分けするには職務コードを使います。このため、職務コードと従業員の間には 1 対多の関係が成り立ちます。1 つの職務コードは、所属部門、勤務地、所属会社などが異なる複数の従業員によって共有されます。従業員が携わる職務は、従業員レコードに入力するデータによって指定します。

ポジションは、従業員に対して通常 1 対 1 の関係となるような特定の部門や勤務地で遂行される職務に関し、詳細を追跡管理する場合に使用します。ポジションを使用してシステムを構築する場合は、データをポジションに対応付け、そのポジションに対して従業員を配属/配属解除します。ポジションを基準とすることによって、実際に従業員が配属されているかどうかにかかわらず、ポジションに関連付けられた情報（そのポジションの給与、標準勤務時間など）を管理できます。そのポジションが空席である場合にも、データと対応付けられたポジション特有の情報は保持されます。各ポジション固有のデータに基づいて、組織計画やキャリア プランの作成、採用活動、予算策定を行うことができます。

ポジション管理ビジネス プロセスを選択する場合の条件

ポジション管理ビジネス プロセスの選択にあたっては、以下の条件を考慮に入れる必要があります。

- 流動性の高い組織である場合: 流動性の高い組織（従業員を比較的大きなグループで分類し、かつ、新しい職務が頻繁に作成される傾向のある組織）では、一般に、従業員を基準にしてシステムを構築するのが最善といえます。これは、組織が拡大途上にある場合や、新しい職務や職務タイプが頻繁に作成されるような状況で有効です。
- 安定的な組織である場合: 安定的な組織（職務や職務内容がほぼ固定されており、従業員の配属や異動が既存の職務構成内で行われるような組織）では、一般に、ポジションを基準にしてシステムを構築するのが最善といえます。官公庁や病院など、予算に基づいた人員配置がなされる組織では、この方法が有効です。

Copyright © 1988 - 2006, Oracle. All rights reserved.

- 組織内の分野によって特性が異なる場合: ポジションを基準とする部門/管理レベル、従業員を基準とする部門/管理レベルをそれぞれ使い分けて、ヒューマン リソース管理システムを構築することができます。インストール テーブルの HRMS オプション ページにある [ポジション管理オプション] で [一部] を選択すると、2 つのうちいずれか適切な方法を選択して使用できるようになります。

Copyright © 1988 - 2006, Oracle. All rights reserved.

第 3 章

ポジションの設定

この章では、ポジション設定の概要と、以下の作業手順について説明します。

- ポジションの作成
- 従業員のポジションへの割り当て

ポジションの設定について

ヒューマン リソース管理では、組織の全てのポジションについて有効日が設定された履歴を保管できます。この機能は、実際に従業員がポジションに配属されているかどうかにかかわらず有効です。配属される従業員が交替しても、職務内容や職務範囲が変更されることは少ない組織の場合、ポジションを基準にしてヒューマン リソース管理のデータを構築することが可能です。これにより、各ポジションへの従業員の配属とは関係なく、組織内の所属関係を独自に管理できます。この方法を採用するには、インストール テーブルの HRMS オプション ページでポジション管理ビジネス プロセスを有効にします。

このセクションでは、以下の作業手順について説明します。

- テーブルの設定
- ポジション データの使用
- ポジション データのセキュリティの管理

テーブルの設定

システムがポジションのデフォルト値を割り当てる際には、基本テーブルに保存されている情報が使用されます。この情報は、従業員を基準にしてヒューマン リソース管理システムを構築した場合に使用される情報と同じです。ただし、ポジションを基準にしたシステム構築では、ユーザーが全てのデータを事前設定しておきます。したがって、従業員の採用の際にユーザーが処理すべきことはポジションの割り当てのみとなり、残りの職務データ レコードの処理は、設定されたポジション情報を使用してシステムによって実行されます。

この章で取り上げるページを使用して作業を行う前に、以下のテーブルで情報を設定する必要があります。

- インストール テーブル

  注: システムでポジション管理を使用できるようにするには、インストール テーブルで通常のアプリケーション設定を行うほか、ポジション管理を有効にする必要があります。

- 部門テーブル
- 会社テーブル

Copyright © 1988 - 2006, Oracle. All rights reserved.

- 職務コード テーブル

ヒューマン リソース管理システムで複数のビジネス ユニットやセットID を使用している場合、ユーザーが使用および作成可能な情報は、各ユーザー ID に対するビジネス ユニットやセットID の機能の設定状態によって決まります。

関連項目:

PeopleSoft Enterprise HRMS 9.0 アプリケーションの基礎 PeopleBook、「PeopleSoft Enterprise HRMS の設定とインストール」

PeopleSoft Enterprise HRMS 9.0 アプリケーションの基礎 PeopleBook、「組織構造基本テーブルの設定」

PeopleSoft Enterprise HRMS 9.0 アプリケーションの基礎 PeopleBook、「職務の設定」

ポジション データの管理

新規ポジションを作成する場合、ヒューマン リソース管理は、ユーザーが部門テーブル、職務コード テーブル、および所在地テーブルで設定したデータを参照し、デフォルト値をポジション データ コンポーネントの複数のフィールドにロードします。特定のポジションに対して例外的な対応が必要な場合は、該当するデフォルト値を上書きできます。

注: デフォルト値を上書きした場合、新しい行を追加するとデフォルトがそのまま使用されます。

部門 ID、職務コード、所在地のいずれかの変更を行うと、給与管理プラン、等級、ステップの各フィールドのデフォルト値も変更されます。給与プランを所在地と職務コードの両方に関連付けた場合、デフォルトの給与プランは前回入力したソース、所在地と関連付けられている部門、所在地、または職務コードから取得されます。デフォルトの給与等級およびステップは職務コードに関連付けられていますが、等級とステップは所在地には関連付けられていません。

職務コード、部門、所在地の値を変更すると、該当するフィールドに新しいデフォルト値が挿入されます。これは、既にフィールドに値が表示されている場合にも実行されます。フィールドのデフォルト値は、ソース コードおよびテーブルから取得されます。

更新されるフィールド	デフォルト設定されるフィールド	ソース テーブル
[職務コード]	[管理者レベル]	職務コード テーブル: [管理者レベル] フィールド
[職務コード]	[正規/臨時]	職務コード テーブル: [正規/臨時] フィールド
[職務コード]	[組合コード]	職務コード テーブル: [組合コード] フィールド
[職務コード]	[名称]	職務コード テーブル: [名称] フィールド
[職務コード]	[略称]	職務コード テーブル: [略称] フィールド
[職務コード]	[ポジション詳細説明]	職務コード テーブル: [職務内容] フィールド
[部門]	[会社コード]	部門テーブル: [会社コード] フィールド

 Copyright © 1988 - 2006, Oracle. All rights reserved.

更新されるフィールド	デフォルト設定されるフィールド	ソース テーブル
[部門]	[所在地コード]	部門テーブル: [所在地コード] フィールド
[部門]	[直属上司ポジション]	部門テーブル: [管理者のポジションコード] フィールド
[職務コード]	[兵役]	職務コード テーブル: [兵役] フィールド
[職務コード]	[ランク]	職務コード テーブル: [ランク] フィールド
[職務コード] [部門] [所在地コード]	[給与管理プラン]	職務コード テーブル: [給与管理プラン] フィールド 所在地テーブル: [給与管理プラン] フィールド (所在地に関連付けられている所在地または部門を変更する場合)
[職務コード]	[等級]	職務コード テーブル: [等級] フィールド **注:** このフィールドは、ポジション データ - 特定情報ページにある [給与プラン/等級を含む] チェック ボックスがオンになっている場合にのみ更新されます。
[職務コード]	[ステップ]	職務コード テーブル: [ステップ] フィールド
[職務コード] [所在地コード]	[標準勤務時間]	職務コード テーブル: [標準勤務時間] フィールド 給与管理プラン テーブル: [標準勤務時間] フィールド (所在地を変更する場合)
[職務コード] [所在地コード]	[勤務周期]	職務コード テーブル: [標準勤務周期] フィールド 給与管理プラン テーブル: [勤務周期] フィールド (所在地を変更する場合)
[職務コード]	[月曜] - [日曜]	職務コード テーブル: [標準勤務時間] フィールド (このフィールドの値を 5 で割った値を [月曜] - [金曜] に適用)
[職務コード]	(USA) [FLSA ステータス]	職務コード テーブル: [FLSA ステータス] フィールド

注: ポジション作成後に職務コード、部門、所在地の各テーブルのデフォルト値を変更した場合は、ポジション データ コンポーネントのデフォルト値は更新されません。

Copyright © 1988 - 2006, Oracle. All rights reserved.

職務データ コンポーネントでのポジション変更の更新

ポジション データ コンポーネントには、職務データ コンポーネントと同一のフィールドが複数存在します。ポジション データ コンポーネントでフィールドの値が変更された場合、次の条件に一致する状況では、そのポジションの現職者に関する職務データ コンポーネント内の同一のフィールドの値が自動的に更新されます。

- ポジションがアクティブである。
- そのポジションに対してポジション データ – 特定情報ページにある [現職者を更新] チェック ボックスがオンになっている。
- 現職者の職務データ レコードに対して職務データ – 勤務地ページにある [ポジション データの上書き] が有効になっていない。

以上のような状況では、ポジション データ コンポーネントでフィールドの値を変更すると、更新プロセスが実行され、現職者の職務レコードに変更が反映されます。

注: [部門配属日] および [ポジション着任日] フィールドの日付は、ポジション データ コンポーネントの有効日で上書きされます。

ポジション データで更新されるフィールド	現職者の職務データで更新されるフィールド
[ビジネス ユニット]	[ビジネス ユニット] [部門] (セットID) [所在地コード] (セットID) [給与管理プラン] (セットID) [職務コード] (セットID)
[会社コード]	[会社コード]
[部門]	[部門] [部門配属日]
[FLSA ステータス]	[FLSA ステータス]
[常勤/パートタイム]	[常勤/パートタイム]
[等級]	[等級]
[職務コード]	[職務コード] [着任日]
[所在地コード]	[所在地コード]

Copyright © 1988 – 2006, Oracle. All rights reserved.

ポジション データで更新されるフィールド	現職者の職務データで更新されるフィールド
[正規/臨時]	[正規/臨時]
[法定区域]	[法定区域] [労働協約]
[直属上司ポジション]	[直属上司ポジション]
[給与管理プラン]	[給与管理プラン]
[標準勤務時間]	[標準勤務時間]
[標準勤務シフト]	[勤務シフト]
[ステップ]	[ステップ]
[組合コード]	[組合コード]
[勤務周期]	[勤務周期]

注: [給与管理プラン]、[等級]、[ステップ] の各フィールドは、ポジション データ - 特定情報ページにある [給与プラン/等級を含む] チェック ボックスが選択されている場合にのみ更新されます。

関連項目:

第 3 章、「ポジションの設定」、「ポジションの作成」、10ページ

PeopleSoft Enterprise HRMS 9.0 アプリケーションの基礎 PeopleBook、「PeopleSoft Enterprise HRMS の設定とインストール」

PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理 9.0 PeopleBook: 人事・労務管理、「雇用データの追加」

PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理 9.0 PeopleBook: 人事・労務管理、「個人情報と職務情報の更新」

ポジション データのセキュリティの管理

ヒューマン リソース管理に登録済みのポジションをユーザーが追加モードで作成しようとすると、指定した番号のポジションが既に存在することを示すメッセージが表示され、同じ画面から該当する既存データへのアクセスを実行できます。データへのアクセスを実行すると、そこで既存のデータの更新を行うことができます。これは、ユーザーがアクセス権を持たない部門のポジションに関しても同様です。この理由は以下のとおりです。

- システム内にポジションが重複して作成されるわけではないため、追加モードを使用しても下位の SQL エラーが発生することがない。

Copyright © 1988 - 2006, Oracle. All rights reserved.

- 部門間の転属ができるようにシステムが設計されている。

  たとえば、ユーザーにセキュリティ アクセス権が与えられていない部門からユーザーの所属する部門にポジションを移動する場合でも、正確なポジション番号がわかっていれば、値の追加モードでポジションを移動できます。

ポジション データに関するページには給与データが表示されないため、従業員データほど厳格なセキュリティは適用されません。したがって、エラー メッセージが表示された際にポジション データが一時的に表示されるという動作は、セキュリティ上はそれほど問題とはされず、この場合はむしろ、システムにそのポジションが登録済みであることをユーザーが確認できるというメリットの方が重視されます。システムを修正して、値の追加モードでユーザーに対しポジション データを全く表示しないように設定することもできます。

値の追加モードでポジション データを非表示にするには、次の手順に従います。

1. PeopleSoft アプリケーション デザイナを使用して POSITION_DATA レコードにアクセスします。
2. DESCR フィールドをハイライトし、[View PeopleCode] を選択します。
3. PeopleCode [Row Select] を選択します。
4. この条件を制御するコードのコメントを書き換える方法についての説明を確認します。
5. POSITION_DATA コンポーネントのプロパティを表示し、追加アクションに対する検索レコードを POSITION_SRCH に変更します。

関連項目:

PeopleTools PeopleBook: PeopleSoft Application Designer

ポジションの作成

ポジションを作成するには、ポジション データ (POSITION_DATA) コンポーネントを使用します。

このセクションでは、以下の作業手順について説明します。

- ポジション情報の設定
- ポジション特定情報の設定
- 予算情報と現職者情報の確認

 Copyright © 1988 - 2006, Oracle. All rights reserved.

ポジションの作成に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
ポジション情報	POSITION_DATA1	• [HRMS 基本設定]、[製品・業務別定義]、[組織計画/管理]、[ポジションデータ]、[ポジション情報] • [組織計画/管理]、[ポジション管理]、[ポジション/予算データの更新]、[ポジション データの追加/更新]、[ポジション情報] • [組織計画/管理]、[後任計画]、[重要ポジションの定義]、[重要ポジション]、[ポジション情報]	ポジションに関する情報を設定します。
特定情報	POSITION_DATA5	• [HRMS 基本設定]、[製品・業務別定義]、[組織計画/管理]、[ポジションデータ]、[特定情報] • [組織計画/管理]、[ポジション管理]、[ポジション/予算データの更新]、[ポジション データの追加/更新]、[特定情報] • [組織計画/管理]、[後任計画]、[重要ポジションの定義]、[重要ポジション]、[特定情報]	勤務先の電話番号や郵便箱 ID といった、作成するポジションに固有の情報を設定します。
予算と現職者	POSITION_DATA6	• [HRMS 基本設定]、[製品・業務別定義]、[組織計画/管理]、[ポジションデータ]、[予算と現職者] • [組織計画/管理]、[ポジション管理]、[ポジション/予算データの更新]、[ポジション データの追加/更新]、[予算と現職者] • [組織計画/管理]、[後任計画]、[重要ポジションの定義]、[重要ポジション]、[予算と現職者]	ポジションの現在の予算と現職者を確認します。

Copyright © 1988 - 2006, Oracle. All rights reserved.

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
ポジション詳細説明	POSN_DESCR_SEC	• [HRMS 基本設定]、[製品・業務別定義]、[組織計画/管理]、[ポジションデータ]、[重要ポジション]、[ポジション情報] [ポジション詳細説明] リンクをクリックします。 • [組織計画/管理]、[ポジション管理]、[ポジション/予算データの更新]、[ポジション データの追加/更新]、[ポジション情報] [ポジション詳細説明] リンクをクリックします。 • [組織計画/管理]、[後任計画]、[重要ポジションの定義]、[重要ポジション]、[ポジション情報] [ポジション詳細説明] リンクをクリックします。	該当ポジションの詳細情報を表示します。

ポジション情報の設定

ポジション データ – ポジション情報ページにアクセスします。

Copyright © 1988 – 2006, Oracle. All rights reserved.

ポジション情報 | 特定情報 | 予算と現職者

ポジション データ　検索 | 全件表示　最初 1/1 最後

ポジション番号: 19000085
人員数ステータス: 一部採用済　現行人員数: 3 / 4
*有効日: 1980/01/01　*ステータス: アクティブ
異動理由: NEW 新規ポジション　入力日: 1996/02/01
*ポジション ステータス: 承認済　ステータス更新日: 1980/01/01　☑ 重要ポジション

職務情報
*ビジネス ユニット: GBIBU Global Business Institute BU
職務コード: 820125 Specialist-Tech Training　管理者レベル:
*正規/臨時: 正規　*常勤/パートタイム: 常勤
*標準勤務シフト: 該当なし　組合コード:
名称: Technical Training Specialist　略称: Tech Trnr　ポジション詳細説明

勤務地
*法定区域: USA アメリカ
部門: 54000 Assembly　会社コード: GBI Global Business Institute 9999
所在地コード: KUOH00 Ohio Operations
直属上司ポジション: 19000004 Manager-Employment/Recruitment　関連上司ポジション:
役職:　セキュリティ クリアランス:

ポジション データ - ポジション情報ページ (1/2)

軍
兵役:　兵役コンポーネント:
ランク:

給与プラン情報
給与管理プラン:　等級:　ステップ:
標準勤務時間: 40.00　勤務周期: W 週次

月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	日曜
8.00	8.00	8.00	8.00	8.00		

アメリカ
FLSA ステータス: 控除対象外　所属組合: 8888

ドイツ
等級/ステップ (下限):　等級/ステップ (上限):

オーストラリア
給与パッケージ
パッケージ テンプレート ID:
パッケージ ルール ID:

更新日時:　更新ユーザー:

ポジション データ - ポジション情報ページ (2/2)

Copyright © 1988 - 2006, Oracle. All rights reserved.

[ポジション データ]

[ポジション番号]

ポジションに対して割り当てられる固有の番号です。新しいポジションを作成する際にポジション番号を指定できます。また、[値の追加] タブをクリックすると表示されるデフォルト値 00000000 を変更せずに作成を行い、ページ保存時に自動的に割り当てられる連番を使用することもできます。

2 種類のポジション番号のセットが保持されることを回避するため、PeopleSoft では、常に手動/自動のいずれかの一貫した方法により番号を割り当てることをお勧めします。

[初期化]

注: このボタンは新しいポジションを追加するときのみ表示されます。

作成するポジションに類似した既存ポジションの属性の全て、または大部分をコピーする場合、このボタンをクリックします。表示されたダイアログボックスで、コピーするポジションのポジション番号を指定します。[OK] をクリックすると、選択したポジションからポジション データ コンポーネントにポジション情報がロードされます。新規ポジションに適合しない情報がある場合は、上書きして修正できます。

データをコピーできる類似ポジションが不明な場合は、手動でデータを設定します。

[異動理由]

虫眼鏡ボタンをクリックし、有効値のリストからポジションの変更または作成の理由を選択します。

[ポジション ステータス]

ポジションのステータスを、[承認済]、[提案中]、[保留中] の中から選択します。

[ステータス更新日]

ポジション ステータスの更新日を指定します。

[重要ポジション]

このポジションが重要ポジションである場合、チェック ボックスをオンにします。

[職務情報]

[ビジネス ユニット]

ポジションに対応するビジネス ユニットを指定します。

[職務コード]

このポジションに対応する職務コードを指定します。職務コードを指定すると、その職務コードに対応した職務名が [名称] フィールドにデフォルトとして表示されます。

[正規/臨時]

新しいポジションの場合は、デフォルト値の [正規] が選択されています。臨時ポジションの場合は、ドロップ ダウン リストから [臨時] を選択します。

[常勤/パートタイム]

新しいポジションの場合は、デフォルト値の [常勤] が選択されています。パートタイムのポジションの場合は、ドロップ ダウン リストから [パートタイム] を選択します。

[標準勤務シフト]

ポジションにシフトを割り当てる場合は、このフィールドでシフト コードを指定します。

[組合コード]

ポジションに対応する組合コードを指定します。

[名称]

指定されたポジションに対応する職務名が表示されます。このフィールドには、職務コードに関連付けられた値がデフォルトで使用されます。このデフォルト値は、別の職務名を新たに入力して変更することができます。

Copyright © 1988 - 2006, Oracle. All rights reserved.

注: 特定情報ページの [現職者を更新] チェック ボックスをオンにしている場合、ポジション名に対する変更は従業員の職務名の変更として処理され、現職者の職務データに適用されます。この職務名は、職務データ コンポーネントの職務情報ページで確認できます。

[略称] このポジションの略称を入力します。[職務情報] で職務コードを指定すると、このフィールドにはその職務コードに関連付けられた略称が表示されます。デフォルト値は上書きすることができます。

[ポジション詳細説明] 必要に応じて、このリンクをクリックしてポジション詳細説明ページにアクセスし、このポジションに関する詳細を入力します。

[勤務地]

[法定区域] ポジションの法定区域を指定します。

[部門] 有効値のリストから、このポジションに関連付ける部門 ID を選択します。

[会社コード] 部門を選択すると、このフィールドにはその部門に関連付けられている会社コードが表示され、編集ができなくなります。選択した部門に会社コードが関連付けられていない場合は、有効値のリストから選択を行います。

[所在地コード] 有効値のリストから、このポジションに関連付ける所在地コードを選択します。

[直属上司ポジション] 直接の所属関係を設定する場合は、有効値のリストから、このポジションに対する上司の役割が割り当てられたポジション番号を選択します。

このポジションが最上位のポジション レコードである場合は、このポジションの番号を指定します。たとえば、最高経営責任者のポジション レコードの場合は、このフィールドには最高経営責任者のポジション番号を指定します。

[関連上司ポジション] このポジションに対する関連上司ポジションが存在する場合は、有効値のリストから該当するポジション番号を選択します。

[役職] このポジションに対してなんらかの役職レベルが関連付けられている場合は、有効値のリストから対応するレベルを選択します。

[セキュリティ クリアランス] 個人に割り当てられるセキュリティ クリアランス タイプの値を選択します。

[軍]

[兵役] このポジションが属する兵役を選択します。兵役を職務コードに関連付けると、デフォルトの兵役が職務コードから取得されます。

[兵役コンポーネント] このポジションが属する兵役タイプを選択します。

[ランク] このポジションが属する軍の階級を選択します。階級を職務コードに関連付けると、デフォルトの階級が職務コードから取得されます。

注: 軍関係のフィールドでは、このポジションに配属される個人の職務データにデフォルト値は入力されません。

Copyright © 1988 - 2006, Oracle. All rights reserved.

[給与プラン情報]

[給与管理プラン] 有効値のリストから、このポジションに関連付ける給与管理プランを選択します。このフィールドで選択した値は、新しい従業員をポジションに割り当てる際、職務データ コンポーネントに表示されます。

[等級] 有効値のリストから、このポジションに関連付ける等級を選択します。

[ステップ] 有効値のリストから、このポジションに関連付けるステップを選択します。

[標準勤務時間] このポジションの [勤務周期] に対する、標準的な勤務時間を入力します。たとえば、[勤務周期] で [週次] を指定し、[標準勤務時間] に「40.00」と入力します。

[勤務周期] このポジションに対応する勤務周期を指定します。勤務周期とは、雇用主が従業員の勤務時間を規定するための最小単位です。

[勤務周期] に [週次] を指定した場合は、曜日ごとの勤務時間を各フィールドに入力します。

(USA) [アメリカ]

[FLSA ステータス] FLSA (公正労働基準法) の有効範囲を指定します。[一般事務]、[幹部役員]、[管理職]、[FLSA は不要]、[控除対象外]、[外部の販売担当者]、[専門職]、[控除対象外/残業手当]、[コンピュータ専門職] の中から選択します。

(DEU) [ドイツ]

[等級/ステップ (下限)]、[等級/ステップ (上限)] このポジションの給与の下限および上限に対して、給与等級とステップを指定します。

(AUS) [オーストラリア]

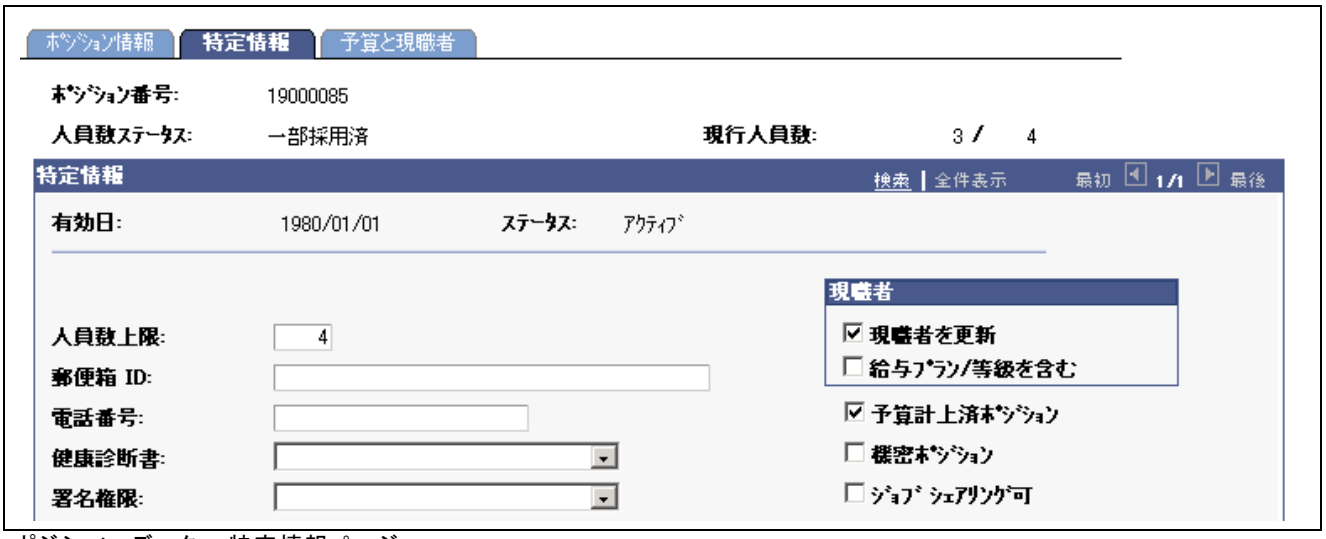
[パッケージ テンプレート ID] 給与パッケージのテンプレート ID を指定します。

[パッケージ ルール ID] 給与パッケージのルール ID を指定します。

ポジション特定情報の設定

ポジション データ - 特定情報ページにアクセスします。

 Copyright © 1988 - 2006, Oracle. All rights reserved.



ポジション データ - 特定情報ページ

[人員数上限]

このポジションに割り当て可能な人員の上限を入力します。デフォルト値は 1 です。これは、ポジションと従業員との関係が通常 1 対 1 である (1 つのポジションに対して 1 人の従業員が割り当てられる) ためです。ただし、このポジションでジョブ シェアリングが許可されている場合、または複数の人員にポジションを割り当てることができる場合は、適切な上限数に変更します。

[現職者を更新]

このチェック ボックスをオンにすると、職務データ コンポーネントの現職者の職務データが自動的に更新されます。このオプションは、従業員にポジションを割り当てた後に適用されます。

デフォルトでは、このチェック ボックスはオフの状態です。チェック ボックスがオフの場合、[給与プラン/等級を含む] チェック ボックスは使用不可になります。従業員レコードでポジション データを使用している場合、[現職者を更新] チェック ボックスをオンにすることによって [給与プラン/等級を含む] チェック ボックスが使用可能になります。この設定は、ポジションによって制御されており、職務データ コンポーネントで編集を行うことはできません。

[給与プラン/等級を含む]

現職者の更新処理において給与プラン/等級を対象に含める場合に使用します。[給与プラン/等級を含む] チェック ボックスをオンにすると、給与プラン/等級が現職者の更新処理の対象になります。[給与プラン/等級を含む] チェック ボックスをオフにすると、給与プラン/等級が現職者の更新処理の対象から除かれます。

注: 軍関係のポジション データ [ランク] フィールドに値が入力されている場合、[給与プラン/等級を含む] フィールドにデータは入力できません。

[郵便箱 ID]、[電話番号]

ポジションに対して郵便箱 ID と電話番号が割り当てられている場合、それぞれのフィールドに入力を行います。

[予算計上済ポジション]

デフォルトではこのチェック ボックスはオンになっています。このポジションのステータスが "提案中" または "保留中" の場合は、このチェック ボックスをオフにします。その他の場合は、レポート用にチェック ボックスはオンのままにしておきます。これにより、システムはそのポジションが承認済みであることを認識します。

Copyright © 1988 - 2006, Oracle. All rights reserved.

[健康診断書] このポジションで健康診断書が必要とされる場合は、ドロップ ダウン リストから該当する診断書を選択します。

[機密ポジション] 経営の中枢に関わるポジションである場合は、このチェック ボックスをオンにします。

[署名権限] このポジションに署名権限が割り当てられている場合は、ドロップ ダウン リストから該当する権限を選択します。

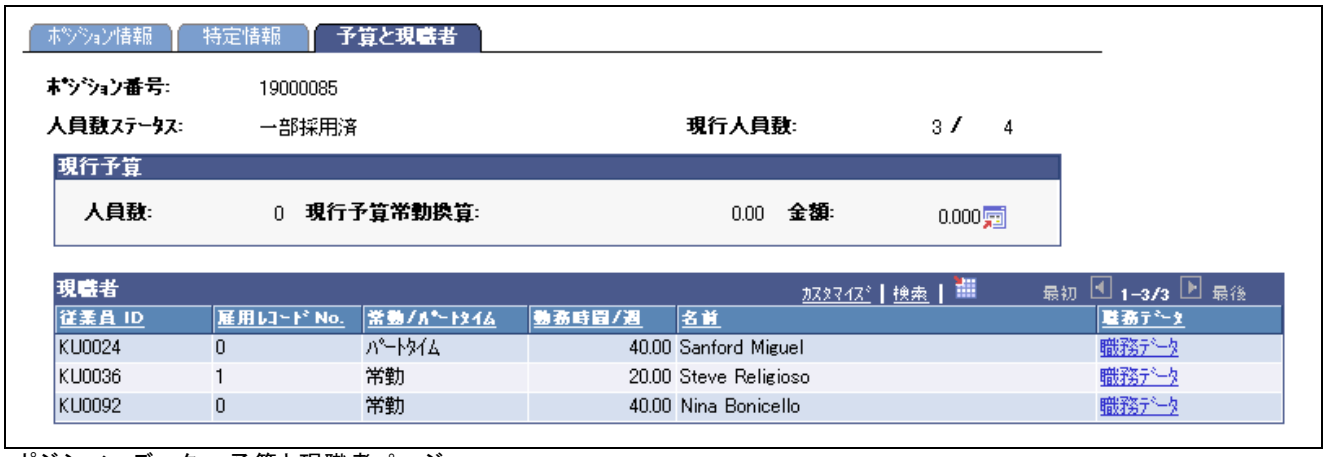
[ジョブ シェアリング可] ジョブ シェアリングが許可されているポジションの場合は、このチェック ボックスをオンにします。ジョブ シェアリングが可能な場合は、[人員数上限] フィールドにポジション人員数の上限 (ポジションを共有できる人数の上限) を入力します。

関連項目:

第 4 章、「ポジション データの管理」、21ページ

予算情報と現職者情報の確認

ポジション データ - 予算と現職者ページにアクセスします。



ポジション データ - 予算と現職者ページ

[現行予算] [現行予算] グループ ボックスには、ポジションの [人員数]、[現行予算常勤換算]、[金額] に関する情報が表示されます。

[現職者] 従業員のポジションへの割り当て完了後、このグループ ボックスに、該当する現職者の [従業員 ID]、[雇用レコード番号]、[名前]、[職務データ] へのリンクが表示されます。

[職務データ] リンクをクリックすると職務データ コンポーネントにアクセスできます。この場合、[従業員 ID] は自動的にロードされます。職務データ コンポーネントで情報の確認や変更を完了すると、再びポジション データ コンポーネントの画面に戻ります。

Copyright © 1988 - 2006, Oracle. All rights reserved.

従業員のポジションへの割り当て

ポジションの設定が完了すると、従業員をそのポジションに割り当てることができるようになります。人事・労務管理の職務データ コンポーネントで各従業員のデータを指定します。大部分の職務関連データは既に [ポジション管理] メニューで設定されているため、従業員の職務データ コンポーネントのほとんどのフィールドには、組織および職務に関連するデータが自動入力されます。

Copyright © 1988 - 2006, Oracle. All rights reserved.

Copyright © 1988 - 2006, Oracle. All rights reserved.

第 4 章

ポジション データの管理

この章では、以下の作業手順について説明します。

- ポジション データの保守
- ポジション データの更新
- 現職者の職務データの更新
- ポジション データの検証

ポジション データの保守

ポジションの名称が変更されたり、ポジションが非アクティブになった場合など、ポジション データの変更が必要とされる状況は定期的に発生します。また、給与変更や休職などを設定して、従業員データを更新しなければならないこともあります。ポジションの部門コードの変更など、ポジションのデータと現職者（そのポジションに割り当てられている従業員）の職務データの双方に対する反映が必要な変更作業もあります。こうした変更は、ポジションの作成や従業員のポジションへの割り当てを行ったページを使用して行います。

更新するデータが現職者の職務データのみに関係するのか、ポジション データのみに関係するのか、その双方に関係するのかによって、ポジション データの変更プロセスは異なってきます。

このセクションでは、以下の手順について説明します。

- データ更新に使用するページの判断
- 現職者データとポジション データの識別

データ更新に使用するページの判断

データ更新のタイプの判断に続いて、更新に使用するページを判断します。

- 現職者のデータの場合は、[人事・労務管理]、[職務情報] の職務データ コンポーネントで変更を行います。
- ポジションに関係するデータの場合は、ポジション データ コンポーネントで変更を行います。
- 変更がポジション データと現職者データの双方に関係する場合は、ポジション データ コンポーネントで変更を行います。職務データ コンポーネントの現職者データは自動的に更新されます。

たとえば、ポジションの所在地を変更する場合は、ポジション データ コンポーネントを使用します。変更先の部門または所在地を指定することによって、ポジションおよび現職者のデータを更新します。この場合の変更は、単純な配置転換を意味しており、従業員の昇進や昇給を伴うものではありません。

Copyright © 1988 - 2006, Oracle. All rights reserved.

従業員を他のポジションに異動させる場合は、人事・労務管理の職務データ コンポーネントで配置転換処理を使用します。このタイプの配置転換は、従業員の昇進や降格を意味しており、給与の変更が発生します。

注: ポジション データでの部門や勤務地の変更は、職務データでの事業所 ID 値に対してある程度動作上の影響を及ぼします。

部門の変更が勤務地の変更を伴わない場合:

- 以下の場合に、職務データ ページの事業所 ID はクリアされません。
  - 勤務地に有効な事業所 ID が 1 つしかない。
  - 勤務地に有効な事業所 ID が複数あり、現在の事業所 ID が勤務地に対して有効。
- 勤務地に有効な事業所 ID が複数あり、現在の事業所 ID が勤務地に対して有効でない場合、職務データ ページの事業所 ID はクリアされます。

部門の変更が勤務地の変更を伴う場合:

- 勤務地に有効な事業所 ID が 1 つしかない場合、職務データ ページの事業所 ID には値が入力されます。
- 勤務地に有効な事業所 ID が複数あり、それが新しい勤務地に対して有効な場合、職務データ ページの事業所 ID はクリアされません。
- 勤務地に有効な事業所 ID が複数あり、それが新しい勤務地に対して有効でない場合、職務データ ページの事業所 ID はクリアされます。

現職者データとポジション データの識別

このセクションでは、以下について説明します。

- 注意点
- ポジション データの変更
- 現職者データの変更
- ポジション データと現職者データの変更

注意点

更新する情報のタイプに応じて、ポジション データ コンポーネント、職務データ コンポーネントのいずれかで変更を行います。変更は、その内容に基づき、現職者データ、ポジション データのいずれか、または双方のデータに反映されます。そのため、変更を行う前に内容について十分に確認する必要があります。また、データのタイプによって、ヒューマン リソース管理のどの部分で変更を行うかが決まります。

ポジション データの変更

ポジションの部門 ID、給与管理プラン、名称など、ポジションに関係した変更を加える場合は、ポジション データ コンポーネントを使用します。ここで加えた変更は、ポジション データおよび現職者データに適用されます。

ポジション データ コンポーネント内のいくつかのフィールドでは、変更を行った場合に、現職者の職務レコードが同じ変更内容によって更新されます。「ポジションの設定」の章にある「職務データ コンポーネントでのポジション変更の更新」セクションには、ポジション データと現職者の職務データで共通するフィールドに関する表が示されています。表では、ポジション データ コンポーネントの各フィールドを変更した場合に更新される職務レコードのフィールドが取り上げられています。

 Copyright © 1988 - 2006, Oracle. All rights reserved.

現職者データの変更

従業員だけに関係し、ポジションには関係しない変更を行う場合は、現職者の職務レコードに対して変更を加えます。ここで加えた変更はポジションとは関連付けられていないため、異なる従業員が将来同じポジションに着任した場合には、この変更は適用されません。これはポジションに依存しない変更です。具体的には、休職や再雇用といった現職者の従業員ステータスに関する変更、異動や昇進といったポジションの割り当てに関する変更などがあります。

ポジション データと現職者データの変更

ポジションの電話番号を変更し、現職者の更新を有効にする (ポジション データ - 特定情報ページで [現職者を更新] チェック ボックスをオンにする) と、職務データ - 雇用情報ページで [ポジションの電話番号] が自動的に更新されます。

現職者の職務レコードに自動的には反映されないポジション データのフィールドを変更する場合は、ポジション データ コンポーネントと現職者の職務データ コンポーネントの双方で作業を行う必要があります。たとえば、ポジションの電話番号を変更しても、[現職者を更新] チェック ボックスをオフにしている場合には、現職者の職務レコードは自動的に新しい値に更新されません。このような場合、職務レコードを手動で更新する必要があります。

関連項目:

第 3 章、「ポジションの設定」、「ポジションの作成」、10ページ

ポジション データの更新

ある部門から別の部門へのポジションの移動、勤務先電話番号やステータスの変更といった、職務やポジション自体に関する情報の変更を行うには、ポジション データ コンポーネントを使用します。

このセクションでは、以下について説明します。

- ポジション データの変更
- 有効日とポジション データの更新

ポジション データの変更

ポジション データを変更するには、次の手順に従います。

1. ポジション データ - ポジション情報ページを開きます。
2. 新規データ行を挿入します。

   有効日として、システム日付 (通常は現在の日付) が自動的に入力されます。変更が有効となる日が現在の日付以外である場合は、日付を変更します。

   注: 現職者の更新機能は、行の有効日として現在または将来の日付が設定されている場合にのみ実行されます。

3. 挿入した行で異動理由を指定します。
4. 各ページで必要な変更を行います。
5. ポジションに対して行った変更を保存します。

Copyright © 1988 - 2006, Oracle. All rights reserved.

有効日とポジション データの更新

ヒューマン リソース管理でポジション情報を更新するには、通常、有効日を指定したデータ行をポジション データと現職者の職務レコードに追加します。有効日によって、全てのデータやテーブルが時系列順に配置された完全な履歴 (2 年前に変更した、2 か月後に変更する、といったような情報) を保持できます。こうした情報を使用することにより、過去のある時点にさかのぼり、その時点におけるポジション データや従業員レコードの分析を行うことが可能です。同様に、将来に対しても、変更が有効になる前にテーブルやデータを設定しておくことができます。

システムでは、有効日に基づいてページやテーブルを照合し、作業中のページの有効日の時点で利用可能なデータのみをプロンプト テーブルに表示します。

ヒューマン リソース管理では有効日は常に重要な情報とされますが、中でも、ポジション管理において [ポジション データ]、[職務データ] の両コンポーネントに表示されるフィールドのデータを変更する場合は、特に重要な意味を持ちます。こうしたデータを更新する場合は、ポジション データ コンポーネントで新しいデータ行を挿入して変更を行います。その後、同じ有効日を持つ新規データ行が、該当する現職者の職務データ コンポーネントに自動的に挿入されます。

ただし、現職者のデータが自動的に処理されるのは、追加または変更されるデータ行が、ポジション データおよび職務データにおいて現在行または将来行のいずれかである場合に限られます。ヒューマン リソース管理は、ユーザーが過去のデータを修正したいのか、入力ミスを訂正しようとしているのか、有効になった時点でデータの一部を入力していなかったのか、といったユーザーの本来の意図までは判断できません。日付順に並んでいるデータの途中に新しい有効日の行が挿入されてしまうと、有効日の順序が崩れ、誤ったデータが挿入される恐れがあります。

これはまた、連動して更新されるのは現在および将来の現職者の職務データであって、そのポジションにおける過去の現職者に関しては、履歴データ行にリンクされているためさかのぼって更新を行うことはできないということです。ポジション データ テーブルと現職者の職務データ テーブルの双方で過去のデータを一致させる唯一の方法は、手動で更新を行うことです。

必要に応じてデータが連動して更新処理されるようにし、かつ、データの整合性確認のために費やす時間も短縮するには、[ポジション データ] と職務データ コンポーネントの更新で最初に設定を行う際、正しい日付順で指定します。間違って設定した場合はすぐに訂正してください。

有効日およびデータ行の順序は、現職者データとポジション データの更新や保守に大きな影響を与えます。このため、職務データ コンポーネントとポジション データ コンポーネントを使用して双方のデータを更新するユーザーは、1 名に制限する必要があります。各コンポーネントでデータを更新するには、該当するポジションおよび現職者の両方に対するセキュリティ アクセス権が必要です。

関連項目:

PeopleSoft Enterprise HRMS 9.0 アプリケーションの基礎 PeopleBook、「HRMS セキュリティの設定と管理」

現職者の職務データの更新

このセクションでは、以下の手順について説明します。

- ガイドライン
- 職務データの更新
- 行の挿入
- 行の削除

 Copyright © 1988 - 2006, Oracle. All rights reserved.

- 行の修正
- 職務データを更新しない場合の処理

ガイドライン

システムによって現職者の職務レコードの同時更新が適切に実行されるよう、ユーザー側では以下の動作について理解しておく必要があります (実行する更新の種類に応じて動作は異なります)。

- ユーザーが現職者の給与計算に関係する職務データに対して挿入、削除、修正を行うと、システムは再計算が必要なペイライン レコードを特定します。給与の再計算の実行時、給与計算システムは更新されたデータを使用します。
- ユーザーが福利厚生に関係する現職者の職務データや雇用データに対して挿入、削除、修正を行うと、システムは変更が発生したことを示すイベント メンテナンスの制御フラグを設定します。システムは、後続のイベント メンテナンス プロセスで変更イベントを処理します。
- ポジションを常勤からパートタイムに変更すると、システムは福利厚生の COBRA アクティビティにフラグを自動的に設定します。

[職務データ] と [ポジション データ] の双方のコンポーネントに表示されるフィールドのデータを変更する場合は、常にポジション データ コンポーネントを使用します。職務データ コンポーネントで自動挿入された行は、ページ内の [ポジション管理レコード] チェック ボックスがオンになるため、容易に識別できます。

職務データの更新

ポジション データ コンポーネントの情報は、挿入、削除、修正の各操作によって変更されます。ポジション管理用のページでの変更は、現職者の職務データに影響を与えることがあります。したがって、ポジション データ コンポーネントでなんらかの変更の操作を行った場合、職務データ コンポーネントのデータが大幅に変更されるという結果をもたらすことがあります。後続の各セクションでは、ユーザーがポジション データ コンポーネントのデータに変更を加えた場合に、システム側で職務データ コンポーネントのデータがどのように更新されるかについて概説します。

行の挿入

最も一般的な変更の操作としては、新規データ行の挿入が挙げられます。新しい有効日を指定することにより、既に保存されているデータを保持したまま、変更を行うことができます。

現職者の職務データが更新されるときには、新しいデータ行が現在のデータ行の上に挿入されます。既存のデータとして将来の職務データ行が挿入されている場合は、その将来行のデータに対しても変更内容が反映されます。

行の挿入時に現職者の職務データが確実に更新されるようにするには、以下の点を確認します。

- 挿入するポジション データの行の有効日が現在または将来の日付である。
- 現職者の職務データ – 勤務地ページでは、現在の職務データ行でポジション データが使用されている (ポジション データが使用されている場合、ポジションに関係するフィールドのデータは自動的に取得され、入力ができなくなります。また、[ポジション データの上書き] ボタンが使用可能になります)。
- ポジション データ – 特定情報ページで、[現職者を更新] チェック ボックスがオンになっている。

システムによる変更処理の結果は、職務データ – 職務情報ページで確認できます。正しく更新が行われた場合は、ポジション データ – ポジション情報ページで挿入した行と同じ有効日を持つ新規データ行が、職務情報ページに自動的に挿入されています。

Copyright © 1988 – 2006, Oracle. All rights reserved.

行の削除

たとえば、あるポジションにデータ行を挿入しようとして、異なるポジションに挿入してしまったことに後から気付くことがあります (ポジション 14 の情報を変更するつもりでポジション 15 に対して操作を行ってしまった場合など)。このような場合、誤って挿入した行を簡単に削除することができます。

ポジション行の削除を行った時点で、該当する現職者の職務データ行が自動的に更新されるようにするには、削除する行について以下の点を確認します。

- 有効日の設定が現在または将来の日付である。
- 職務データ コンポーネントに、対応する職務データ行 (ポジション データ コンポーネントで作成が行われ、同じ有効日が設定されている行) が存在する。
- 職務データ コンポーネントの対応する職務データ行の有効日も現在または将来の日付である。

行の有効日が現在の日付である場合は [履歴の修正]、将来の日付である場合は [更新/表示] の各アクション ボタンを選択し、削除します。

行を削除するには、次の手順に従います。

1. ポジション データ - ポジション情報ページにアクセスします。
2. 誤った情報を削除するには、削除する行の [有効日] フィールドにカーソルを置いて、[削除] ボタンをクリックします。

   削除する行の有効日より後の有効日を持つ職務データ行が存在する場合は、手動で更新を行う必要があります。
3. 変更を保存します。
4. 以上で削除が完了したため、本来変更すべきポジションに対して操作を行います。

行の修正

新しいデータ行を保存した直後に、変更したフィールドの 1 つに間違った情報を入力したことに気付いたとします。その他のフィールドは全て正しく入力されているため、新規行の挿入や行の削除による修正は行いたくありません。こうした場合は [履歴の修正] を実行します。データのみを修正し、保存した行はそのまま使用することができます。

データの修正時点で、職務データへの自動的な更新が行われるようにするには、以下の点を確認します。

- 修正するポジション行の有効日が、現在または将来の日付である。

注: 有効日の日付は変更できません。

- 職務データ コンポーネントに、対応する職務データ行 (ポジション データ コンポーネントで作成が行われ、同じ有効日が設定されている行) が存在する。
- 職務データ コンポーネントの対応する職務データ行の有効日も現在または将来の日付である。
- 職務データ - 勤務地ページでポジション データの上書きが実行されていない。

職務データを更新しない場合の処理

通常のポジション データの変更では、職務データの自動更新によって時間を節約できます。しかし、自動更新されない方が望ましいケースもあります。たとえば、現職者のポジションを [臨時] から [正規] に変更するとき、この変更がそのポジションにとって例外的なものである場合は、他の場所への反映を避けたいと考えるでしょう。

 Copyright © 1988 - 2006, Oracle. All rights reserved.

以下の 2 つの操作のいずれかを実行することにより、職務データへの変更の反映を回避することができます。

- 該当する現職者に関する職務データ – 勤務地ページで [ポジション データの上書き] ボタンをクリックする。
- ポジション データ – 特定情報ページで、[現職者を更新] チェック ボックスをオフにする。

これらの操作は必要に応じていつでも行うことができます。また、自動更新が行われるように設定し直すと、職務データの自動更新は直ちに再開されます。これは、一時的に適用される例外を設定し、その後適用を解除する場合などに特に便利です。

[現職者を更新] チェック ボックスをオフにして職務データの自動更新が実行されないよう設定した場合、変更を反映させる必要のあるデータ行の確認および更新は手動で行います。ポジション データ コンポーネントで行った変更の保存時、手動で更新する必要のある職務データが存在する場合でも、警告メッセージは表示されません。

現職者に対する職務データ – 勤務地ページで [ポジション データの上書き] ボタンをクリックする場合

デフォルトのポジション データに例外がある場合、その例外は通常、現時点の現職者に対してのみ適用されます。[ポジション データの上書き] ボタンをクリックして例外を入力すると、デフォルトのポジション データに対する変更が自動的に反映されることはなくなります。[ポジション データの上書き] ボタンは、職務データ – 勤務地ページにあります。

ポジションに関係するデータのデフォルトを上書きする場合、従業員データは手動で更新する必要があります。ポジション データ コンポーネントのデータを職務データ コンポーネントのポジション データに反映させるには、勤務地ページで [ポジション データの使用] ボタンをクリックします。

ポジション データ – 特定情報ページで [現職者を更新] チェック ボックスをオフにする場合

新しいデータ行を挿入すると、デフォルトでこのチェック ボックスはオンになっています。ポジション データの例外情報が職務データに自動的に上書きされないようにするには、通常は [ポジション データの上書き] ボタンを使用するため、[現職者を更新] チェック ボックスをオフにする設定を行うことはあまりありません。

ただし、[ポジション データの上書き] ボタンをクリックし忘れた場合や、履歴データの修正が発生し、ポジション データ コンポーネントと職務データ コンポーネントの双方で手動による更新を行う必要が生じた場合などでは、[現職者を更新] チェック ボックスをオフにします。[現職者を更新] チェック ボックスは、ポジション データ – 特定情報ページにあります。

ポジション データの検証

ポジション データ コンポーネントと現職者の職務データ コンポーネントで共通するフィールドのデータを更新した場合は、定期的にデータをチェックし、両方のコンポーネントに正しい情報が保存されていることを検証する必要があります。SQR 検証 (例外/未更新レポート) を実行して、2 つのコンポーネント間でのデータの整合状態を確認することができます。

以下の 2 つのレポートから選択します。

- 未更新レポート: 自動的な更新を実行しないように設定されている現職者の職務データを出力します。
- 例外レポート: 上記以外の理由により現職者の職務データとポジション データが一致していない例外のみを出力します。

Copyright © 1988 – 2006, Oracle. All rights reserved.

ポジション データの検証に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
ポジションの例外/未更新 - パラメータ	RUNCTL_POS008	[組織計画/管理]、[ポジション管理]、[ポジションレポート]、[ポジションの例外/未更新]、[パラメータ]	ポジション データコンポーネントと現時点の現職者の職務データコンポーネントに共通するフィールドのデータに対して、例外/未更新レポート POS008 を実行します(SQR 検証)。

Copyright © 1988 - 2006, Oracle. All rights reserved.

第 5 章

ポジション データの最大活用

この章では、ポジション データを最大活用する方法の概要および共通フィールドについて述べた後、以下の作業手順を説明します。

- 部門予算の作成
- 予算サマリ情報の表示
- 予算計上済み空きポジション情報の表示とレポート実行
- ポジション サマリ情報の確認
- 組織構造の管理
- 組織構造作成レポートの実行
- ポジション管理 nVision レポートの使用

ポジション データの最大活用について

ポジションの保守管理で使用される情報を、組織計画、予算編成、採用活動、キャリア プランニングに役立てることができます。ポジション管理ビジネス プロセスを使うと、部門内のさまざまなレベルで予算情報を管理できます。また、所属関係を設定して、階層的な組織構造を作成することもできます。データの設定は、要求済み、承認済み、保留中の各ポジションに対して行います。提案中や承認済みの予算金額を設定したり、承認済みの予算に対して年間累計調整を適用することもできます。また、ポジション間の所属関係を明確化して、組織計画に役立てることもできます。さらに、ポジション、現職者、予算に関して過去および現在のデータを参照し、組織の将来的な計画に役立てることもできます。

共通フィールド

人員数実績	そのポジションに実際に割り当てられている従業員の数が表示されます。
職務コード	ポジションに関連付けられている職務コード、およびその職務コードの名称が表示されます。
所在地コード	有効日の時点でこのポジションが関連付けられている所在地が表示されます。
人員数上限	このポジションに割り当てることのできる人員の上限が表示されます。
ポジション番号	ポジション番号およびポジションの名称が表示されます。
レート コード グループ	そのレート コードが属するレート コード グループが表示されます。

Copyright © 1988 - 2006, Oracle. All rights reserved.

直属上司ポジション そのポジションに対する、有効日時点での直属上司のポジション番号と名称が表示されます。

デフォルト値上書き不可 そのレート コードに対して、給与レートがそのまま適用されることを示します。

計算方法 そのレート コードに対し、給与レートがそのまま適用されるか、レート マトリックスに基づいて計算されたレートが適用されるかを示します。"なし" と表示された場合は、給与レートがそのままレートコードに適用されます。"レート マトリックス" と表示された場合は、レート マトリックスに基づいて計算されたレートが適用されます。

"マトリックスの定義" ページ ([HRMS 基本設定]、[共通定義]、[マトリックス]、[マトリックスの定義] の順にアクセスします) で、使用されるマトリックスの名前を確認できます。

部門予算の作成

ポジションを基準にシステムを構築すると、年度の途中で生じるポジションに関する変更 (年度途中退職など) に対応した予算を作成することができます。また、部門内の予算計上済みおよび承認済みの人員数と給与額を正確に追跡できます。予算作成の対象期間は、会計年、カレンダー年、四半期など、任意に設定できます。

予算は部門単位で作成します。組織内の全部門に対して予算を作成する必要はありません。予算管理機能を最も効果的に利用できる部門を対象にします。

予算の作成は複数のレベル (部門、職務コード、ポジション) で実行できます。このセクションでは、各ページの機能を最大限に利用し、最も詳細な事例が提供できるポジション レベルを例に、部門予算の作成の説明を行います。これらのページは、職務コード レベルや部門レベルでの予算の作成にも使用できます。

ポジション レベルの部門予算を作成するには、[HRMS 基本設定]、[基本テーブル]、[組織構造]、部門 - 部門プロファイル ページの [予算レベル] で [ポジション] を選択しておく必要があります。

このセクションでは、以下の手順について説明します。

- 部門、職務コード、ポジションの各レベルでの予算の設定
- 部門予算詳細の表示

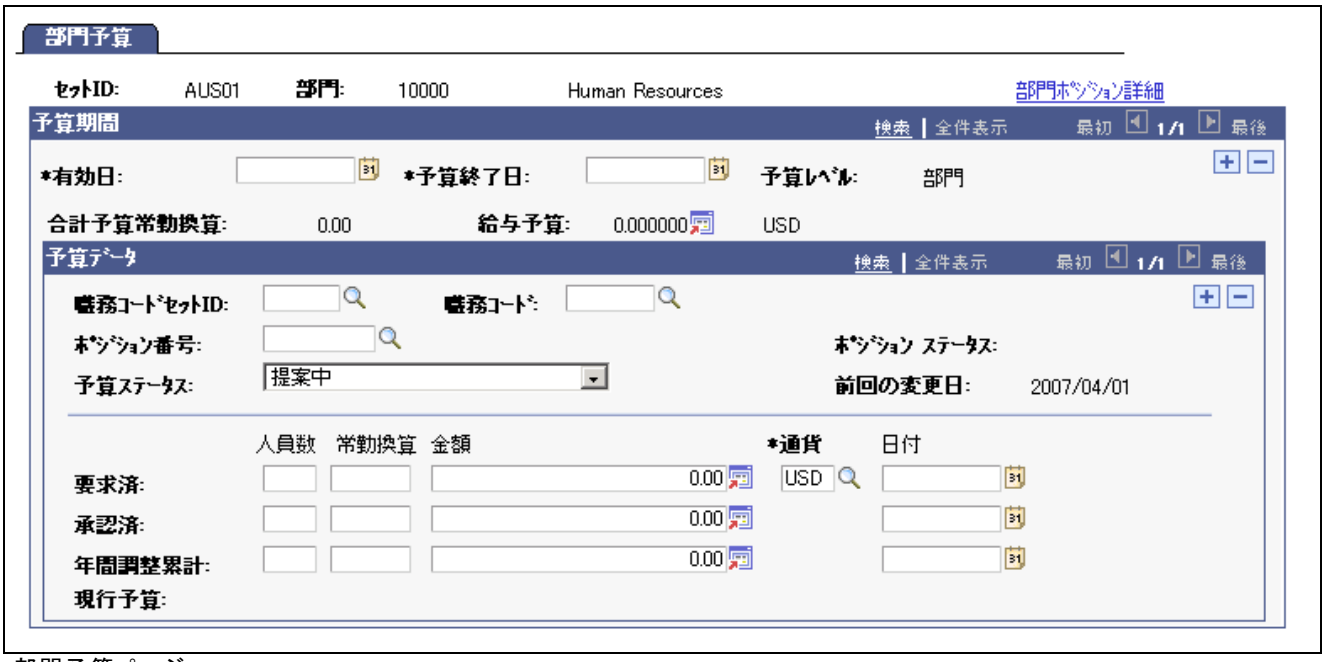
部門予算の作成に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
部門予算	POSN_BUDGET_DATA	[組織計画/管理]、[ポジション管理]、[ポジション/予算データの更新]、[部門予算データの更新]、[部門予算]	部門、職務コード、ポジションの各レベルでの予算の設定に使用します。
部門ポジション詳細	POSN_BUD_DATA_DTL	部門予算ページの [部門ポジション詳細] リンクをクリックします。	部門についての詳細を確認する場合に使用します。

部門/職務コード/ポジション レベルでの予算の設定

部門予算ページにアクセスします。

 Copyright © 1988 - 2006, Oracle. All rights reserved.



部門予算ページ

[部門ポジション詳細] リンクをクリックすると部門ポジション詳細ページが開き、この部門に関する情報を確認できます。

[予算期間]

[予算終了日] 予算期間の終了日を指定します。

[予算レベル] 部門 – 部門プロファイル ページで指定した予算レベルが表示されます。

[合計予算常勤換算] この部門内の予算化された全ポジションに対する FTE（常勤換算）の合計数値が表示されます。

[給与予算] この部門内の全ポジションに対する給与予算合計額が表示されます。

このアイコンをクリックすると別の通貨で予算を計算して表示できます。

[予算データ]

[予算ステータス] 予算ステータスを指定します。

以下の値から選択します。

[承認済]: この値を選択した場合、[要求済] フィールドの金額が [承認済] フィールドにコピーされます。実際の金額が異なる場合は、[承認済] フィールドで修正を行うことができます。

[保留中]: この値を選択した場合、[要求済] フィールドのみが編集可能になります。

[提案中]: デフォルト値です。この値が選択されている状態では、[承認済] フィールドおよび [年間調整累計] フィールドは編集できません。

[前回の変更日] ページ内のデータを修正すると、このフィールドの日付はシステム日付によって自動的に更新されます。

Copyright © 1988 – 2006, Oracle. All rights reserved.

[要求済] 予算に関して要求済みのデータを [人員数]、[常勤換算]、[金額]、[通貨]、[日付] の各フィールドに入力します。[予算ステータス] フィールドで [承認済] が選択されている場合、これらのフィールドへの入力はできません。

注: この部門予算に対して、インストール テーブルの HRMS オプションページで設定した基本通貨と異なる通貨を使う場合は、その通貨の通貨コードを指定します。

[承認済] 予算に関して承認済みのデータが、[要求済] フィールドからコピーされたデフォルト値と異なる場合は、[人員数]、[常時換算]、[金額]、[通貨]、[日付] の該当するフィールドで編集を行います。

[年間調整累計] 予算承認後になんらかの調整が行われた場合は、[人員数]、[常時換算]、[金額]、[通貨]、[日付] の該当するフィールドで編集を行います。

[現行予算] [承認済] の値に [年間調整累計] の値を加算または減算して算出されたデータが、人員数、常勤換算、金額に関してそれぞれ表示されます。

注: 部門予算を設定して保存を行うと、[給与予算] および [合計予算常勤換算] フィールドに値が表示されます。給与予算の金額は、プライマリ権限リスト基本設定 - デフォルト ページ ([HRMS 基本設定]、[基本テーブル]、[組織構造] の順にアクセスします) に指定されている通貨で表示されます。

部門予算詳細の表示

部門ポジション詳細ページにアクセスします。

部門ポジション詳細ページ

[合計ポジション数] 予算承認済みのポジション数の合計が表示されます。

[承認済人員数] 予算承認済みのポジションの人員数上限の合計が表示されます。

[合計現職者数] 部門内で現在ポジションに就いている従業員の人数が表示されます。

[合計実績常勤換算] この部門の常勤換算の合計が表示されます。

[合計年間給与] この部門の年間給与額の合計が、プライマリ権限リスト基本設定 - デフォルト ページで指定された通貨に換算されて表示されます。

Copyright © 1988 - 2006, Oracle. All rights reserved.

関連項目:

PeopleSoft Enterprise HRMS 9.0 アプリケーションの基礎 PeopleBook、「PeopleSoft Enterprise HRMS の設定とインストール」

予算サマリ情報の表示

翌年の予算を計画する際、過去の予算計画で設定した情報を取得して利用できます。このような場合、各ページのデータをそのまま取得するのではなく、より要約された情報を参照できた方が望ましいケースがあります。ポジションまたは部門の予算について、現状（または履歴）の概要を把握したい場合などがこれに当たります。ヒューマン リソース管理は、このような情報にすばやくアクセスするための手段を提供しています。過去および現在の予算に関する情報を確認できるページを使用して、次期の予算作成作業に役立てることができます。

部門予算をポジション レベルで管理する場合は、ポジション予算ステータス ページを使用して、その部門での予算と実績の差を確認できます。現職者が複数配属されている場合は、画面を切り替えて該当者の給与関連データを表示できます。このサマリ ページには、予算期間中であっても全ての数値が表示されます。

部門レベルまたは職務コード レベルで部門予算を作成する場合は、このページには実績値しか表示されません。

このセクションでは、以下の手順について説明します。

- 部門の現行予算および実績値を表示します。
- 給与情報詳細の確認
- 給与レート コードの詳細の表示

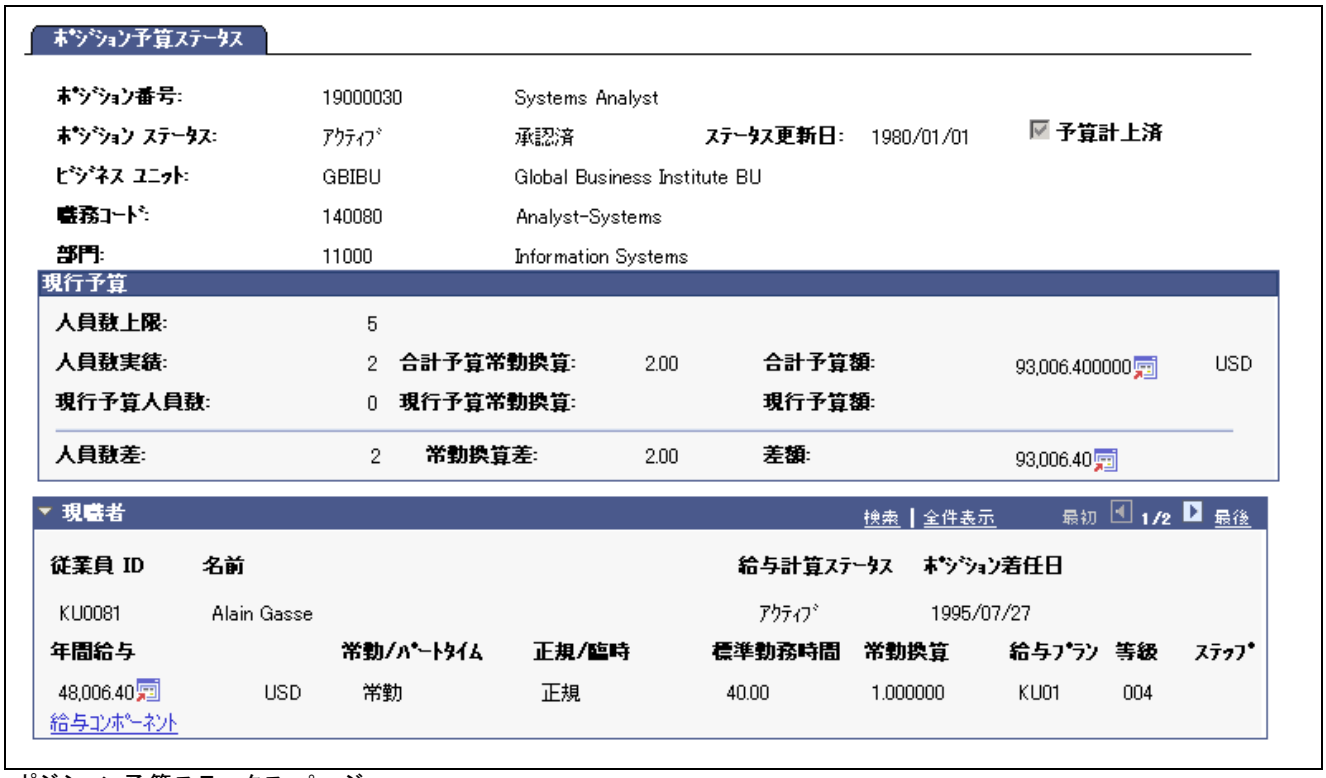
予算サマリ情報の表示に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
ポジション予算ステータス	POSN_BUDGET_STATUS	[組織計画/管理]、[ポジション管理]、[ポジション/予算データの確認]、[予算ステータス]、[ポジション予算ステータス]	部門の現行予算および実績値を表示します。
給与コンポーネント	COMP_POSN_BUDG_SEC	ポジション予算ステータス ページの [給与コンポーネント] リンクをクリックします。	ポジションの現職者のポジション着任日または退任日時点での給与情報詳細を表示します。
レートコード	WCS_RTCD_DETAILS	給与コンポーネント－コントロール タブ画面を表示し、[詳細] リンクをクリックします。	給与レートコードの詳細を表示します。

部門の現行予算および実績値の表示

ポジション予算ステータス ページにアクセスします。

Copyright © 1988 - 2006, Oracle. All rights reserved.



ポジション予算ステータス ページ

[現行予算]

[合計予算常勤換算] このポジションの合計予算を常勤換算した値が表示されます。この情報は、ポジション データ - 特定情報ページで指定します。

[合計予算額] このポジションに割り当てられている現職者の給与額の合計が表示されます。

[現行予算人員数] このポジションの、現行の予算計上済み人員数が表示されます。現行予算の人員数は、部門予算ページで指定します。

[現行予算常勤換算] このポジションの現行予算を常勤換算した値が表示されます。常勤換算予算は、部門予算ページで指定します。

[現行予算額] このポジションに割り当てられている現職者の現行の給与予算額が表示されます。

[人員数差] [人員数実績] と [現行予算人員数] の値の差が表示されます。

[常勤換算差] [合計予算常勤換算] と [現行予算常勤換算] の値の差が表示されます。

[差額] [合計予算額] と [現行予算額] の値の差が表示されます。

注: 給与は、予算の作成時に指定した通貨で表示されます。インストール テーブルの HRMS オプションページで指定されている基本通貨と異なる場合は、換算金額が上部に表示されます。実績が予算を上回った場合、その差は正の数値として表示されます。実績が予算を下回った場合、その差は負の数値として表示されます。実績と予算の値が一致した場合、差異を示すフィールドには何も表示されません。

Copyright © 1988 - 2006, Oracle. All rights reserved.

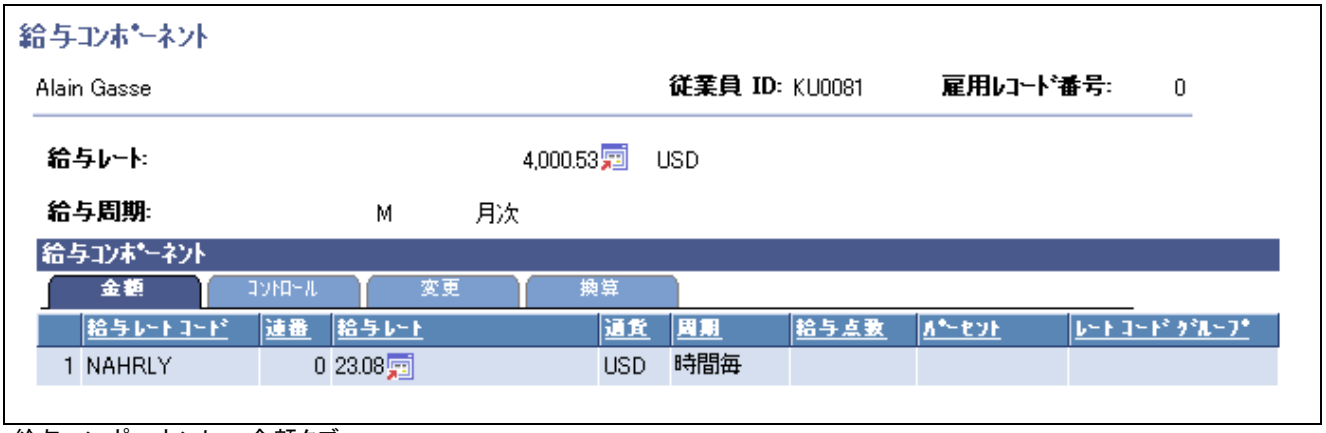
[現職者]

このグループ ボックスには、現時点での現職者の情報が表示されます。このポジションに複数の現職者が割り当てられている場合 (共有ポジションである場合) は、画面を切り替えて各現職者のデータを表示します。現職者データは、職務データ コンポーネントから取得されます。

[給与コンポーネント] このリンクをクリックすると、給与コンポーネント ページが開きます。

給与情報詳細の確認

給与コンポーネント ページにアクセスします。



給与コンポーネント - 金額タブ

注: ページ内のタブをクリックして、詳細を確認します。

ページ内共通の情報

[給与レート] ポジションの現職者の給与レートが表示されます。

[給与周期] ポジションの現職者の給与周期が表示されます。

[金額] タブ

[金額] タブをクリックします。

[給与レート コード] 給与レート コードが表示されます。給与レート コードは、給与コンポーネントを識別するための値です。給与コンポーネントのグリッド内には、この給与レート コードに関連付けられた給与情報が表示されます。

[連番] 同じ給与レート コードが複数回使用されている場合に、その 1 つ 1 つを区別するための番号が表示されます。

[給与レート] ポジションの現職者の年間給与レートが表示されます。

[周期] 受給者に給与レートを支給する周期が表示されます。

[給与点数] この給与レート コードに対して給与点数が設定されている場合は、その値が表示されます。

[パーセント] 給与レート コード タイプが "パーセント" の場合、この職務の給与レートまたは給与レート コード グループ (使用している場合) に適用されるパーセントが表示されます。

Copyright © 1988 - 2006, Oracle. All rights reserved.

[コントロール] タブ

[コントロール] タブをクリックします。

給与コンポーネント - コントロール タブ

[手動による更新] 職務の給与レコード上で、このレート コードの給与レートが手動で更新されたことを示します。

[詳細] リンクをクリックすると、レート コードの定義が表示されます。

[変更] タブ

[変更] タブをクリックします。

給与コンポーネント - 変更タブ

[変更額] この給与コンポーネントの給与レートに対する総変更額が表示されます。

[変更点数] この給与コンポーネントの給与レートに対する総変更額が点数で表示されます。このフィールドは、インストール テーブルの HRMS オプション ページで [給与点数使用] チェック ボックスをオンにした場合にのみ表示されます。

[変更率] この給与コンポーネントにおける総変更率が表示されます。給与レート コード タイプが "パーセント" または "点数" の場合、このフィールドは使用されません。

[換算] タブ

[換算] タブをクリックします。

Copyright © 1988 - 2006, Oracle. All rights reserved.

給与コンポーネント - 換算タブ

[換算済給与レート] この給与コンポーネントの換算済給与レートが表示されます。全ての固定的賃金コンポーネントが、指定に基づく通貨および給与周期に換算されます。

[FTE 適用] 年次化、非年次化の際、給与レート コードに関連付けられている値と FTE (常勤換算) 係数が掛け合わされます。FTE とは、その職務で定められている通常の常勤勤務時間に対するパーセント値です。給与レート コード タイプが "パーセント" の場合、このフィールドは使用されません。

給与レート コード情報の表示

レート コード ページにアクセスします。

レート コード ページ

[固定的賃金] この給与レート コードが職務の給与計算に含まれるかどうかを示します。

[最高レートを使用] 給与計算でこの給与レート コードの最高レートが使用されるかどうかを示します。

[給与レート コード タイプ] 以下の給与レート コード タイプのいずれかが表示されます。

[固定額]: 固定 (または一定) の金額で給与が支給されることを示します。

Copyright © 1988 - 2006, Oracle. All rights reserved.

[時間給 + 固定額]: 時間給と固定額の合計が支給されることを示します。この給与レート コード タイプの場合、固定的賃金コンポーネントは作成できません。

[時間給]: 時間単位で給与が支給されることを示します。

[パーセント]: この給与レート コードにパーセント値が割り当てられていることを示します。

[点数]: 職務に対して給与点数が支給されることを示します。点数に適用する金額の値は、[基本テーブル]、[組織構造]、会社テーブル - デフォルト設定ページで設定します。

[給与レート コード クラス] この給与レート コードに関連付けられている給与レート コード クラスが表示されます。

予算計上済み空きポジション情報の表示とレポート実行

予算計上済みの空きポジション情報は、採用活動やその費用計画を行う場合に役立ちます。このセクションでは、部門の空きポジションの情報を確認する方法について説明します。

予算計上済みの空きポジション情報の表示とレポート実行に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
空きポジション	POSN_BUDGET_VACANT	[組織計画/管理]、[ポジション管理]、[ポジション/予算データの確認]、[予算計上済の空きポジション]	部門の中で、現在人員が配属されていないポジションと、その関連情報を表示します。
空きポジション - ラン コントロール	PRCSRUNCNTL	[組織計画/管理]、[ポジション管理]、[ポジション レポート]、[空きポジション]	空きポジション レポート (POS007) を実行します。このレポートには、予算計上済みで現在人員が配属されていない組織内の全てのポジションが出力されます (Crystal レポート)。

部門内空きポジション情報の表示

空きポジション ページにアクセスします。

 Copyright © 1988 - 2006, Oracle. All rights reserved.

空きポジション

セットID: SHARE 部門: 10500 Benefits 空きポジション合計: 8

カスタマイズ | 検索 | 全件表示 | 最初 1-4/4 最後

ポジション データ 職務情報 勤務地

ポジション番号	名称	ポジション ステータス	直属上司ポジション	略称	空きポジション	人員数上限	常勤/パートタイム	正規/臨時
19000087	Manager-Time & Labour	承認済	19000210	Dir-HR	1	1	常勤	正規
19000090	Pension Specialist	承認済	19000210	Dir-HR	1	4	常勤	正規
19000103	Benefits Specialist	承認済	19000101	Mgr ER	4	5	常勤	正規
19360011	Human Resource Analyst	承認済	19360010	Mgr-Cmp/Bn	2	3	常勤	正規

空きポジション ページ

注: ページ内のタブをクリックして、詳細を確認します。

ページ内共通の情報

[空きポジション合計] 部門内の空きポジションの合計数が表示されます。

[ポジション データ] タブ

[ポジション ステータス] 予算計上済み空きポジションのステータス (″承認済″ や ″保留中″ など) が表示されます。

[常勤/パートタイム] 空きポジションが常勤またはパート タイムのどちらであるかが表示されます。

[正規/臨時] 空きポジションが正規または臨時のどちらであるかが表示されます。

[職務情報] タブ

このタブには、職務コード、ポジション、職種、給与管理プラン、および給与等級が表示されます。

[勤務地] タブ

このタブには、勤務地のポジションコードと名称が表示されます。

関連項目:

PeopleSoft Enterprise HRMS 9.0 アプリケーションの基礎 PeopleBook、「PeopleSoft Enterprise HRMS アプリケーションの基礎のレポート群」、「ポジション管理レポート」

ポジション サマリ情報の確認

組織的な構造について検討する場合、過去の組織計画で設定した情報を取得して利用できます。このような場合に、各ページのデータをそのまま取得するのではなく、より包括的な情報を得るには、ポジションと現職者に関する現在および過去の情報のサマリが必要です。

ヒューマン リソース管理では、このようなサマリ情報にすばやくアクセスするための手段を提供しています。ポジション管理には、現在および過去のポジション データに関する照会ページおよびレポート ページが用意されています。

Copyright © 1988 - 2006, Oracle. All rights reserved.

ポジションに関する現在および過去のデータの概要を確認するには、ポジション サマリ コンポーネントを使用します。部門や名称の変更など、これまでに行われた変更をリスト形式で確認できます。

この章では共通フィールドを示した後、以下の方法について説明します。

- ポジションに関する現在および過去の基本情報の表示
- ポジション履歴の表示
- 現在のポジション情報の表示
- 給与コンポーネント情報の表示

このセクションで使用する共通フィールド

コンポーネントの表示 各現職者の給与コンポーネント情報をレポートに出力する場合は、このチェック ボックスをオンにします。

ポジション サマリ情報の表示とレポート実行に使用するページ

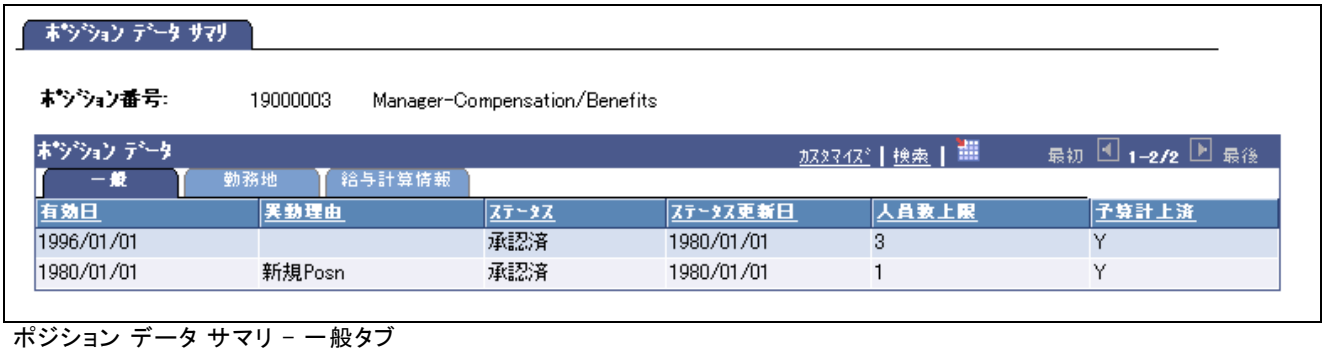
ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
ポジション データ サマリ	POSITION_SUMMARY	[組織計画/管理]、[ポジション管理]、[ポジション/予算データの確認]、[ポジション サマリ]、[ポジション データ サマリ]	ポジションに関する現在および過去の基本情報を表示します。
ポジション履歴	POSITION_HISTORY	[組織計画/管理]、[ポジション管理]、[ポジション/予算データの確認]、[ポジション履歴]、[ポジション履歴]	現在ポジションに配属されている、または過去にポジションに配属されていた従業員(現職者)に関する情報を表示します。
ポジション履歴 - 現在のポジション データ	CURRENT_POSN_DATA	ポジション履歴ページの[現在のポジション データ]リンクをクリックします。	現在のポジション データを表示します。
ポジション履歴 - 給与コンポーネント	COMP_POSN_HIST_SEC	ポジション履歴ページの[給与コンポーネント]リンクをクリックします。	現職者のポジション着任日時点またはポジション退任日時点での給与情報の詳細を表示します。
レート コード	WCS_RTCD_DETAILS	給与コンポーネント ページ - コントロール タブ画面を表示し、[詳細]リンクをクリックします。	採用活動やその費用計画に役立つ情報を表示します。

 Copyright © 1988 - 2006, Oracle. All rights reserved.

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
ポジション ステータス - パラメータ	RUNCTL_ASOFDATE	[組織計画/管理]、[ポジション管理]、[ポジション レポート]、[ポジション ステータス] [組織計画/管理]、[ポジション管理]、[ポジション レポート]、[アクティブ ポジションの履歴]	次に示すレポートを実行する場合に使用します。 • ポジション ステータス レポート(POS001): 組織内のポジション タイプ、および人員割り当て済みのポジションと空きポジション全てを一覧で出力します。 • アクティブ ポジションの履歴(POS004): 組織内の全てのアクティブ ポジションについて、それぞれの現在および過去の全データを一覧で出力します。
アクティブ/非アクティブ ポジション - パラメータ	RUNCTL_POS002	[組織計画/管理]、[ポジション管理]、[ポジション レポート]、[アクティブ/非アクティブ ポジション]、[パラメータ]	アクティブ/非アクティブ ポジション レポート(POS002)を実行します。このレポートでは、アクティブなポジション、非アクティブなポジション、またはその両方を指定して、ポジションに関連する現在のデータを出力することができます(Crystal レポート)。
ポジション歴任者 - パラメータ	RUNCTL_ASOFDT_COMP	[組織計画/管理]、[ポジション管理]、[ポジション レポート]、[ポジション歴任者]、[パラメータ]	ポジション歴任者レポート(POS003)を実行します。このレポートは、組織内の全ての現職者(現時点での現職者および過去の現職者)の一覧を、ポジション別に現時点での現職者から順に出力します。各現職者ごとに、ポジションの着任日/退任日、および両時点での給与がそれぞれ出力されます(SQR レポート)。

ポジションに関する現在および過去の基本情報の表示

ポジション データ サマリ - 一般タブにアクセスします。



ポジション データ サマリ - 一般タブ

Copyright © 1988 - 2006, Oracle. All rights reserved.

注: スクロール領域のタブをクリックすると、それぞれ対応する情報が表示されます。

[一般] タブ

[異動理由] 有効日におけるポジションの異動理由が表示されます。

[ステータス更新日] ポジションがこのステータスに更新された最初の日付が表示されます。たとえば、現在のステータスがアクティブなポジションにおいて、前回なんらかの変更が行われたのが有効日 1998/01/04 で、ポジションのステータス自体がアクティブに変更されたのがそれより前の 2005/01/01 だったとします。この場合、有効日 1998/01/04 のポジション変更のステータス更新日は、2005/01/01 となります。

[予算計上済] ポジションが予算計上済みの場合は Y、未計上の場合は N と表示されます。

[勤務地] タブ

[直属上司ポジション] そのポジションに対する、有効日時点での直属上司のポジション番号と名称が表示されます。

[職務コード] 有効日の時点でポジションに割り当てられている職務コードが表示されます。

[給与計算情報] タブ

[正規/臨時] 有効日時点でこのポジションが正規または臨時のどちらであるかが表示されます。

[常勤/パートタイム] 有効日の時点でこのポジションが常勤またはパートタイムのどちらであるかが表示されます。

[標準勤務時間] このポジションの、有効日時点での標準勤務時間が表示されます。

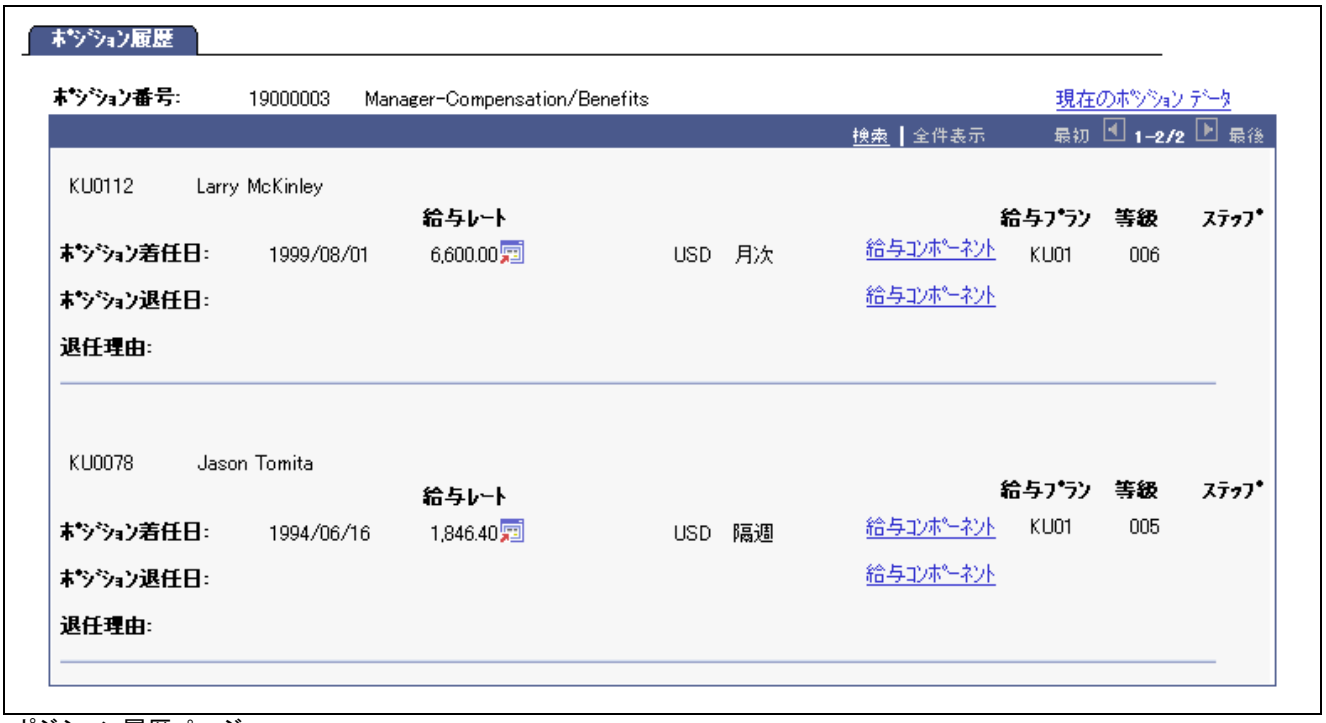
[勤務周期] このポジションの、有効日時点での標準勤務周期が表示されます。標準勤務周期とは、従業員が規定の標準勤務時間分の勤務を完了しなければならない周期です。有効値は、周期テーブルに保存されています。

[勤務シフト] シフト勤務の場合、有効日時点でのシフト情報が表示されます。

ポジション履歴の表示

ポジション履歴ページにアクセスします。

Copyright © 1988 - 2006, Oracle. All rights reserved.



ポジション履歴ページ

現職者の給与情報が表示されます。予算作成のために、また、新しい現職者のおおよその給与を推定するためにこの情報を使用できます。退任理由を調べて、このポジションの現職者の離職を減らす方法を検討することもできます。

[現在のポジション データ] リンクをクリックすると、"現在のポジション データ" ページが表示されます。

[ポジション着任日]、[ポジション退任日] 従業員がこのポジションに着任した日付と退任した日付が表示されます。

[給与レート] 現職者の着任日と退任日の時点でこのポジションに関連付けられている給与額、通貨、給与周期が表示されます。

[給与コンポーネント] リンクをクリックすると、給与コンポーネント ページが表示されます。このポジションに関連付けられている給与コンポーネントの情報を、現職者の着任日と退任日の時点でそれぞれ表示できます。[ポジション着任日] または [ポジション退任日] のいずれかの行に表示される [給与コンポーネント] リンクをクリックします。

[給与プラン]、[等級]、[ステップ] 現職者のポジション着任日および退任日における給与プラン、給与等級、給与ステップが表示されます。

現在のポジション情報の表示

ポジション履歴 – "現在のポジション データ" ページにアクセスします。

Copyright © 1988 – 2006, Oracle. All rights reserved.

現在のﾎﾟｼﾞｼｮﾝ ﾃﾞｰﾀ

ﾎﾟｼﾞｼｮﾝ番号:	19000003	Manager-Compensation/Benefits
会社ｺｰﾄﾞ:	GBI	Global Business Institute 9999
ﾋﾞｼﾞﾈｽ ﾕﾆｯﾄ:	GBIBU	Global Business Institute BU
部門:	10000	Human Resources
職務ｺｰﾄﾞ:	600035	Manager-Compensation/Benefits
給与管理ﾌﾟﾗﾝ:		
人員数上限:	3	
現行人員数:	2	
人員数ｽﾃｰﾀｽ:	一部採用済	

ポジション履歴 – "現在のポジション データ" ページ

[給与管理プラン] このポジションの給与管理プランが表示されます。

[現行人員数] このポジションに現在就いている人員数が表示されます。

[人員数ステータス] このポジションの人員数のステータスが表示されます。

給与コンポーネント情報の表示

ポジション履歴ページからアクセスする給与コンポーネント ページは、ポジション予算ステータス ページからアクセスする給与コンポーネント ページと同一です。

関連項目:

第 5 章、「ポジション データの最大活用」、「給与情報詳細の確認」、35ページ

組織構造の管理

ポジション管理ビジネス プロセスを使って、ポジション間の階層的な所属関係を設定することができます。レポートまたはオンライン ページでポジションの階層構造を明確化し、組織計画に活用します。

ヒューマン リソース管理では、ポジションの階層を以下の 2 とおりの方法で表示できます。

- ポジション データ – ポジション情報ページの [直属上司ポジション] フィールドで直属上司のポジション番号を指定して、ポジションの階層を表示するレポートを作成します。
- 組織図の一部をオンラインで参照する場合は、PeopleSoft ツリー マネージャを使ってポジション階層を視覚的に表したポジション ツリーを作成します。

このセクションでは、以下の手順について説明します。

- ポジション データ コンポーネントを使用したポジション階層の設定
- PeopleSoft ツリー マネージャを使用したポジション階層の管理

 Copyright © 1988 – 2006, Oracle. All rights reserved.

ポジション階層の設定

ポジション データ コンポーネントでポジション間の所属関係を作成することによって、組織全体の階層情報を設定できます。ポジションどうしを、必要に応じて直接的、間接的に関連付けます。直接/間接の両方法で関連付ける場合もあります。

ポジション階層の設定方法は次のとおりです。

1. ポジション データ - ポジション情報ページを開きます ([組織計画/管理]、[ポジション管理]、[ポジション/予算データの更新]、[ポジション データの追加/更新]、[ポジション情報])。
2. 直接的、間接的な所属関係を作成します。
   a. 直接的な所属関係を作成するには、設定する各ポジションについて、ポジション データ - ポジション情報ページの [直属上司ポジション] フィールドで直属の上司のポジション番号を指定します。
   b. 間接的な所属関係を作成するには、ポジション データ - ポジション情報ページの [関連上司ポジション] フィールドでポジション番号を指定します。
3. 変更内容を保存します。

ポジション間の所属関係の作成が完了した後、"組織構造の作成" - "ポジション構造の構築" - パラメータ ページを使用して、SQR レポート POS006A (ポジション ツリー構造の作成) を実行します。これによって、システム内のポジションがリンクされ、階層的な組織構造が設定されます。

直接的な所属関係の作成

直接的な所属関係では、ポジションが互いにリンクされ、ポジション間の所属関係が作成されます。ポジションを階層構造によって明確化することは、特に予算作成と組織計画の際に役立ちます。

注: インストール テーブルで [ポジション管理オプション] が [一部] に設定されており、ポジション データで [直属上司ポジション] フィールドと [監督者の従業員 ID] フィールドに値が含まれている場合、いずれか一方に値を入力するまで、職務データには両方のフィールドが表示されます。

現時点では、[直属上司ポジション] フィールドにポジション番号を指定しないでポジションを保存しようとすると、警告メッセージが表示されます。この場合、警告メッセージが表示されても、ポジション番号を指定する必要はありません。ただし、全てのポジションでこのフィールドの指定を必須としたい場合は、警告メッセージをエラー メッセージに変更します。この変更を行うと、フィールドに値を指定しない場合はデータの保存ができなくなります。

間接的な所属関係の作成

間接的な所属関係の作成は、公式には特定のポジションの管轄下に置かれている従業員が、実際には他のポジションの任務にも従事している場合に実行します。

コンピュータ技術者である Joe Conrad を例に説明します。彼の公式の直属上司はミルウォーキーの工場責任者ですが、実際は本社のコンピュータ サービスの責任者の管理下にある職務に従事しています。この場合、コンピュータ サービスの責任者のポジション番号を [関連上司ポジション] フィールドに指定して、この所属関係をポジションに設定します。

最上位ポジションの作成による所属関係の階層の設定

所属関係の階層の設定では、他のポジションに所属することのない最上位ポジションを作成する必要があります。

最上位ポジションを作成するには、次の手順に従います。

1. 最上位ポジションを追加します。
2. 最上位ポジションを保存します。

Copyright © 1988 - 2006, Oracle. All rights reserved.

3. 最上位ポジションのポジション番号でポジション情報ページを再び開き、[直属上司ポジション] フィールドにそのポジション番号を指定します。
4. 最上位ポジションを再度保存します。

PeopleSoft ツリー マネージャを使ったポジション階層の管理

組織構造の一部を視覚的に確認したい場合は、PeopleSoft ツリー マネージャでポジション階層を作成します。ツリー マネージャでは、指定したレベルの全ポジションを階層構造で表示できます。たとえば、管理職の上位から 5 レベルを表示するといった指定ができます。この機能は、組織計画でさまざまなシナリオを想定する際に有効です。部門レベルで計画を行う場合は、特定部門内のポジションのみから構成されたポジション ツリーを作成することができます。

注: ポジション ツリーの修正や作成を実行する場合、事前に PeopleSoft ツリー マネージャに関する全ての説明をお読みください。

このセクションでは、PeopleSoft ツリー マネージャを使用してヒューマン リソース管理のポジション ツリーを定義し管理する方法について取り上げていますが、PeopleSoft ツリー マネージャの使用方法に関しての包括的な説明は行っていません。

PeopleSoft ツリー マネージャでは、参照中の部門または組織内の他分野との関連において、現職者とポジションのデータを表示させることもできます。これを実行するには、ポジション番号をクリックして、ポジション データ コンポーネントを表示します。

注: ツリー マネージャによるポジション ツリーの利用は、会社の規模が小さい場合にのみお勧めします。規模の大きな会社の場合は、範囲を限って管理レベルを表示するといった形での利用にとどめてください。または、組織の下部構造を構成する領域ごとに、個別にポジション ツリーを作成します。ポジション ツリーを利用しない場合は、レポート POS006 を実行して、所属関係の階層構造の表示や管理を行います。

ポジション ツリーの作成

新規ポジションツリーを作成する方法については、PeopleSoft ツリー マネージャのドキュメントで説明しています。ツリー マネージャ – ツリー定義/プロパティ ページで以下のようにデータを入力して、ポジション ツリーを作成します。

フィールド	値
[ツリー名]	作成するツリーを識別する名前を付けます。
[ストラクチャ ID]	[POSITION] を選択します。PeopleSoft では、出荷時にこのストラクチャ ID があらかじめ設定されています。
[名称]	ツリーの説明となる名称を入力します。
[有効日]	このツリーの有効日を指定します。
[ステータス]	ツリーのステータスを選択します。
[カテゴリ]	ツリーのカテゴリを選択します。

 Copyright © 1988 – 2006, Oracle. All rights reserved.

フィールド	値
[レベルの適用]	各レベルが 1 種類の組織単位によって構成されている場合は、[階層に基づいて適用] を選択します。たとえば、会社レベルは地域という単位のみ、地域は部門という単位のみから構成されている場合などが該当します。 ある組織の下位に複数種類の組織単位がある場合は、[各ノードに適用] を選択します。たとえば、会社レベルが地域と部門という 2 種類の単位によって構成されている場合などが該当します。 セキュリティ構造の階層が浅く、ユニットをレベルに分けて設定する必要がない場合は、[適用しない] を選択します。
[このツリーの全詳細値]	チェック ボックスはオフのままにしておきます。
[詳細値の重複を許可]	チェック ボックスはオフのままにしておきます。

ノードの挿入

ツリーの基本構造を作成した後、ノードを追加します。ポジション ツリーでは、各ノードはポジション データ コンポーネントで定義されたポジションを表します。最初のノードはルート ノードと呼ばれ、階層つまり所属関係の構造の最上位レベルを表します。

関連項目:

Enterprise PeopleTools PeopleBook: PeopleSoft Tree Manager

組織構造作成レポートの実行

ポジション間の所属関係の入力が完了した後、"組織構造の作成" - "ポジション構造の構築" - パラメータ ページを使用して、SQR レポート (ポジション ツリー構造の作成) を実行します。これによって、システム内のポジションがリンクされ、階層的な組織構造が設定されます。この SQR レポートは次のような状況で実行します。

- 最初に所属関係を設定したとき
- 新規ポジションを追加したとき
- 既存のポジション間の所属関係を変更したとき

"組織レポートの作成" - パラメータ ページを使用してインデント ポジション レポートを実行すると、インデントされた組織図のフォーマットで所属関係を表示するレポートを作成できます。

このセクションでは、組織構造作成レポートの実行について説明します。

Copyright © 1988 - 2006, Oracle. All rights reserved.

組織構造作成レポートの実行に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
″ポジション構造の構築″ - パラメータ	RUNCTL_ASOFDATE	[組織計画/管理]、[ポジション管理]、[組織構造の作成]、[ポジション構造の構築]、[パラメータ]	ポジション ツリー構造の作成を行う SQR レポート (POS006A) を実行します。このレポートにより、システム内のポジションがリンクされ、ポジション間の階層が作成されます。このポジション間の階層はポジション インデント レポートに表示されます。
″組織レポートの作成″ - パラメータ	RUNCTL_POS006	[組織計画/管理]、[ポジション管理]、[組織構造の作成]、[組織レポートの作成]、[パラメータ]	組織レポートの作成を行う SQR レポート (POS006) を実行します。このレポートにより、組織内のポジション間の所属関係が、レベル別 (レベルが存在する場合) に視覚的に表示されます。 このレポートを実行する前に、必ずポジション ツリー構造の作成レポートを実行します。

関連項目:

PeopleSoft Enterprise HRMS 9.0 アプリケーションの基礎 PeopleBook、「PeopleSoft Enterprise HRMS アプリケーションの基礎のレポート群」、「PeopleSoft Enterprise HRMS レポート: 主要レポート」

組織レポートの実行

″組織レポートの作成″ - パラメータ ページにアクセスします。

″組織レポートの作成″ - パラメータ ページ

[レポート レベル] レポートに出力するレベルの最上位レベルを入力します。たとえば、10 のレベルがある場合に、最下位のレベルから 5 つ上までのレベルに関する情報だけを出力するには、[レポート レベル] フィールドに 5 と入力します。

Copyright © 1988 - 2006, Oracle. All rights reserved.

nVision レポートの使用

部門別の採用済み/承認済みポジションに関する nVision レポートを、ヒューマン リソース管理のポジション管理ビジネス プロセスでの作業に活用することができます。このレポートによって、各ビジネス ユニットの部門内で承認済み/採用済み/予算計上済みとなっている各ポジション数の確認や分析ができます。

注: PeopleSoft HRMS for Education and Government のユーザーはこのレポートを利用できません。

部門の承認済み人員数のステータス情報の表示

nVision レポートの Sheet 1 に含まれる承認済み人員数、予算計上済みポジションの各列で任意のセルをクリックすると、承認済み人員数のステータス情報のページに移動します。このページで、部門内の承認済み人員数について、個別に詳細ステータス情報を確認および分析できます。

部門の実績人員数のステータス情報の表示

nVision レポートの Sheet 1 に含まれる実績人員数の列で任意のセルをクリックすると、実績人員数のステータス情報のページに移動します。このページで、部門内の実績人員数について、個別に詳細ステータス情報を確認および分析できます。

関連項目:

Enterprise PeopleTools PeopleBook: PS/nVision

Copyright © 1988 - 2006, Oracle. All rights reserved.

Copyright © 1988 - 2006, Oracle. All rights reserved.

PeopleSoft Enterprise 用語一覧

EIM 元帳	Enterprise Incentive Management 元帳の略。PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、参加者のスコープ内の増分結果を処理するオブジェクトのことです。元帳には、データオリジンと、元になった処理ステップに対する全ての適切な追跡を含んだ結果セットがキャプチャされます。
GDS	"Global Distribution System (グローバル販売システム)" の略です。旅行計画を作成するためのコンピュータ予約システム全般を示す広義的な用語です。
GL ビジネス ユニット/GL ユニット	一般会計ビジネス ユニットのことです。会計処理上、独立している組織内のエンティティを指します。GL ユニットごとに固有の会計帳簿が管理されます。 ビジネス ユニットの説明も参照してください。
KPI	"Key Performance Indicator (主要業績評価指標)" の略です。組織の重要成功要因の達成度を測るための、上位レベルの尺度です。KPI により、評価の基準となるデータ値や計算方法が定義されます。
KVI	"Known Value Item (価格や価値が消費者によく知られている商品)" の略です。販売価格を上げたり下げたりすることができない製品または製品グループに使用する用語です。
LDIF ファイル	"LDAP (Lightweight Directory Access Protocol) Data Interchange Format (LDAP データ交換フォーマット) ファイル" の略です。このファイルには、PeopleSoft Enterprise のデータとディレクトリ データとの差異が記録されます。
MCF サーバー	PeopleSoft MultiChannel Framework (マルチチャネル フレームワーク) サーバーの略です。ユニバーサル キュー サーバーと MCF ログ サーバーで構成されます。どちらのプロセスも、アプリケーション サーバードメイン設定で MCF サーバーが選択されたときに開始されます。
NDP	"Non-Discountable Products (割引対象外の製品)" の略です。販売価格を下げることができない製品または製品グループに使用する用語です。
PeopleCode	PeopleSoft Enterprise コンポーネント プロセッサによって実行される固有の言語です。PeopleCode は、既存のデータやユーザーのアクションに基づいて結果を生成します。PeopleTools で提供されるさまざまなツールを使用すると、PeopleCode を実行可能な全ての PeopleSoft Enterprise アプリケーションで外部サービスが利用できるようになります。
PeopleCode イベント	"イベント" の説明を参照してください。
PeopleSoft ピュア インターネット アーキテクチャ (PIA)	リレーショナル データベース管理システム (RDBMS)、アプリケーション サーバー、Web サーバー、およびブラウザで構成される、PeopleSoft 8 の基本アーキテクチャです。
REN サーバー	PeopleSoft マルチチャネル フレームワークの Real-time Event Notification サーバーの略です。
RFI イベント	PeopleSoft Enterprise ストラテジック ソーシングにおいて、情報の依頼を指します。
RFx イベント	PeopleSoft Enterprise ストラテジック ソーシングにおいて、入札者間の競争が少なく、複数の入札者が予算内の最高金額で入札した場合に行われる提案依頼または見積イベントの依頼を指します。
SCP SCBM XML メッセージ	SCP = サプライチェーン プランニング、SCBM = サプライチェーン ビジネス モデラを意味しています。サプライチェーン ビジネス モデラでは、データのインポートおよびエクスポートは、全て XML の形式で行われます。

Copyright © 1988 - 2006, Oracle. All rights reserved.

XLink（XML リンク）

XML ドキュメントに、リソース間のリンクを記述するためのリンク言語です。

XML スキーマ

アプリケーション メッセージ、コンポーネント インターフェイス、またはビジネス インターリンクの表示を統一する XML 定義です。

XPI

eXtended Process Integrator の略です。PeopleSoft XPI は、JD Edwards EnterpriseOne アプリケーションとのリアルタイムおよびバッチでの連携を可能にする統合インフラストラクチャです。

アイテム

PeopleSoft Enterprise 在庫管理では、ビジネス ユニットに保管されている（または倉庫から出荷される）物品を指します。

PeopleSoft Enterprise 需要計画、在庫ポリシー計画、および供給管理では、計画の目的のみで使用する非在庫アイテムを指します。非在庫アイテムを使用して、在庫アイテムのファミリまたはグループを表すことができます。計画部品表や計画工程手順を設定することができ、計画部品表の構成部品として使用することもできます。計画アイテムは、生産用または設計用の部品表や工程手順に指定することはできず、生産の構成部品として使用することもできません。手持数量は管理されません。

PeopleSoft Enterprise 売掛金管理では、個々の売掛金を指します。たとえば、請求書、貸方メモ、借方メモ、償却、または調整などがアイテムに該当します。

アクション テンプレート

PeopleSoft Enterprise 売掛金管理において、顧客やアイテムが、アクション プランの特定の状態にどのくらいの期間とどまっていたかに基づいて、システムまたはユーザーによって段階的に実行されるアクションの概要を定義します。

アクティビティ

PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメントでは、登録可能なカタログ アイテム（クラス）のインスタンスを指します。このアクティビティによって、提供物に関連する費用、登録の制限と期限、および登録待ち人数の定員などが定義されます。

PeopleSoft Enterprise パフォーマンス マネジメントでは、アクティビティ ベース マネジメントでコスト計算に使用される、組織の業務と一連のアクションを指します。

PeopleSoft Enterprise プロジェクト コスト管理では、プロジェクトをさらに細かく（通常は各タスクに）分類するための業務単位を指します。

PeopleSoft ワークフローでは、ビジネス プロセス内で実行する必要のある各トランザクションを指します。アクティビティは、トランザクションを実行するための各ステップで構成されるため、ステップ マップとも呼ばれます。

アプリケーション メッセージング

PeopleSoft Enterprise 製品ファミリのアプリケーションと、他の PeopleSoft Enterprise 製品またはサードパーティのアプリケーションとを同期または非同期の形式で連携させることができる機能です。アプリケーション メッセージには、パブリッシュ/サブスクライブの対象となるレコードとフィールドが定義されます。

異動理由

従業員の職務または雇用情報が更新された理由です。異動理由は、人事異動（昇進、雇用終了、支給グループの変更など）と、その理由という 2 つの部分から成ります。異動理由は、PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理、PeopleSoft Enterprise Benefits Administration、PeopleSoft Enterprise Stock Administration、および基本福利厚生管理ビジネス プロセスの COBRA 管理機能によって使用されます。

イベント

コンポーネント プロセッサ フローまたはプログラム フロー内にあらかじめ定義されたポイントです。各ポイントに達すると、イベントによって各コンポーネントがアクティブ化され、そのコンポーネントとイベントに関連付けられている PeopleCode プログラムが開始されます。イベントの例としては、FieldChange、SavePreChange、および RowDelete などがあります。

また、PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理では、福利厚生の給付条件に影響する出来事を指します。

イベント継承プロセス

PeopleSoft Enterprise Sales Incentive Management では、元の PeopleSoft Enterprise Incentive Management イベントの継承を（ロジックを通じて）決定し、他

Copyright © 1988 – 2006, Oracle. All rights reserved.

のオブジェクトによって処理される元のイベントのデリバティブを作成するプロセスのことです。PeopleSoft Enterprise Sales Incentive Management では、このメカニズムを使用して分割やロールアップなどが実装されます。イベント継承により、貸方金額をだれが受け取るかが決定します。

イベント制約

PeopleSoft Enterprise ストラテジック ソーシングにおいて、特定のソーシング イベントに関連付けられる制約を指します。選択したイベント内で支出が追跡されます。

依頼者

PeopleSoft Enterprise eSettlement-決済管理において、商品またはサービスを依頼し、発注書を参照するさまざまな購買ページに ID が表示されている担当者を指します。

インテグレーション

システム間の連携を可能にする 2 つのインテグレーション ポイント間の関係です。インテグレーションによって、PeopleSoft Enterprise アプリケーションは、他の PeopleSoft Enterprise アプリケーションやサードパーティのシステム/ソフトウェアとシームレスに連携することができます。

インテグレーション セット

同じ目的で使用されるインテグレーションの論理グループです。たとえば、インテグレーション セット ADVANCED_SHIPPING_ORDER には、注文に対する出荷を顧客に通知するために使用される全てのインテグレーションが含まれます。

インテグレーション ポイント

他の PeopleSoft Enterprise アプリケーションや外部アプリケーションとの連携に使用されるインターフェイスです。

ウェアハウス

定義済み ETL マップ、データ ウェアハウス ツール、およびデータマート定義で構成された PeopleSoft Enterprise データ ウェアハウスです。

売掛金担当者

PeopleSoft Enterprise 売掛金管理において、売上調整と未解決アイテムを追跡および解決する担当者のことを指します。

オークション イベント

PeopleSoft Enterprise ストラテジック ソーシングにおいて、最適な価格またはスコアを達成するために、入札者間で積極的な競争が行われるソーシング イベントを指します。

会計処理クラス

PeopleSoft Enterprise パフォーマンス マネジメントにおいて、一般に認められている会計原則（GAAP）で、リソースがどのように取り扱われるかを定義します。在庫クラスは、リソースが貸借対照表勘定科目に含まれるかどうか（在庫や固定資産など）を示し、非在庫クラスは、リソースが発生した期間の費用として処理されることを示します。

会計処理日

取引が実際に発生した日ではなく、取引が認識された日付を示します。会計処理日と取引日は同じである場合もあります。会計処理日により、取引の転記先の総勘定元帳における会計期間が決まります。選択できる会計処理日は、転記先の元帳のオープン期間内の日付に限られます。通常、アイテムの会計処理日は請求日になります。

会計分割

会計分割メソッドは、1 つまたは複数の会計チャートフィールド セットに、支出がどのように割り当てまたは分割されるかを示します。

回収ルール

PeopleSoft Enterprise 売掛金管理において、未決済残高の金額と期限からの経過日数に基づき、顧客に対して実行するアクションを定義するユーザー定義のルールのことを指します。

価格コンポーネント

PeopleSoft Enterprise ストラテジック ソーシングにおいて、全体の入札価格を構成する材料費、人件費、出荷費用などの各種コンポーネントを指します。

価格設定

PeopleSoft Enterprise ストラテジック ソーシングにおいて、落札数量に基づいて入札者が行う値引きまたは金額の上乗せを指します。

価格リスト

価格リストを使用して、製品および取引の際に適用される条件を選択できます。取引の際は、その取引に定義されている検索階層に基づいて製品の価格が自動的に決定されるか、または製品に関連付けられたアクティブな価格リ

Copyright © 1988 - 2006, Oracle. All rights reserved.

ストの最低価格が使用されます。この価格は、以後の全ての割引や割増に対する基準として使用されます。

価格ルール
基本価格に調整が適用されるための条件です。それぞれの条件が満たされれば、複数のルールが適用される場合もあります。

価格ルール キー
価格ルールに対して価格ルール条件（取引のマッチングに使用）を定義するために利用可能なフィールドを定義します。

価格ルール条件
価格設定フィールドとその値を選択し、価格設定フィールドが取引にどのように適用されるかを決定する演算子を選択します。

学習者グループ
PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメントにおいて、同じラーニング環境にリンクされた学習者のグループを指します。同じ学習者グループのメンバーは、部門や職務コードなど、同じ属性を共有します。学習者グループを使用して、ラーニング アクティビティやプログラムへのアクセスや登録を制御することができます。また、バック オフィスでグループ登録や一括登録を実行するためにも使用されます。

学習予定
PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメントにおいて、学習者ごとに計画されている全てのラーニング アクティビティおよびプログラムを格納するセルフサービス リポジトリです。

学習履歴
PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメントにおいて、学習者が完了した全てのラーニング アクティビティやプログラムを記録するセルフサービス リポジトリです。

カタログ アイテム
PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメントにおいて、学習者が学習および追跡できるトピックを指します。たとえば、"Microsoft Word について" などがこれに該当します。カタログ アイテムには、トピックについての一般的な情報に加え、コース コード、説明、カテゴリ分類、キーワード、および提供方法が含まれています。1 つのカタログ アイテムには、1 つまたは複数のラーニング アクティビティが含まれます。

カタログ パートナ
PeopleSoft Enterprise カタログ管理において、カタログ コンテンツの管理責任を企業のカタログ管理者と共有します。

カタログ マップ
PeopleSoft Enterprise カタログ管理において、カタログのソース データから会社仕様のカタログに値を変換するために使用されます。

各国機能
PeopleSoft Enterprise HRMS において、国ごとに利用できる情報セットを指します。この情報にアクセスするには、グローバル ウィンドウで目的の国のフラグをクリックするか、または特定の国向けのメニューからアクセスします。

カテゴリ分類
パートナからのオファーをカタログのオファーに関連付け、それらを会社のカタログ カテゴリにグループ化します。

仮受消費税記録フラグ
"仮払消費税記録フラグ" の説明を参照してください。

仮払消費税記録フラグ
PeopleSoft Enterprise 購買管理、買掛金管理、および一般会計では、このフラグは取引に仮払消費税が記録されることを示します。このフラグは、仮受消費税記録フラグと併せて、取引に対して作成される会計入力と、消費税申告書での取引の申告方法を決定するために使用されます。購買管理と買掛金管理では、取引の消費税情報が追跡されるので、このフラグは必ず "記録する" に設定します。常に仮受消費税だけが記録される PeopleSoft Enterprise 受注管理、請求管理、売掛金管理と、常に仮払消費税だけが記録される PeopleSoft Enterprise 経費管理では、このフラグは使用されません。

関係オブジェクト
PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、これらのオブジェクトは給与オブジェクトとビジネス オブジェクトの間の関連性を設定することによって、取引を解決するための給与構造を詳細に定義します。

関係者
ワークフォースの一員ではないものの、組織が情報を管理する対象となる個人を指します。

Copyright © 1988 - 2006, Oracle. All rights reserved.

換算先通貨
予算表示や照会のために、入力通貨から換算する単一の通貨です。

期間コンテキスト
PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、参加者は通常複数の期間に同じ給与プランを使用するので、期間コンテキストによってプランのコンテキストが特定のカレンダー期間と会計年度に関連付けられます。期間コンテキストは、関連するプラン コンテキストを参照してチェーンを形成します。各プラン コンテキストには対応する期間コンテキストのセットがあります。

基本期間
PeopleSoft Enterprise ビジネス プランニングにおいて、カレンダー内の最も基本的な期間を指します。

キャッシュドロア
現金を収納して支払をその場で行うための引出しです。

休暇取得
受給者が、有給休暇を認められるために満たす必要のある条件を定義するエレメントです。

休暇付与
病欠、休養、産休など、有効と認められる休暇について、有給休暇を承認するためのルールを定義するエレメントです。休暇付与エレメントにより、承認可能な金額、頻度、および期間が定義されます。

給与オブジェクト
PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、給与構造内のノードを指します。給与オブジェクトは、給与構造の階層を構成する基本単位です。

給与構造
PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、給与オブジェクトの階層関係のことです。これは、オブジェクト間の給与関連の関係を表します。

行
PeopleSoft Enterprise ストラテジック ソーシングにおいて、入札できる個々のアイテムまたはサービスを指します。

業績指標
PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、奨励プランの適用範囲内でデータを格納するために使用される変数を指します（アグリゲータと似ていますが、あらかじめ定義されている計算式はありません）。業績指標は、プランのカレンダー、地域、および参加者に関連付けられます。業績指標は割当額の計算やレポーティングに使用されます。

共通アローワンス
PeopleSoft Enterprise プロモーション マネジメントにおいて、制限付きで資金供給された企業レベルでのプロモーションを指します。業界一般では、これはコーポレート プロモーションやコーポレート ディスカウントなどと呼ばれます。

共通ナビゲーション ヘッダー
全ての PeopleSoft Enterprise ポータルには、ナビゲーション ヘッダーが含まれます。これは、ユーザーがそのポータルにサインインしている限り、全てのページで上部に表示されます。ナビゲーション ヘッダーには、標準のナビゲーション ボタン（ホーム、お気に入り、サインオフなど）に加え、各ユーザーへのメッセージなども表示できます。

共有ドライバ計算式
PeopleSoft Enterprise ビジネス プランニングで使用される、ドライバ計算式に似たプランニング メソッドです。1 つのプランニング アプリケーション内で共有するためにグローバルに設定したり、PeopleSoft Enterprise ウェアハウスを通じて複数のプランニング アプリケーション間で共有するように設定したりできます。

金融制裁
米国に拠点を置く企業やその企業の海外の子会社は、米国財務省海外資産管理局（OFAC）の連邦規制により、支払前に取引先が特定国籍業者（SDN）リストの対象かどうかを確認することが求められます。

PeopleSoft Enterprise 買掛金管理、eSettlement−決済管理、資金管理、および Order to Cash では、取引先が金融制裁リスト（SDN リストや欧州連合のリストなど）の対象であるかを確認できます。

クラス チャートフィールド
予算を予算期間、資金、部門 ID、およびプログラム コードと組み合わせた場合に、一意の支出予算キーを識別するためのチャートフィールド値です。以前はサブ分類と呼ばれていました。

Copyright © 1988 − 2006, Oracle. All rights reserved.

グループ

PeopleSoft Enterprise 請求管理と売掛金管理では、1 つまたは複数の取引で構成される転記対象を指します。たとえば、アイテム、入金、振替、マッチング、償却などがあります。

PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理とサプライ チェーン マネジメントでは、PeopleSoft ビジネス プロセスで計算を実行するため、同一の名前または変数に関連付けられたレコードのセットを指します。たとえば、PeopleSoft Enterprise 勤務管理では、従業員は勤務時間報告用のグループにまとめられます。

グローバル制約

PeopleSoft Enterprise ストラテジック ソーシングにおいて、複数のストラテジック ソーシング ビジネス ユニットに適用される制約を指します。複数のストラテジック ソーシング ビジネス ユニットの全てのイベントにわたって支出が追跡されます。

契約

PeopleSoft Enterprise eSettlement-決済管理において、支払条件、銀行情報、通知などの処理オプションを、購買者とサプライヤの所在地の組み合わせによってグループ化および指定するための手段です。

原価プロファイル

受領原価計算方法、原価フロー、および払出原価計算方法の組み合わせです。プロファイルは台帳に関連付けられ、その台帳におけるアイテムの評価方法や、アイテムの物理的移動の評価方法を決定します。

現在の学習内容

PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメントにおいて、現在進行している全てのラーニング アクティビティおよびプログラムに対するセルフサービス リポジトリを指します。

検索クエリー

検索エンジンにクエリー文字列と演算子を渡すために使用されます。検索インデックスは、一致する結果のセットをソースドキュメントへのキーと共に返します。

検索/マッチング

PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理において、データベース内の重複するレコードを検索、特定するための機能です。

合計コスト

PeopleSoft Enterprise ストラテジック ソーシングにおいて、特定の落札方法の見積コスト（実際の金額と、"ソフト ダラー" すなわち現金などの直接の支払以外の支払手段によるものの合計）を指します。

購買イベント

PeopleSoft Enterprise ストラテジック ソーシングにおいて、イベント作成者にとっては、商品やサービスを購入することを指し、通常は見積依頼、提案、またはリバース オークションに関連付けられます。入札者にとっては、商品やサービスを販売することを指します。

購買者

PeopleSoft Enterprise eSettlement-決済管理において、システム内でサプライヤ（取引先）と取引をする組織またはビジネス ユニットを指します（個人ではありません）。購買者は、システム内で実行された購買に対する支払いを作成します。

顧客サブ グループ タイプ

詳細な履歴、エージング、イベント、およびプロファイルの生成が可能な区分に顧客を分類するための値です。

コスト プラス価格設定

PeopleSoft Enterprise Pricer において、商品の原価を基準に価格を設定する方法を指します。

コスト プラス契約行

報奨、固定、奨励金、またはその他の料金コンポーネントに関連付けられるレートベースの契約行です。料金タイプが "なし" に関連付けられるレートベースの契約行は、コスト プラス契約行とは見なされません。

コレクション

ドキュメントのセットを Verity で検索可能にするには、最初にコレクションを少なくとも 1 つは作成する必要があります。コレクションとは、ディレクトリおよびファイルのセットです。コレクションにより、検索アプリケーションのユーザーが Verity 検索エンジンを使用して、検索条件に一致するソースドキュメントをすばやく検索および表示することが可能になります。コレクションは、ファイル サーバー別に固有のフォーマットで格納されたソースドキュメントに対する統計値とポインタで構成されます。コレクションは単一の場所の情報しか格納できないため、PeopleTools では検索索引オブジェクトごとに複数のコレクションのセット（言語コードごとに 1 つ）が管理されます。

Copyright © 1988 - 2006, Oracle. All rights reserved.

コンテキスト

PeopleCode において、PeopleCode プログラムの実行中に、前後関係から見てどのバッファフィールドが参照可能か、各スクロール レベル上の現在のデータ行がどの行か、などを判断する基準を指します。

PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、プロセスの実行範囲の決定に使用されるメカニズムを指します。PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、計画、期間、および実行レベルの 3 つのタイプが使用されます。

コンテンツ参照

ポータル レジストリに登録されているコンテンツへのポインタです。通常は URL か iScript のいずれかになります。コンテンツ参照は、ターゲット コンテンツ、テンプレート、およびテンプレート ページレットの 3 つのカテゴリに分類されます。

コントロール テーブル

アプリケーションの処理を制御する情報が格納されます。このような情報は、組織全体を通じて一貫している場合もあれば、データの共有がより限定され、組織の一部分によってのみ使用される場合もあります。

コンポーネント インターフェイス

API（アプリケーション プログラミング インターフェイス）のセットであるコンポーネント インターフェイスを介すことにより、PeopleSoft クライアントを使用していなくても、プログラムを通じて PeopleSoft Enterprise データベース情報にアクセスしたりデータを修正したりすることができます。

サードパーティ

PeopleSoft によって認定され、PeopleSoft Enterprise アプリケーションと互換性のある製品やインテグレーションを提供する会社やベンダーです。通常は PeopleSoft Enterprise の製品に関して幅広い知識を持っています。

最適化エンジン

PeopleSoft Enterprise ストラテジック ソーシングで使用される PeopleTools コンポーネントで、入札を評価して割り当てる、最適な落札金額を決定します。推奨落札金額は、購買と会社の目的および制約に従って価額が最大になるように設定されます。

作業指示

PeopleSoft Enterprise サービス プロキュアメントにおいて、サービス プロバイダとの契約の基本条件を指定する、リソース ベースや成果物ベースの取引を作成できるようにします。サービス プロバイダと契約したら、そのサービス プロバイダは作業指示に従って時刻と進捗状況を記録します。

作業別歩留

PeopleSoft Enterprise 生産管理において、生産されるアイテムに対し、作業ごとの損失を見積もる機能です。

サブ ビジネス プロセス

ビジネス プロセスのサブセットです。たとえば、″資金管理″ というビジネス プロセスのサブセットとして ″キャッシュ ポジションの決定″ というサブ ビジネス プロセスがあります。

サマリ ツリー

要約元帳内のレポートのタイプごとに勘定科目をロールアップするために使用されるツリーです。サマリ ツリーを使用すると、ツリーのツリーを定義できます。サマリ ツリー内の詳細値は、実際には詳細ツリーまたは別のサマリ ツリー（基本ツリー）上のノードにあります。サマリ ツリーの構造によって、そのサマリ ツリーの土台となる詳細値が指定されます。

参加者

PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、参加者は奨励報酬計算プロセスの受取人のことです。

参加者オブジェクト

各参加者オブジェクトは、1 つまたは複数の給与オブジェクトに関連付けられます。

″給与オブジェクト″ を参照してください。

参照オブジェクト

PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、このディメンジョンタイプのオブジェクトによってビジネスをより詳細に定義します。参照オブジェクトには、製品ツリー、顧客ツリー、業種ツリー、地理ツリーなど、独自の階層を定義できます。

参照データ

PeopleSoft Enterprise Sales Incentive Management では、担当地域、参加者、製品、顧客、チャネルなどの販売単位を表すシステム オブジェクトのことです。

Copyright © 1988 - 2006, Oracle. All rights reserved.

参照取引

コミットメントコントロールにおいて、より上位のレベルの（かつ通常はより最近の）ソース取引によって参照されるソース取引を指します。これは、参照先取引の予算チェック済み金額の一部または全てを自動的に取り消すために行われます。これにより、異なるコミットメントレベルで取引が順次入力される際に重複転記を防ぐことができます。たとえば、エンカンバランス取引（発注など）の金額が予算と比較してチェックおよび記録される際、同時に、対応するプレエンカンバランス取引（調達依頼など）の金額の一部または全てが参照され自動的に取り消されます。

資金

PeopleSoft Enterprise プロモーション マネジメントにおいて、プロモーション アクティビティへの資金を供給する予算です。資金供給方法には、トップダウン、固定計上、ローリング計上、ゼロ基準計上の 4 つがあります。

資産クラス

レポート目的に使用される資産グループです。資産区分と組み合わせて使用することにより、資産をさらに綿密に分類できます。

システム機能

PeopleSoft Enterprise 売掛金管理において、一般会計の会計入力がシステム内でどのように作成されるかを定義するアクティビティです。

システム ソース

システム ソースによって、データベースの取引行のソースが識別されます。たとえば、PeopleSoft Enterprise 経費管理から開始するトランザクションには、システム ソース コード "BEX"（経費管理バッチ）が含まれます。

PeopleSoft Enterprise プロジェクト コスト管理で請求用のソース取引行の価格を設定すると、新規行のシステム ソースを表すシステム ソース コード "PRP"（プロジェクト コスト価格設定）が付いた行が作成されます。システム ソース コードでは、PeopleSoft Enterprise システム内外のソースを表すことができます。たとえば、Microsoft Project から PeopleSoft Enterprise アプリケーションにデータをインポートするプロセスでは、ソース コード "MSP"（Microsoft Project）が付いた取引行が作成されます。

実行レベル コンテキスト

PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、特定のプロセス実行（およびバッチ ID）を期間コンテキストとプラン コンテキストに関連付けるために使用します。特定のプロセス実行に関連する全てのプラン コンテキストには個別の実行レベル コンテキストがあります。1 つのプロセス実行が複数の期間にまたがることはできないので、各プラン コンテキストには 1 つの実行レベル コンテキストだけが関連付けられます。

支払サイクル

PeopleSoft Enterprise 買掛金管理において、支払作成の際に、支払予定を選択するための基準を定義するルール セットを指します。

従業員/非従業員

ワークフォースの一員となる個人です。従業員または非従業員が含まれます。

重要度

PeopleSoft Enterprise ストラテジック ソーシングにおいて、イベント全体に対する行または質問の重要度を指します。重要度は入札のスコア付けと分析に使用します。RFx イベントと RFI イベントでは、重要度は入札者に示される場合と示されない場合があります。

出張グループ

PeopleSoft Enterprise 経費管理において、特定のビジネス ユニット、部門または従業員に関連付けられる組織の出張規定および方針を指します。PeopleSoft Enterprise 経費管理の出張機能を設定する場合は、出張グループを 1 つ以上定義する必要があります。また、旅行会社には出張グループを 1 つ以上定義して関連付ける必要があります。

出張パートナ

PeopleSoft Enterprise 経費管理において、組織が契約関係を結んだ旅行会社を指します。

取得価格行

チャートフィールドのセットに対する原価取引と金額です。

条件

PeopleSoft Enterprise 売掛金管理において、与信限度額に達したり、ユーザー定義の未払残高を超えたりして、顧客の勘定のステータスが変更された場合に発生する状況を指します。

Copyright © 1988 - 2006, Oracle. All rights reserved.

消費税対象外（非課税）
消費税の課税対象ではない商品やサービスを指します。消費税対象外の商品やサービスを提供する組織は、関連する仮払消費税を回収することはできません。これは、回収不能免除とも呼ばれます。

消費税保留
消費税支払の一時的免除を許可された組織を指します。

消費税免除（免税）
組織の性質を理由に消費税支払の永久的免除を許可された組織を指します。

消費税例外
組織に対して許可された、一時的または永久的な消費税支払免除のことです。これには、消費税免除と消費税保留の両方の状況が含まれます。

奨励オブジェクト
PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、PeopleSoft Enterprise Incentive Management の計算プロセスと結果を定義およびサポートする、奨励関連のオブジェクトのことです（プラン テンプレート、プラン、結果データ、ユーザー介入オブジェクトなど）。

奨励ルール
PeopleSoft Enterprise Sales Incentive Management では、取引に対して動作し、それらを報酬に変えるコマンドのことです。1 つのルールは、取引を報酬に変えるプロセスの一部分です。

所在地
さまざまなタイプの住所を示すために使用します。たとえば企業の場合、請求書受け取り先、出荷先、郵送先などの各住所や、別の建物などを表すために使用できます。各住所には異なる所在地番号があります。1 で表される主要所在地は、最も頻繁に使用する住所を示します。これは、主住所とは異なる場合があります。

シリアル/ロット構成
PeopleSoft Enterprise 生産管理において、シリアル管理アイテムの生産工程を追跡するための機能です。

シリアル/ロット生産管理
PeopleSoft Enterprise 生産管理において、製造アイテムのシリアル情報を追跡するための機能です。この情報は、アイテム マスター レコード内で管理されます。

シングル サインオン
シングル サインオンを使用すると、ユーザーは PeopleSoft Enterprise アプリケーション サーバーによる認証を受けた後、ユーザー ID やパスワードを再入力せずに 2 つ目の PeopleSoft Enterprise アプリケーション サーバーにアクセスできます。

シンジケート
会社のカタログの実用バージョンをパートナに配布することです。

進捗ログ
PeopleSoft Enterprise サービス プロキュアメントにおいて、成果物ベースのプロジェクトを追跡するために使用されます。進捗ログは、タイム シートと同様に機能し処理されます。サービス プロバイダの担当者は、進捗ログを使用して成果物の進捗状況を記録および提出します。進捗状況は、実行されるアクティビティごとに記録するか、作業の完了率で記録するか、またはプロジェクトに対して定義されているマイルストーン アクティビティの完了ごとに記録することができます。

スコア
PeopleSoft Enterprise ストラテジック ソーシングでは、イベントの入札要因に対する回答数（パーセント）を指します。スコアはオークション イベント入札者にのみ示されます。

ステージ
選択したパートナ オファーを、企業の他のパートナからのオファーと統合する方法です。

ステップ
PeopleSoft Enterprise Sales Incentive Management では、プラン内のセクションのコレクションを指します。各ステップは、ジョブ実行に含まれる特定のステップに対応します。

スピードチャート
複数のチャートキーを指定するユーザー定義の省略キーです。支払伝票入力に使用されます。スピードチャート定義内の各チャートキーにパーセンテージを関連付けることもできます。

スピード入力
チャートフィールド値の組み合わせを表すコードです。スピード入力を使用すると、一緒に使用されることの多い複数のチャートフィールドを簡単に入力できるようになります。

Copyright © 1988 - 2006, Oracle. All rights reserved.

製品
PeopleSoft Enterprise またはサードパーティの提供する製品を指します。PeopleSoft では、提供するソフトウェア製品を製品ファミリまたは製品ラインに分類しています。Interactive Services Repository には、PeopleSoft によって販売される全ての製品の各リリースに関する情報が提供されています。また認定されたサードパーティの製品についても情報提供されています。それぞれの製品は、製品名とリリース番号によって区別されています。

製品カテゴリ
PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、PeopleSoft Enterprise Incentive Management 製品スイート内の 1 アプリケーションを指します。PeopleSoft Enterprise Incentive Management システム内の各取引は、特定の製品カテゴリに関連付けられます。

製品追加
製品 A を購入すると製品 B が無料または特定の価格で購入できるようにする価格設定機能です（以前の名称は ″無償提供品″）。

製品ファミリ
共通の機能を持つ製品のグループを指します。Interactive Service Repository で検索に使用できる製品ファミリ名としては、オラクル社の PeopleSoft Enterprise、JD Edwards EnterpriseOne、JD Edwards World、サードパーティ（認定されたパートナ）があります。

製品ライン
PeopleSoft Enterprise 製品ラインまたは認定されたパートナ（サードパーティ）の会社名を指します。Integration Services Repository では、製品ラインごとにインテグレーション ポイントを検索することもできます。

制約
ソーシング イベントでの落札方法に関する業務方針またはルールです。制約には、ビジネス、グローバル、イベントの 3 つのタイプがあります。

積載
PeopleSoft Enterprise 在庫管理において、まとめて出荷される商品のグループを指します。積載管理は、重量、容積、および出荷先を追跡するために使用される PeopleSoft Enterprise 在庫管理の機能です。

セキュリティ イベント
コミットメント コントロールにおいて、セキュリティ権限チェックをトリガするイベントです。たとえば、予算の入力、振り替え、および調整、例外の上書きと通知、照会などがあります。

セクション
PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、特定のタイプの取引に対して適用される奨励ルールのコレクションを指します。セクションを使用することにより、プランをセグメント化して、異なるセクション内の論理イベントを処理することが可能になります。

セッション
PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメントにおいて、1 つのアクティビティの各集合日を指します。つまり、1 日の開始時刻と終了時刻の間の時間です。セッションには、日付、場所、集合時刻、および講師の情報が格納されます。セッションはスケジュールの決められた研修に使用されます。

セッション テンプレート
PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメントにおいて、アクティビティのスケジュール設定に繰返し使用できる共通のアクティビティ特性を設定したものです。共通の特性としては、曜日、開始/終了時刻、施設と教室の割当、講師、設備などが挙げられます。セッション テンプレートは、スケジュールを設定する対象のアクティビティに関連付けることができます。アクティビティにテンプレートを関連付けると、テンプレートの全てのデフォルト情報がアクティビティ セッション パターンに入力されます。

設定パラメータ カタログ
PeopleSoft Enterprise と連携する外部システムを設定するために使用されます。たとえば、設定パラメータ カタログを使用して、外部サーバー用の構成および通信のパラメータを設定できます。

設定プラン
PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、設定プランは共通の変数（奨励ルールではありません）についての割当情報を保持するもので、参加者のないノードに関連付けられます。設定プランは取引によって処理されるものではありません。

Copyright © 1988 - 2006, Oracle. All rights reserved.

設定リレーションシップ
PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、任意のストラクチャノードに設定プランを関連付ける関係オブジェクトタイプを指します。

ゼロ税率/ゼロ消費税
税率が 0 パーセントの消費税コードを持つ消費税取引を指します。実際には消費税が課税されない消費税対象アクティビティを追跡するために使用されます。ゼロ税率の商品やサービスを供給する企業は、関連する仮払消費税を回収できます。これは回収可能免除とも呼ばれます。

先行タスク
次のタスクを開始する前に終了する必要があるタスクです。

ソーシング目標
制約において、ビジネス ルールを必要（必須）にするか、推奨（目標）のみにするかを指定するオプションを指します。

ソース取引
コミットメントコントロールにおいて、コミットメントコントロールと統合された PeopleSoft Enterprise またはサードパーティアプリケーションで生成された取引で、コミットメントコントロール予算との比較チェックが可能な取引を指します。たとえば、プレエンカンバランス、エンカンバランス、支出、認識済収入、回収済収入などの取引がこれに当たります。

属性/値（ペア）
PeopleSoft Enterprise ディレクトリ インターフェイスにおいて、ディレクトリ情報ツリー内のエントリを構成するデータを表します。

代替勘定科目
PeopleSoft Enterprise 一般会計において、一部の国で必要とされる特別な記録方法や申告方法に従って、法定の勘定科目一覧表を作成したり勘定取引を詳細取引レベルで入力したりできる機能です。

台帳
PeopleSoft Enterprise 資産管理において、取得価額、減価償却属性、処分などの会計および税関連の情報を格納するために使用されます。

タイムスパン
PeopleSoft Enterprise 一般会計のさまざまな機能やレポートにおいて、特定の日付ではなく一定の期間が必要なときに使用できる相対的な期間です。たとえば、会計年度の初めから今日までの期間 や当期間などがあります。

代理入札
PeopleSoft Enterprise ストラテジックソーシングにおいて、入札者の代わりに入札を行うことを指します。代理入札者は、入札者が指定した金額を下げたり上乗せして、その入札者が落札できるようにします。

タスク
詳細なソーシング プランの成果物アイテムです。

多通貨
ビジネス ユニットの基本通貨以外の通貨で、取引を処理できる機能です。

段階価格
スケジュールを分割してそれぞれに異なる価格を設定できます。

短期顧客
テンプレートを使用した受注入力時に入力された、システムに登録されていない顧客です。

地域ソーシング
PeopleSoft Enterprise 購買管理において、複数の入荷先所在地を地域別にグループ化したソーシング モデルに基づいて、適切な取引先と取引先価格設定の構造を管理、表示、および選択するためのインフラストラクチャです。ソーシングは、入荷先所在地より上位のレベルで行われる場合もあります。

チェックブック
PeopleSoft Enterprise プロモーション マネジメントにおいて、資金やプロモーションに関連する財務データ（計画、発生、および実際の金額）を参照するために使用します。

チャートキー
テーブル内の各行を一意に識別するための 1 つまたは複数のフィールドです。テーブルによって、キーとなるフィールドが 1 つだけの場合もあれば、複数必要な場合もあります。

チャートフィールド
PeopleSoft Enterprise アプリケーションに応じて、勘定科目やリソースなどの一覧を格納するフィールドです。各チャートフィールド値は、個別の勘定科目番号や部門コードなどを表します。

Copyright © 1988 - 2006, Oracle. All rights reserved.

チャートフィールド一致
特定のチャートフィールドを、取引の貸借が常に一致するよう指定することができます。

チャートフィールド組合せ編集
ユーザー定義のルールに基づき、有効なチャートフィールドの組み合わせに対して仕訳行を検証するプロセスです。

チャネル
PeopleSoft マルチチャネル フレームワークにおいて、電子メール、チャット、ボイス(CTI(Computer Telephone Integration))などのイベントや汎用イベントを指します。

調整プラン
取引に複数の価格ルールが適合する場合の調整の役割を果たします。調整プランでは、取引の基本価格に適用する価格ルールの順序を決定します。

直接受領
倉庫または取引先から別の倉庫に出荷されるアイテムです。

直納
取引先または倉庫から顧客に直接出荷されるアイテムです。

ツリー
全ての会計単位(社内部門、プロジェクト、レポーティング グループ、勘定科目番号など)間の関係と要約上の階層を視覚的に表すために、PeopleSoft Enterprise システムで使用される階層です。

提供方法タイプ
PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメントにおいて、組織内で選択可能なラーニング アクティビティの提供方法を示します。オンライン学習、教室での指導、セミナー、教本などがあります。このタイプによって、提供方法にスケジュール型のコンポーネントが含まれるかどうかが決まります。

提供方法/配送方法
PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメントでは、それぞれのラーニング アクティビティを提供するための主な方法を示します。また、ラーニング アクティビティのデフォルト値(費用や言語など)も併せて指定されます。これは主に、学習者が最も適した提供方法をカタログで検索できるようにする目的で使用されます。PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメントは混合型の学習システムなので、特定の提供方法を強制することはありません。

PeopleSoft Enterprise サプライチェーン マネジメントでは、商品を出荷先へ送る手段(トラック、航空、鉄道など)を示します。配送方法は、出荷スケジュールの作成時に指定されます。

ディメンション
PeopleSoft 分析計算エンジンでは、分析モデルの基本的なコンポーネントとして、多岐にわたって使用される 1 種類のデータのリストがディメンションに格納されます。ディメンションは、分析モデル内で 1 つまたは複数のキューブに関連付けられます。PeopleSoft キューブ マネージャでは、OLAP キューブの最も基本的なコンポーネントとして、ディメンションの階層構造の作成に使用される PeopleSoft メタデータを指定します。PeopleSoft 分析計算エンジンで使用されるディメンションとデータ キューブは、PeopleSoft キューブ マネージャで使用されるディメンションと OLAP(オンライン分析処理)キューブとは無関係です。

ディレクトリ情報ツリー
PeopleSoft Enterprise ディレクトリ インターフェイスにおいて、ディレクトリの階層構造を表します。

データ エレメント
最も単純なレベルでは、データのサブセットと、それらをグループ化するためのルールを定義するものです。

ワークフォース アナリティクスでは、ワークフォース グループについてどのデータを取得し、どの測定値を適用するかをシステムに定義するルールを指します。

データ キューブ
PeopleSoft 分析計算エンジンにおいて、種類別にデータ(受注データなど)を格納するものです。データ キューブは、1 つまたは複数のディメンションと併せて使用されます。PeopleSoft 分析計算エンジンで使用されるディメンションとデータ キューブは、PeopleSoft キューブ マネージャで使用されるディメンションと OLAP(オンライン分析処理)キューブとは無関係です。

データ取得
PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、外部のソース システムから業務取引の生データを取得し、それをオペレーショナル データ ストア(ODS)に渡すプロセスのことです。

Copyright © 1988 - 2006, Oracle. All rights reserved.

データセット
データをロール ベースでフィルタリングおよび配布するためのデータ グループです。データセット ルールをユーザー ロールに関連付けることにより、ユーザーごとに表示されるデータの範囲と量を制限できます。データセット ルールを使用すると、ユーザーのロールに対して適切なデータのセットを取得できます。

テーブルセット
実際のデータ値は異なっていてもテーブルの構造が同じであるコントロール テーブル間で、類似する値セットを共有するための方法です。

テーブルセット共有
同じテーブルセットに基づく複数のテーブル内に格納されている共有データです。テーブルセット共有を使用しているテーブルには、追加キーまたは固有 ID として SETID フィールドが含まれます。

手配タスク
PeopleSoft Enterprise サービス プロキュアメントにおいて、サービス プロバイダを利用するにあたって発生する管理タスクを指します。手配タスクは、作業指示のサービス タイプにリンクされます。これにより、サービスのタイプに応じて異なる手配タスクを適用することができるようになります。手配タスクには、承認前タスク（新しい記章の割り当てや新しいノート パソコンの注文など）と承認後タスク（説明会のスケジューリングやサービス プロバイダ宛て電子メールの設定など）があります。手配タスクは、必須にすることもオプションにすることもできます。必須の承認前タスクの場合、作業指示が承認される前に完了しておく必要があります。これに対し、必須の承認後タスクは、作業指示がサービス プロバイダにリリースされる前に完了しておく必要があります。

テリトリ
PeopleSoft Enterprise Sales Incentive Management では、地域、製品、顧客、業種、参加者などのビジネス オブジェクトの階層関係のことです。

店頭受取数量
店頭販売の環境で顧客が持ち帰る製品の数量です。

店頭販売
顧客との対面取引です。通常、顧客が店頭で商品を選んだり、事前に注文した製品を受け取ります。顧客は商品の代金を店頭で支払います。商品は倉庫から発送してもらう代わりに、店頭で受け取り自分で持ち帰ります。

テンプレート
特定の Web ページに関連付けられた HTML コードです。ページのレイアウトや、ページの各部に対応する HTML の取得場所が定義されます。PeopleSoft Enterprise では、テンプレートを使用して、多数のソースから HTML を連結して 1 つのページを構築します。PeopleSoft Enterprise ポータルでは、全てのテンプレートがポータル レジストリに登録され、各コンテンツ参照にはテンプレートが割り当てられている必要があります。

動的詳細ツリー
ユーザーによって入力された値の範囲からではなく、データベースのテーブルから詳細値（動的詳細）を直接取得するツリーです。

ドキュメント連番
法定レポートの作成や商取引アクティビティの追跡に使用する目的で、システム内の会計取引（請求、発注、入金、支払など）に連続した番号を柔軟に付けるための方法です。

特別価格設定
PeopleSoft Enterprise 受注管理において、価格ルールに関連付けられる調整プラン タイプの 1 つです。特別価格設定は、受注取引の価格設定に使用されます。

トランスレート テーブル
データベース内のフィールドで、専用の編集テーブルを必ずしも持っていないさまざまなフィールドについて、コードとトランスレート値を格納するシステム編集テーブルです。

取引ステータス
PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、給与ルールによって取引に割り当てられた値を指します。取引ステータスを使用すると、システム処理の特定のステージにある取引だけがセクションで処理されるようにすることができます。正常に処理された場合、取引は次の取引ステータスに更新され、別の処理を実行するために異なるセクションによって取得されます。

取引割当
PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、取引のオーナーを識別するプロセスを指します。取引の生データがバッチからプラン コンテキストに割

Copyright © 1988 - 2006, Oracle. All rights reserved.

り当てられると、取引は PeopleSoft Enterprise Incentive Management の取引テーブルにコピーされます。

トレース適用

PeopleSoft Enterprise 生産管理において、生産プロセス中にどの構成部品を追跡するかを制御する機能です。追跡できるのは、シリアル管理およびロット管理されている構成部品です。この情報は、アイテム マスター レコード内で管理されます。

入札回答

PeopleSoft Enterprise ストラテジック ソーシングでは、イベントに対して入札者が回答することを指します。

入力イベント

PeopleSoft Enterprise 一般会計、売掛金管理、買掛金管理、購買管理、および請求管理において、単一の取引から生じる複数の借方および貸方を生成して、標準の補足会計入力を作成するビジネス プロセスです。

認証サーバー

システムのユーザーを確認するよう設定されたサーバーです。

ノード ツリー

詳細構造に基づいているものの、詳細値は使用されないツリーを指します。

パートナ

ユーザー企業によって再販売または購入される製品やサービスを供給する企業を指します。

発生

PeopleSoft Enterprise プロモーション マネジメントにおいて、プロモーション関連の支払義務が発生することを指します。つまり、プロモーション アクティビティについて顧客にその金額を支払う義務があることを意味します。

パブリッシュ

PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、奨励関連の結果を参加者に対して利用可能にする処理ステージのことです。

販売イベント

PeopleSoft Enterprise ストラテジック ソーシングにおいて、イベント作成者にとっては、商品やサービスを販売することを指し、通常はフォワード オークションに関連付けられます。入札者にとっては、商品やサービスを購入することを指します。

ビジネス アクティビティ

サブ ビジネス プロセスを構成するサブセットです。ビジネス プロセス内で実行する特定のトランザクション、タスク、アクションなどがこれに当たります。

ビジネス イベント

PeopleSoft Enterprise 売掛金管理において、手形アクティビティに対する売掛金更新プロセスの処理特性を定義します。

PeopleSoft Enterprise Sales Incentive Management では、PeopleSoft Enterprise Incentive Management イベント（販売など）の作成の妥当性を示す、元となるビジネス取引またはアクティビティを指します。

ビジネス タスク

ビジネス プロセスを構成する個々の機能です。

ビジネス プロセス

PeopleSoft Enterprise 製品ファミリでは、17 の標準ビジネス プロセスが定義および管理されています。これらのビジネス プロセスは、ビジネス プロセス エンジニアリング グループによってサポートされます。ビジネス プロセスの例としては、受注、契約、在庫管理と出庫、請求までの一連の流れを管理する″オーダー フルフィルメント″などが挙げられます。

サブ ビジネス プロセスの説明も参照してください。

ビジネス ユニット

経営上または会計上の役割という点で独立している、企業または企業のサブセットを指します。

ビジネス ユニット制約

PeopleSoft Enterprise ストラテジック ソーシングにおいて、選択したストラテジック ソーシング ビジネス ユニットに適用される制約を指します。選択したストラテジック ソーシング ビジネス ユニット内の全てのイベントにわたって支出が追跡されます。

評価ルール

PeopleSoft Enterprise 売掛金管理において、顧客の勘定や個別のアイテムの状況を評価して、フォローアップ アクションを生成する必要があるかどうかを自動的に決定するためのユーザー定義ルールです。

Copyright © 1988 - 2006, Oracle. All rights reserved.

ファクト

PeopleSoft Enterprise アプリケーションにおいて、ソース データベースや分析アプリケーションのフィールドから取得される数値データの値です。収益、実績、予算データ、売上など、業務を評価するためのあらゆる値がファクトに該当します。ファクトは、ファクト テーブルに格納されます。

フェーズ

レベル 1 のタスクを指します。タスクにサブタスクがある場合、レベル 1 のタスクはフェーズと見なされます。

複数帳簿

PeopleSoft Enterprise 一般会計において、1 つのビジネス ユニットに対し複数の基本通貨に対応する複数の元帳を定義することを指します。1 つの取引を全ての基本通貨（全ての元帳）に転記するか、1 つの基本通貨（1 つの元帳）に転記するかを選択できます。

複製

PeopleCode において、固有のコピーを作成することです。単なる ″コピー″ では、オブジェクトへの参照が新しく作成されるだけの場合もあり、その場合は元のオブジェクトが変更されると、コピーとオリジナルの両方が変更されます。

プランニング インスタンス

PeopleSoft Enterprise 供給管理において、供給計画の入力と出力を構成するデータのセット（ビジネス ユニット、アイテム、供給、需要）を指します。

プラン

PeopleSoft Enterprise Sales Incentive Management では、PeopleSoft Enterprise Incentive Management エンジンに取引の処理方法を指示する配賦ルール、変数、ステップ、セクション、および奨励ルールのコレクションのことです。

プラン コンテキスト

PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、プラン コンテキストによって参加者がその割り当て先の給与プランとノードに関連付けられ、それにより、PeopleSoft Enterprise Incentive Management システムはそのノードに何が関連付けられているかや給与処理の実行に何が必要かを判断します。各参加者、ノード、およびプランの組み合わせは、固有のプラン コンテキストを表します。たとえば、3 人の参加者が同じ給与構造の場合、それらの参加者はそれぞれ異なるプラン コンテキストを持ちます。設定プランはプラン コンテキストによって識別され、それらを参照する参加者に関連付けられます。

ブランチ

PeopleSoft ツリー マネージャで定義されたツリー階層において、上位ノードから分岐しているノードのことです。

プラン テンプレート

PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、プランを作成するためのベースとなるものを指します。プラン テンプレートには、テンプレートから作成する全てのプランによって継承される共通のセクションと変数が含まれます。テンプレートにはまた、プラン定義内では確認できないステップやセクションが含まれる場合もあります。

プログラム

PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメントにおいて、カタログ アイテムの各セクションの学習順序を示した大まかなグループ単位を指します。PeopleSoft Enterprise ラーニング システムには、カリキュラムと認定という 2 つのタイプのプログラムがあります。

プロジェクト取引

PeopleSoft Enterprise プロジェクト コスト管理において、コスト、時間、予算、またはその他の取引行を表す個々の取引行を指します。

プロセス インスタンス

各プロセス リクエストを識別するための一意の番号です。この番号は自動的に増加しながら、プロセス リクエストの実行時に提出されたリクエストに割り当てられます。

プロセス カテゴリ

PeopleSoft プロセス スケジューラにおいて、サーバーのロード バランシングと優先順位を基準にグループ化されたプロセスを指します。

プロセス グループ

PeopleSoft Enterprise Financials において、ユーザーが取引入力ページからリアル タイムに直接開始できるアプリケーション プロセスのグループを指します。プロセスは、定義された順序で実行されます。

Copyright © 1988 - 2006, Oracle. All rights reserved.

プロセス ジョブ
複数のプロセス定義を 1 つのジョブ リクエストに関連付け、各リクエストを連続または並行して処理します。また、先行するリクエストのリターン コードに応じて、後続のプロセスの開始を制御することができます。

プロセス タイプ
PeopleSoft プロセス スケジューラにおいて、プロセスの種類を識別します。たとえば、SQR のプロセス タイプには、SQR プロセスや SQR レポートなど、全ての SQR プロセスが含まれます。

プロセス定義
各実行リクエストを定義します。

プロセス ラン コントロール
ラン コントロール ID を参照する全てのリクエストについて、実行時に必要となる PeopleSoft プロセス スケジューラの値を取得するための PeopleTools 変数です。アプリケーション ラン コントロールと混同しないよう注意してください。後者も同じラン コントロール ID を使用して定義される場合がありますが、各アプリケーション プロセス リクエストに固有の情報だけが含まれます。

プロセス リクエスト
PeopleSoft プロセス スケジューラを通じて実行する単一の実行リクエストです。SQR (Structured Query Report)、COBOL またはアプリケーション エンジンプログラム、Crystal レポートなどがあります。

プロモーション
PeopleSoft Enterprise プロモーション マネジメントにおいて、通常、取引資金から資金供給され、消費財の売上を伸ばすために製造元によって行われるプロモーションを指します。

ページレット
ホームページ上のコンテンツの各ブロックをページレットと呼びます。ページレットは、ページ上の小さな四角形の領域内にサマリ情報を表示します。ページレットを使用することで、PeopleSoft Enterprise の内外を問わずユーザーに最も関連のあるコンテンツを提供することができます。

変数
PeopleSoft Enterprise Sales Incentive Management では、計算の中間結果を指します。変数は計算結果を保持し、後で他の計算に入力されます。変数は、エンジンの実行後も保持されるプラン変数である場合と、特定のセクションの処理中にだけ存続するローカル変数である場合があります。

編集テーブル
固有のレコード定義を持つデータベース内のテーブルです。たとえば、部門テーブルなどがあります。PeopleSoft Enterprise アプリケーションでフィールドに値が入力されると、システム全体を通じてデータの整合性を確保するために、編集テーブルと照合して値が検証されます。

ベンチマーク職務
PeopleSoft Enterprise ワークフォース アナリティクス ソリューションにおいて、職務に対する給与調査データがサードパーティ機関から公にされている職務コードを指します。

法定勘定科目
財務結果の記録と申告について行政当局から要求される勘定科目です。PeopleSoft Enterprise では、これは代替勘定科目 (ALTACCT) チャートフィールドに相当します。

ポータル レジストリ
PeopleSoft Enterprise アプリケーションにおいて、コンテンツ参照を編成、分類、および登録するためのツリー構造です。フォルダによる階層ツリー構造を使用して、ポータルの構造とコンテンツの両方を定義します。これにより、コンテンツ参照の整理とセキュリティの確保を効率的に行うことができます。

保管レベル
PeopleSoft Enterprise 在庫管理において、資材保管場所のレベルを識別します。資材保管場所は、ビジネス ユニット、保管区域、および保管レベルで構成されます。保管レベルは 4 つのレベルまで設定できます。

保存済入札
PeopleSoft Enterprise ストラテジック ソーシングにおいて、作成済みで提出していない入札を指します。落札資格を得られるのは、提出した入札のみです。

マーケット テンプレート
PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、特定のマーケットや業種に固有のものとして、製品カテゴリの最上位に作成される補足機能のことです。

Copyright © 1988 - 2006, Oracle. All rights reserved.

マッチング グループ

PeopleSoft Enterprise 売掛金管理において、売掛金アイテムとマッチング相殺アイテムのグループを指します。マッチング グループは、選択されたフィールド値に対するユーザー定義のマッチング条件を使用して自動的に作成されます。

未受付取引

PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、データ喪失や不完全データなどが原因で割当処理の完了後にノードや参加者によって受け付けられなかった取引を指します。未受付取引は、給与管理者によって適切なノードまたは参加者に手動で割り当てられる場合があります。

未転記アイテム

PeopleSoft Enterprise 売掛金管理において、入力または自動作成されたものの、まだ転記されていない個々の売掛金（請求書、貸方メモ、償却など）を指します。

メタ SQL

メタ SQL のコンストラクトは、プラットフォーム固有の SQL サブ文字列に展開されます。これは、SQL オブジェクト、SQLExec 関数、PeopleSoft アプリケーション エンジン プログラムなどで、SQL 文字列を渡す関数で使用されます。

メタ文字列

SQL 文字列リテラルに含まれる特別な表現です。メタ文字列には、プレフィックスとしてパーセント記号（%）が付けられ、文字列リテラルに直接含まれます。実行時には、使用されているデータベース プラットフォームに対応する適切なサブ文字列に展開されます。

持分法

PeopleSoft Enterprise 一般会計において、親会社が 1 か月ごとに子会社の純利益を計算し、その金額を調整して、連結の実行前に投資額と資本収益額に反映させることができるビジネス プロセスです。

元帳マッピング

経費データを一般会計の勘定科目からリソース オブジェクトに関連付けるために使用します。複数の元帳行アイテムを、1 つまたは複数のリソース ID にマッピングできます。また、元帳マッピングを使用して、ビジネス ユニットに金額（レート）をマッピングすることもできます。金額をマッピングする際は、会計期間の実際のコストを表す実際金額と、キャパシティレートや予算モデル結果の計算に使用できる予算金額の 2 種類でマッピングできます。PeopleSoft Enterprise ウェアハウスでは、一般会計の勘定科目を EW 元帳テーブルにマッピングできます。

有効日

PeopleSoft Enterprise アプリケーション内の情報に日付を付ける方法です。システムに履歴データを追加するために過去の日付を指定したり、実際に有効になる前にデータを入力する場合は将来の日付を指定することもできます。有効日を使用することにより、古い値を削除せずに、新しい値を現在の有効日で入力できます。

ユーザー介入オブジェクト

PeopleSoft Enterprise Sales Incentive Management では、参加者が自分のコンテキストでアクセスできるレポーティング コンポーネントやレポートを定義するために使用します。PeopleSoft Enterprise Sales Incentive Management の全てのユーザー インターフェイス オブジェクトおよびレポートは、ユーザー介入オブジェクトとして登録されます。ユーザー介入オブジェクトは、給与関係オブジェクトを通じて（個別またはグループで）給与構造ノードにリンクすることもできます。

要約期間

PeopleSoft Enterprise ビジネス プランニングにおいて、他の要約期間や基本期間（四半期や年間）など、複数の期間の集合体である任意の期間を指します。基本期間はこれに該当しません。

要約チャートフィールド

特定の詳細値または選択したツリー ノードに基づいて、詳細金額をロールアップする要約元帳を作成するために使用します。詳細値がツリー ノードを使用して要約されている場合は、ノード名の最大長（20 文字）に対応するため、要約チャートフィールドを要約元帳データレコード内で使用する必要があります。

要約元帳

明細元帳からの勘定科目残高の合計を格納するため、主に配賦、照会、および PS/nVision レポート作成で使用される会計機能です。要約元帳を使用すると、レポート作成がリクエストされるたびに明細元帳の残高を集計する手間が省け、レポート作成の効率性とスピードが向上します。要約元帳には、ユーザー指定の条件に従ってバックグラウンドで処理された明細残高が保存されます。値が保存された要約元帳には、レポート作成時に直接アクセスできます。

Copyright © 1988 - 2006, Oracle. All rights reserved.

予算会計のみ
システムによってのみ使用される勘定科目で、ユーザーが使用することはなく、取引を受け付けることもありません。この勘定科目では予算会計のみが可能です。以前は"システム管理勘定科目"と呼ばれていました。

予算期間
予算やレポート関連の目的で分割された時間の間隔です(月や四半期など)。チャートフィールドでは、1つの暦だけに制限されることなく、経営上の会計期間を非常に柔軟に定義できます。

予算コントロール
コミットメントコントロールにおいて、コミットメントと支出が予算を超過しないように管理する機能です。予算コントロールにより、予算額に対する取引額を追跡し、定義された予算条件が満たされない場合はドキュメントのサイクルを終了することができます。たとえば、発注に関連する予算の資金が足りない場合に、発注書が取引先に送付されるのを防ぐことができます。

予算チェック
コミットメントコントロールにおいて、コントロール予算元帳に照らし合わせてソース取引を処理し、取引がパスするかしないか、または警告付きでパスするかを検証するプロセスです。

予測アイテム
需要予測の基準として使用される需要データと予測データの固有のセットから成る論理要素です。予測アイテムは、さまざまな用途で作成されますが、最終的には組織内で購入、販売、または使用され、使用の予測が必要とされるアイテムを表します。

予約
PeopleSoft Enterprise 経費管理において、旅行会社に予約済みの出張予約を指します。

ラーニング環境
PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメントにおいて、学習者グループが利用できるカテゴリやカタログ アイテムのセットを指します。また、ラーニング環境ごとに作成されるラーニング アクティビティやプログラムに割り当てられるデフォルト値も併せて定義されます。ラーニング環境を使用すると、カタログを区分化することにより、学習者からは自分たちに関連するアイテムしか見えないようにすることができます。

ラーニング コンポーネント
PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメントにおいて、ラーニング アクティビティの基本構成単位を指します。PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメントでは、Web ベース、セッション、Webcast、テスト、調査、課題という6つのタイプのラーニング コンポーネントをサポートしています。この中の1つまたは複数のコンポーネントによって、1つのラーニング アクティビティが構成されます。

ライブラリ セクション
PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、特定のプラン(またはテンプレート)で定義され、他のプランでも共有できるセクションのことです。ライブラリ セクションに加えた変更は、それを使用する全てのプランに反映されます。

ラン コントロール
プロセスを開始するために使用されるオンライン ページの1タイプです。プロセスの例としては、給与計算のバッチ処理などがあります。ラン コントロール ページでは、通常データを操作するプログラムが開始されます。

ラン コントロール ID
ユーザーとラン コントロール テーブルのエントリを関連付ける一意の ID です。

理想回答
PeopleSoft Enterprise ストラテジック ソーシングでは、入札する場合に、落札資格を得るためには回答を理想値と一致させる必要がある質問を指します。回答が理想値と一致していない場合、入札はできますが、不適格な入札と見なされ落札資格は得られません。

リモート データ/ソース データ
別のデータベースから抽出され、ローカルのデータベースに移行されたデータです。

流通業取引アクティビティ
PeopleSoft Enterprise プロモーション マネジメントにおいて、割引を受けるのに必要なパフォーマンスを定義する、取引のプロモーションに関連付けられた割引タイプを指します(請求時値引き、請求後値引き、一括支払など)。業界一般で使用されている用語では、オファー、値引き、販促イベント、戦術などに該当します。

Copyright © 1988 - 2006, Oracle. All rights reserved.

旅程
PeopleSoft Enterprise 経費管理において、出張予約をまとめたものを指します。旅程には、選択した予約および旅行会社を通じた予約が表示されます。旅程に表示される予約は支払いが済んでいないため、"未完了予約"と呼ばれます。支払いが済んでいる予約は、"確認済予約"と呼ばれます。

リンク セクション
PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、プラン テンプレートで定義されていて、特定のプランにも含まれるセクションを指します。リンク セクションに加えた変更は、そのセクションを使用している各プランに継承されます。

リンク変数
PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、プラン テンプレートで定義および管理されていて、特定のプランにも含まれる変数を指します。リンク変数に加えた変更は、その変数を使用している各プランに継承されます。

累計
定義済みアイテムの処理時に、その累計値が格納されるエレメントです。累計エレメントには、単一または複数の値について、時間の経過に応じた累計値が格納されます。たとえば、全ての任意控除の金額が累計されるエレメント、または全ての会社控除の金額が累計されるエレメントなどを作成できます。これにより、期間やそれに基づく累計値を柔軟に処理できるようになります。

例外
PeopleSoft Enterprise 売掛金管理において、売上調整アイテムか未解決アイテムのいずれかを指します。

レコード グループ
論理的および機能的に関連付けられたコントロール テーブルとビューのセットです。レコード グループによって、重複するデータ入力を防ぐためのテーブルセット共有が可能になります。全ての関連するテーブルとビューにおいて、テーブルセットを一貫して共有できるようになります。

レコード名
1 つまたは複数の値が一致する関連フィールドを判別するのに使用されるレコードの名前です。

連結消去セット
PeopleSoft Enterprise 一般会計において、連結中に処理される会社間勘定科目のグループです。

ロール
PeopleSoft ワークフローにおける各ユーザーの役割を表します。ロールは、担当者や管理者など、行う作業のタイプごとに分類されるユーザーのクラスです。ビジネス ルールの定義では、通常、各アクティビティを行う必要のあるユーザー ロールを指定します。

ロールアップ
ツリー内で、階層に基づいて総額を計算することです。

ロール ユーザー
PeopleSoft ワークフローのユーザーです。個人のロール ユーザー ID は、システムの他の部分で使用されるユーザー ID とほぼ同じ目的で使用されます。PeopleSoft ワークフローでは、ロール ユーザー ID を使用して、ワークリスト アイテムをユーザーに送る方法（電子メールの使用など）を決定すると共に、ユーザーがワークフロー内で果たす役割を追跡します。ロール ユーザーには PeopleSoft ユーザー ID は必要ありません。

ワークシート
PeopleSoft Enterprise BAM（ビジネス分析モデラー）インターフェイスを使用してデータを分析する方法の 1 つです。ユーザーは、ワークシートを使用して、ピボット テーブル、チャート、メモ、および履歴情報に基づく詳細な分析を実行できます。

ワークセット
1 つのセットとして関連付けられる個人と組織のグループです。ワークセットを使用すると、個人と組織のグループのデータ取得と、取得した情報に対する作業を 1 つのページで同時に行うことができます。

ワークリスト
PeopleSoft ワークフローによって自動的に作成されるタスクリストです。ワークリストを使用すると、次のアクションの実行に必要なページに直接アクセスでき、その後再びワークリストに戻って別のアイテムを処理することができます。

割当ルール
PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、システムが各ノードおよび関係者に取引を割り当てるために使用する、給与プラン内の式のことです。取引の割り当てを実行するとき、割当エンジンは、現在のノードからルー

Copyright © 1988 - 2006, Oracle. All rights reserved.

トノードへと給与構造をトラバースし、割当ルールを含んだプランと比較して各ノードをチェックします。

割戻

卸売業界において、サプライヤとディストリビュータ間で取り交わされる契約を指し、この契約においては、指定した製品または製品グループが対象の顧客または顧客グループに販売された時点で、ディストリビュータに一定金額が支払われます。

Copyright © 1988 - 2006, Oracle. All rights reserved.

索引

Customer Connection Web サイト　x
nVision レポート　49
PeopleBook
　注文　x
PeopleCode の表記規則　xii
PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理: ポジション管理　3
POSITION_DATA コンポーネント　10

あ

空きポジション - 勤務地タブ　39
空きポジション - 職務情報タブ　39
空きポジション ページ　38
空きポジション - ポジション データ タブ　39
空きポジション - ラン コントロール ページ　38
アクティブ/非アクティブ ポジション - パラメータ ページ　41
アプリケーションの基礎　ix
アメリカ機能 (FLSA ステータス)　16

お

オーストラリア機能 (給与パッケージ)　16

か

関連ドキュメンテーション　x

き

給与コンポーネント ページ　33, 35
給与情報　6, 16, 32, 33, 34
共通フィールド　xv
勤務地　15

く

軍情報　15

け

警告　xiii
現時点の現職者　35

こ

ご意見　xiv
ご要望　xiv

し

出力されたドキュメンテーション　x
職務データ
　更新　26
　定義　14

せ

前提知識　ix

そ

相互参照　xiii
組織構造
　所属関係の定義　44, 45
　ツリー マネージャの使用　46
　レポートの実行　47
"組織レポートの作成" - パラメータ ページ　48

ち

注　xiii
注意事項　xiii

つ

追加ドキュメンテーション　x
ツリー　46

と

ドイツ機能 (給与等級と給与ステップ)　16
ドキュメンテーション
　関連　x
　最新版　x
　出力　x

ひ

表記規則　xii

ふ

部門ポジション詳細ページ　30
部門予算 - 部門ポジション詳細ページ　32
部門予算ページ　30, 31

ほ

ポジション　5

Copyright © 1988 - 2006, Oracle. All rights reserved.

関連項目: ポジション管理
概要　5
現職者の更新　16
作成　10, 45
従業員の割り当て　19
職務データの更新　24, 25
職務データの削除　26
職務データの自動更新の防止　26
職務データの修正　26
所属関係の階層　45
データ更新に使用するページの判断　21
部門予算の作成　30
変更　10
変更の検証　27
ポジション データおよび現職者データの変更　21, 22, 23
ポジション データの管理　21
有効日について　24
予算　16
予算情報と現職者情報の確認　18
履歴の表示　42
ポジション管理
nVision レポートのサポート　49
概要　3
採用済み/承認済みポジションのレポート　49
セキュリティ　9
他のアプリケーションとの統合　1
ヒューマン リソース管理システムの構築　3
部門の人員数の表示　49
ポジションを使用する場合と職務を使用する場合の比較　3
ポジション構造の構築 (SQR レポート)　47
"ポジション構造の構築" - パラメータ ページ　48
ポジション サマリ情報　39
ポジション詳細説明ページ　12
ポジション ステータス - パラメータ ページ　41
ポジション ツリー　46, 47
ポジション データ
概要　29
共通フィールドの内容　29
職務データとの照合　27
職務データの更新　8, 26
セキュリティの管理　9
組織構造　29
変更　21, 22, 23
ポジション履歴の表示　29
有効日について　24
予算管理におけるポジション データの利用　29
レポートの管理　29
ポジション データ コンポーネント (POSITION_DATA)　10
ポジション データ サマリ ページ　40, 41
ポジション データ - 特定情報ページ　11, 16
ポジション データ - ポジション情報ページ　11, 12
ポジション データ - 予算と現職者ページ　11, 18
"ポジションの例外/未更新" - パラメータ ページ　28
ポジション予算ステータス ページ　33, 34, 35
ポジション履歴 - 給与コンポーネント ページ　40, 44
ポジション履歴 - "現在のポジション データ" ページ　40, 43
ポジション履歴ページ　40, 42
ポジション歴任者 - パラメータ ページ　41

よ

用語　51
用語一覧　51
予算
期間　31
部門別　31, 33
予算計上済みの空きポジション情報　38

れ

レポート
nVision レポート　49
空きポジション　38
アクティブ ポジションの履歴　41
アクティブ ポジション/非アクティブ ポジション　41
組織構造　47, 48
ポジション構造の構築 (SQR レポート)　48
ポジション ステータス　41
ポジション歴任者　41
予算計上済みの空きポジション　38
連絡先　xiv

Copyright © 1988 - 2006, Oracle. All rights reserved.

レート コード ページ　33, 37, 40

Copyright © 1988 - 2006, Oracle. All rights reserved.

Copyright © 1988 - 2006, Oracle. All rights reserved.